

**令和 4 年度
蒲郡市の教育に関する事務の
点検評価報告書**

（点検評価実施年度：令和 5 年度）

令和 6 年 3 月

蒲郡市教育委員会

目次

第1部 点検・評価について	1
1 点検・評価の目的	1
2 点検・評価の実施方法	1
3 蒲郡市教育振興基本計画について	2
4 蒲郡市教育事務点検評価委員会設置要綱	3
第2部 点検・評価の結果について	4
1 自己評価について	4
（1）自己評価一覧の見方について	4
（2）自己点検・評価一覧	5
（3）自己評価結果	11
2 重点評価項目について	12
第3部 指標の進捗状況について	32
令和5年度蒲郡市教育事務点検評価アンケート報告	39
1 調査の概要	41
（1）目的	41
（2）調査の実施時期	41
（3）調査方法と回収結果	41
（4）本報告書の見方	41
2 集計結果	42
（1）小中学生調査	42
（2）保護者調査	84

第1部 点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、蒲郡市の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行うことにより、より効果的で効率的な教育行政の推進を目指すとともに、その結果を公表し、市民への説明責任を果たすことを目的とします。

2 点検・評価の実施方法

本点検評価は、令和5年3月に策定した「蒲郡市教育振興基本計画」に掲げる施策と関連事業に基づき、令和4年度における執行状況を所管課において自己評価するとともに、学識経験を有する者の知見を活用するために、蒲郡市教育事務点検評価委員会を設置し、評価や意見等をいただき、これからの施策の方針に反映させます。

蒲郡市教育事務点検評価委員会 委員名簿

職名	氏名(敬称略)	所属
委員	大村 恵	愛知教育大学教育学部
委員	尾関 智恵	愛知工科大学工学部
委員	笠井 尚	名城大学人間学部

【点検評価委員会の開催経過】

第1回 蒲郡市教育事務点検評価委員会 令和5年12月20日(水)

第2回 蒲郡市教育事務点検評価委員会 令和6年2月16日(金)

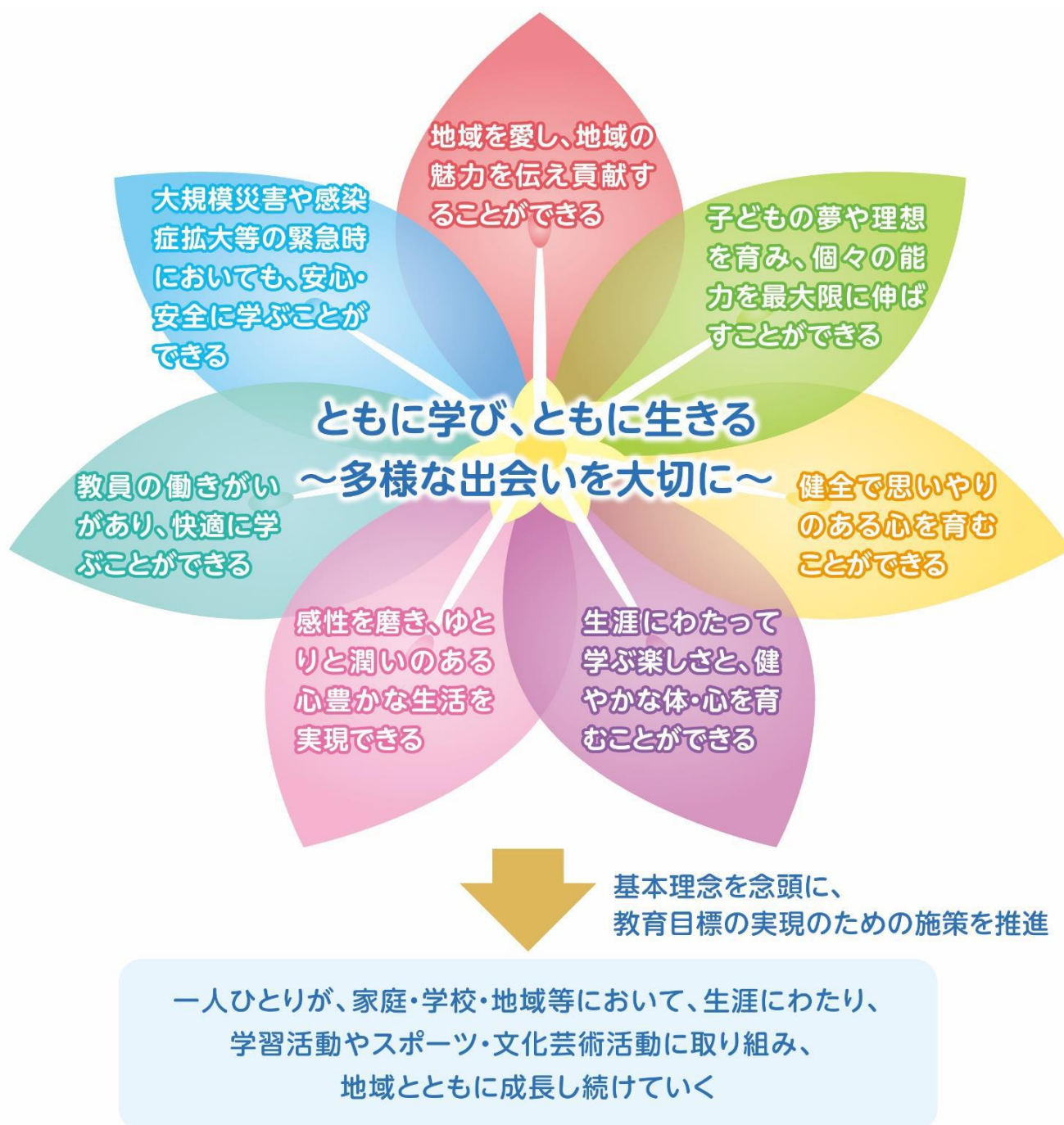
地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 蒲郡市教育振興基本計画について

令和5年3月に策定した「蒲郡市教育振興基本計画」は、基本理念を「ともに学びともに生きる～多様な出会いを大切に～」とし、子ども、家族、地域で暮らす人や働く人が、多様な出会いを通じてともに学びあい、ともに生きていくことが大切であり、年齢、性別、障がいの有無、国籍等に関わりなく尊重しあえる人を育むことを目指していきます。



4 蒲郡市教育事務点検評価委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項に規定する教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うため、蒲郡市教育事務点検評価委員会(以下「委員会」という。)を設置することについて、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 蒲郡市の教育に関する事務の点検及び評価に関する事項
- (2) その他点検及び評価に必要な事項に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、委員3人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者のうちから選任し、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日の属する年度の末日までとし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長1人を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席をもって開くことができる。

3 委員会は、必要があると認めるときは、関係者に会議の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会教育政策課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年4月24日から施行する。

第2部 点検・評価の結果について

1 自己評価について

(1) 自己評価一覧の見方について

「蒲郡市教育振興基本計画」に掲げる「まなび」のあり方(教育目標)に基づく事務事業の執行状況について、所管課において、下記の評価基準を用いて自己評価を行い、それぞれの施策に対して今後の方針を「拡大」、「継続」、「見直し」、「廃止」、「完了」で示しました。

【自己評価一覧 例】

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(1)地域と学校の連携による目指すべき学校教育の実現	①「地域とともにある学校づくり」の推進	学校教育課	A	継続	I
	②地域人材を生かした授業づくり	学校教育課	B	継続	
(2)必要な資質・能力を育む教育課程の推進	①「地域を愛し、地域とともに生きる子ども」の育成	学校教育課	B	継続	
	②子どもたちの「まちづくり」参画への取組	学校教育課	B	継続	
	③小中一貫教育の推進	学校教育課	B	継続	
(3)学校を核とした「まちづくり」	①地域学校協働活動の推進	学校教育課	B	継続	
		生涯学習課	A	拡大	II
	②地域の様々な主体の教育活動への参画	学校教育課	B	継続	
		生涯学習課	B	継続	

【自己評価基準】

- | | |
|---|-------------------------------|
| S | 目標を達成し、期待した以上の成果があった |
| A | 目標を達成し、成果があった |
| B | 概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、充実や改善を要する |
| C | 目標を達成できず、見直しを要する |
| D | 施策の実施が困難で、別の施策に変える必要がある |

蒲郡市教育事務
点検評価委員が
選定した10の
施策

(2) 自己点検・評価一覧

1 地域を愛し、地域の魅力を伝え貢献することができる

本市は、開かれた学校づくり等を通じて、地域と学校の連携・協力体制の強化を図りつつ、地域の多様な主体が教育に参画し、地域とともに創っていく地域共生社会の実現を目指します。

また、市民が郷土の文化に誇りを持ち、次世代へ引き継げるよう、文化財の保存と継承、活用を図るとともに、学校等を通じて郷土愛を育み、地域社会のために貢献できるような人材を育成する学習活動を推進します。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(1)地域と学校の連携による目指すべき学校教育の実現	①「地域とともにある学校づくり」の推進	学校教育課	A	継続	I
	②地域人材を生かした授業づくり	学校教育課	B	継続	
(2)必要な資質・能力を育む教育課程の推進	①「地域を愛し、地域とともに生きる子ども」の育成	学校教育課	B	継続	
	②子どもたちの「まちづくり」参画への取組	学校教育課	B	継続	
	③小中一貫教育の推進	学校教育課	B	継続	
(3)学校を核とした「まちづくり」	①地域学校協働活動の推進	学校教育課	B	継続	
		生涯学習課	A	拡大	II
	②地域の様々な主体の教育活動への参画	学校教育課	B	継続	
		生涯学習課	B	継続	
(4)郷土の文化財の保存と継承、活用と魅力の発信	①文化財の保護と活用、管理、保存等に関する補助	博物館	A	継続	
	②郷土資料の収集、保管、調査研究の充実	博物館	A	継続	
	③文化財の活用と魅力発信	博物館	A	継続	III
(5)郷土愛を育む学習	①郷土の魅力を知る機会の充実	博物館	A	継続	
		生涯学習課	B	継続	
		教育政策課	A	継続	

2 子どもの夢や理想を育み、個々の能力を最大限に伸ばすことができる

本市は、夢や理想を追求する意思や気持ちを持った子どもの育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実に努めます。

また、ICT を活用した教育や SDGs の理念を踏まえた教育、生命(いのち)の海科学館等の地域資源を活用した理科教育を推進するほか、グローバル化に対応した外国語教育の推進とともに、外国にルーツを持つ児童生徒への支援等に努めることにより、時代や社会の要請に応じた教育を推進します。

さらに、増加する特別な支援や配慮を必要とする児童生徒に対応した環境の整備等のほか、質の高い幼児教育と幼保小の連携強化を推進します。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(6)主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実	①主体的・対話的で深い学びの推進	学校教育課	B	継続	
	②少人数教育等のきめ細やかな指導の充実	学校教育課	B	継続	
	③個別最適な学びの保障	学校教育課	B	継続	
(7)情報活用能力の育成と ICT 活用教育の推進	①情報活用能力の育成	学校教育課	B	継続	IV
	②ICT を活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現	学校教育課	A	継続	
	③児童生徒の学びや教職員を支える ICT 教育環境の充実	学校教育課	A	継続	
		教育政策課	A	継続	
(8)SDGs の理念を踏まえた教育の推進	①SDGs についての学習の推進	学校教育課	A	継続	
		企画政策課	B	拡大	
(9)地域資源を活用した理科教育の推進	①理科の授業の充実	教育政策課	B	継続	
		生涯学習課	B	見直し	
	②探究型学習の推進	学校教育課	A	継続	
		生涯学習課	B	継続	
(10)キャリア教育の充実	①発達段階の成長課題に応じたキャリア教育の充実	学校教育課	B	継続	
	②キャリア教育推進体制の充実	学校教育課	A	継続	
(11)外国語教育の充実	①英語教育等の充実	学校教育課	A	拡大	
	②教員の研修の充実	学校教育課	A	継続	

「まなび」の柱	施策	所管課	自己 評価	今後の 方針	重点 項目
(12)特別支援教育の充実	①多様な学びの場における支援・指導の充実	学校教育課	B	継続	
	②教員の専門性の向上	学校教育課	B	継続	
	③幼小中高及び市内関係機関との連携	学校教育課	令和5年度から実施		
		子育て支援課			
	④幼児期における発達支援の充実	子育て支援課	B	継続	
		学校教育課	B	継続	
		福祉課	B	継続	
	⑤市立特別支援学校(小中学部)の設置に向けての検討	学校教育課	令和5年度から実施		
		教育政策課			
(13)日本語指導が必要な児童生徒等への支援の充実	①外国人児童生徒等の受け入れ体制整備の支援	学校教育課	B	拡大	
	②日本語指導に関わる教員の資質向上	学校教育課	B	継続	
(14)幼児教育の充実	①質の高い幼児教育の推進	子育て支援課	B	継続	
	②幼保小の連携	学校教育課	B	継続	
		子育て支援課	B	継続	

3 健全で思いやりのある心を育むことができる

本市は、多文化共生社会の実現に向けて、多様性理解のための教育の推進を図るほか、学校等における人権教育や男女共同参画社会の形成に向けたジェンダー教育など、差別や偏見をなくし、命を大切にする教育を推進します。

また、いじめを起こさせない、起きた場合には早期発見・早期対応を図る体制づくりを進めるほか、不登校児童対策の充実に努めます。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(15)道徳教育の充実	①「特別の教科道徳」を核にした道徳教育の推進	学校教育課	A	継続	
(16)人権教育・多様性理解の推進	①人権教育・多様性理解の推進	学校教育課	B	継続	
		協働まちづくり課	A	継続	
(17)いじめへの対応の充実	①いじめを起こさせない指導の充実と児童生徒の社会性の育成	学校教育課	B	継続	
	②早期発見・早期対応のための取組や相談体制の充実	学校教育課	B	継続	V
(18)不登校児童生徒への対応の充実	①学校等の取組の充実	学校教育課	B	継続	
	②不登校に関する相談体制の充実	学校教育課	B	継続	
		生涯学習課	B	継続	
	③家庭への援助	生涯学習課	B	継続	
	④多様な教育機会の確保	学校教育課	B	継続	

4 生涯にわたって学ぶ楽しさと、健やかな体・心を育むことができる

本市は、人生100年時代に対応し、市民が生涯にわたり生き生きと社会参画し、地域に貢献する様々な活動に取り組めるよう、学ぶ楽しさを育み、生きがいを支えるための社会教育環境等の充実に努めます。

また、家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実に努めるほか、子育て支援や子どもの貧困対策の充実に努めます。

さらに、学校体育や生涯スポーツの充実とともに、市民が健康で生涯にわたり活躍する地域社会を目指して、健康教育・食育の推進を図ります。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(19)社会教育の推進	①ニーズに応じた学びの提供	生涯学習課	B	継続	
	②学習活動に参加しやすい環境・施設整備の推進	生涯学習課	B	継続	VI
	③学びに関する情報や魅力の発信	生涯学習課	B	継続	
		博物館	A	継続	
	④活動団体への支援と指導者の育成	生涯学習課	B	継続	
		博物館	B	継続	
(20)家庭教育・子育て支援、子どもの貧困対策の充実	①家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実	学校教育課	A	継続	
		教育政策課	B	継続	VII
	②子育て家庭への支援	生涯学習課	A	継続	
		健康推進課	B	継続	
		教育政策課	B	拡大	
	③貧困状態にある子どもたちへの支援	子育て支援課	A	拡大	
		健康推進課	B	継続	
	④生活困窮世帯への教育格差の解消	教育政策課	B	継続	
		福祉課	A	継続	
		子育て支援課	A	継続	
(21)学校体育・生涯スポーツの充実	①学校体育の充実	学校教育課	A	継続	
	②地域におけるスポーツ機会の充実	スポーツ推進課	B	継続	VIII
		学校教育課	B	継続	
	③体育・運動施設の機能の充実	スポーツ推進課	A	継続	
(22)健康教育・食育の推進	①心身の健康づくりの充実	学校教育課	A	継続	
	②学校等における食育の充実	学校給食課	B	継続	IX

5 感性を磨き、ゆとりと潤いのある心豊かな生活を実現できる

本市は、文学、音楽、芸術などにふれる機会の充実等、文化芸術活動を推進し、子どもたち等の感性を磨いていくほか、市民が生涯にわたりゆとりと潤いのある心豊かな生活を実現できるよう、文化芸術に関する情報発信や担い手・支え手への支援、文化施設の機能の充実等に努めます。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(23)文化芸術活動の推進	①芸術の創造・発信と文化芸術の担い手・支え手への支援	生涯学習課	A	継続	
		博物館	A	継続	
	②文化施設の機能の充実	教育政策課	A	継続	
		生涯学習課	B	継続	
		博物館	A	継続	

6 教員の働きがいがあり、快適に学ぶことができる

本市は、教員にとって働きがいがある環境づくりを進め、学校における働き方改革を推進するほか、教員の資質・能力の向上を支援する組織体制の強化に努めます。

また、学校施設の防災機能の強化及び計画的・効率的な長寿命化の推進をはじめ、学校施設・設備の充実を計画的に進めます。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(24)学校における働き方改革の推進	①「学校の業務であるものの必ずしも教諭等が担う必要のない業務」「基本的には学校以外が担うべき業務」への対応	学校教育課	B	継続	
	②ICT の活用による業務改善	学校教育課	B	拡大	X
	③学校の役割の明確化及び教職員の職務の見直し	学校教育課	A	継続	
(25)教員の資質向上	①教員の資質・能力の向上を支援する組織体制の強化	学校教育課	A	継続	
(26)学校施設・設備の充実	①学校施設の安全・防災機能の強化及び計画的・効率的な長寿命化の推進	教育政策課	A	継続	
	②快適な教育環境の実現	教育政策課	A	継続	
	③ICT 機器等の教育環境の整備の推進	教育政策課	A	拡大	

7 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、安心・安全に学ぶことができる

本市は、国の「第3次学校安全の推進に関する計画」(2022年(令和4年)3月閣議決定)を踏まえつつ、学校安全・防災教育の推進を図ります。

また、地震等の大規模災害や大規模な感染症の拡大等の緊急時においてICTの活用などによる学びの保障に努めます。

「まなび」の柱	施策	所管課	自己評価	今後の方針	重点項目
(27)大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障	①ICTを活用した学びの保障	学校教育課	A	継続	
		教育政策課	A	継続	
	②学校における心のケア実施体制の充実	学校教育課	A	継続	
	③保健衛生対策の充実	学校教育課	A	継続	
	④各学校における危機管理マニュアル等の見直し	学校教育課	A	継続	
(28)学校安全・防災教育の推進	①学校安全・防災に向けた実践的な活動の充実	学校教育課	A	継続	
	②学校安全・防災に関する学びの充実と人材の育成	学校教育課	B	継続	
		危機管理課	B	継続	
		生涯学習課	B	継続	

(3) 自己評価結果

自己評価の結果と今後の方針の関係をまとめると以下のとおりになります。

方針 評価	拡大	継続	見直し	廃止	完了	実績なし	計
S	0	0	0	0	0	0	0
A	4	37	0	0	0	0	41
B	4	49	1	0	0	0	54
C	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0
実績なし	0	0	0	0	0	4	4
計	8	86	1	0	0	4	99

※令和5年度から実施する施策については「実績なし」としています。

2 重点評価項目について

自己評価一覧の中から、蒲郡市教育事務点検評価委員が選定した10の施策について、学識経験者から評価や意見等をいただきました。

重点評価項目Ⅰ

「まなび」のあり方 (教育目標)	1 地域を愛し、地域の魅力を伝え貢献することができる		「まなび」 の柱	(1)地域と学校の連携による目指すべき学校教育の実現					
施策の方針	①「地域とともにある学校づくり」の推進			所管課	学校教育課				
施策の内容	目標	育てたい子どもの姿や各中学校区が考えるグランドビジョンの共有を図るため、すべての中学校区に小中一貫型の学校運営協議会を設置する。							
	対象	各小中学校							
	取組	● 学校運営協議会を通じて、地域と学校が「育てたい子どもの姿」を共有し、それぞれが主体的に子どもたちの教育を通した「未来のまちづくり」を進める。 ● 学校運営協議会を通じて、地域と学校が信頼関係を深めながら、地域の創意工夫と特色ある教育を通じた「地域とともにある学校づくり」を推進する。 ● 目指す教育のビジョンを共有するため、市内の高等学校や大学との連携も視野に入れて、学校運営協議会の運営を図る。							
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9
	学校運営協議会設置学校数		目標値	2	11	20	20	20	20
			実績値	2					
	指標の説明	学校運営協議会制度を導入した学校数を示していく。 ※導入は、中学校区ごとに実施。							
	達成・未達の要因	令和4年度については、目標どおり学校運営協議会制度を導入した。 導入に向けての準備期間が必要であったため。次年度に向けて順次導入する地区の準備を進めている。							
令和4年度の成果	● 令和4年度においては、市内7中学校区に先駆けて、西浦中学校区で学校運営協議会制度を導入した。 ● 西浦中学校区において学校運営協議会を設け、年間5回の学校運営協議会を実施し、地域住民、保護者と学校が教育に必要なことやできることを検討した。検討内容としては、9年間を見通した義務教育学校としての教育方針や目指す子どもの姿について熟議を行った。また、学校として、地域として何ができるかについても協議した。								

重点評価項目Ⅱ

「まなび」のあり方 (教育目標)	1 地域を愛し、地域の魅力を伝え貢献することができる		「まなび」 の柱	(3)学校を核とした「まちづくり」				
施策の方針	①地域学校協働活動の推進					所管課	生涯学習課	
施策の内容	目標	学校を「学びや地域づくりの拠点」のひとつとして、子どもたちや保護者、地域住民が主体的に様々な教育活動に参画することにより、人と人を結ぶ「まちづくり」を進めていく。						
	対象	市民全般						
	取組	● 地域学校協働本部の整備により、保護者や地域住民等と連携・協働して教育活動を行う体制の構築を図る。 ● コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めていく。						
評価指標	指標名		R4	R5	R6	R7	R8	R9
	地域学校協働活動ボランティア 延参加者数	目標値	2,662 人	4,900 人	5,150 人	5,400 人	5,600 人	5,600 人
		実績値	3,019 人					
	指標の説明	地域学校協働活動および放課後子ども教室に参加したボランティア、講師、サポーターの延べ人数						
	達成・未達の 要因	令和4年度より地域学校協働活動推進員の配置校が 11 校に増えたこと、放課後子ども教室の実施回数が増えたことにより、目標を上回るボランティア参加者数の実績値を残すことができた。						
令和4年度 の成果	● 推進員の活躍により令和3年度から事業を始めている学校のボランティア数が倍増した。 また、令和4年度から放課後子ども教室担当の統括コーディネーターを配置し、教室の実施方法等の整理を進め、全体の実施回数も増やした。 ● これにより、放課後子ども教室に参加したボランティア、講師、サポーター数が前年比の2倍弱程度増えた。							
施策の課題	● 学校の教職員の理解度や地域性に左右される部分が大きく、地区により差が生じてしまうこと。 ● 活動内容によってはボランティアや支援してくれる企業に負担がかかってしまうことがあること。地域学校協働活動推進員や放課後子ども教室支援員の人材不足。							
施策 の総合評価	評点	A	総合評価	目標を達成し、成果があった				

今後の方向性	● 活動に参加するボランティアが無理なく、楽しく、次の活動が楽しみになるような事業を目指す。 ● その後にボランティア自身が主体的に学校や子どもたちと関わり、地域と学校が相談し支え合いながら子どもたちの成長を見守っていく。地域住民が学校教育と関わるうえで、学校と地域が学校運営協議会で目標や課題を共有することが重要で、地域学校協働活動はその目標に向けた活動を検討し実施していく。 ● 持続可能な活動とするため、推進員がこの事業の目的を深く理解し活動を牽引できるよう研修を実施していく。 ● 活動に支援が必要な地区には、特に統括コーディネーターによる助言・指導の頻度を増やし、活動を促進する。
委員からの 意見・提言	● 地域学校協働活動ボランティア延参加者数が計画に沿って増えていると評価できる。 ● コーディネーター・地域学校協働活動推進員の配置が活動の質的な発展には重要であると考えられるため、コーディネーター・地域学校協働活動推進員の配置と共に研修に取り組んでほしい。 ● 地区による格差や支援者の負担を軽減する等の課題解決が施策実現に影響すると考え、まちづくりの方法をそれぞれの地区のやり方を大切にしながら、形づくり、交流することを目指していただきたい。

重点評価項目Ⅲ

「まなび」のあり方 (教育目標)	1 地域を愛し、地域の魅力を伝え貢献することができる		「まなび」 の柱	(4)郷土の文化財の保存と継承、活用と魅力の発信					
施策の方針	③文化財の活用と魅力発信					所管課	博物館		
施策の内容	目標	企画展や講座の開催を通じて、文化財や地域の魅力を広く発信し、次世代に守り伝えていく意識を高める。 博物館をより身近に感じてもらうために歴史資料のデジタルアーカイブ化等、提供方法の多様化を推進していく。							
	対象	一般							
	取組	- 修復が必要とされる資料には適切な方法で修復を施し、利用可能な状態にして活用する。 - 企画展や講座の開催を通じて、文化財や地域の魅力を広く発信し、次世代に守り伝えていく意識を高める。 - 博物館をより身近に感じてもらうために歴史資料のデジタルアーカイブ化等、提供方法の多様化を推進していく。							
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9
	企画展／ コーナー展示／ 自館開催講座の回数	目標値	3回／ 2回／ 15回	3回／ 2回／ 18回	3回／ 2回／ 20回	3回／ 2回／ 22回	3回／ 2回／ 24回	3回／ 2回／ 26回	
		実績値	3回／ 2回／ 18回						
	指標の説明	企画展(3回)、通年コーナー展示(1回)、古文書を読む会(12回)・考古学講座(1回)は固定。 自館開催講座の回数を少しずつ増やしていく。							
	達成・未達の要因	企画展を3回、コーナー展示を2回、自館開催講座を18回開催し、目標を上回る実績を残すことができた。 大河ドラマに合わせて通年コーナー展示を年度途中で更新した。							
令和4年度の成果	- 蒲郡の書店が発行した版木を利用した昔の教科書作り講座、三河守護を務めた安達盛長についての歴史講座を行った。 - ケーブルテレビ制作番組「蒲郡の歴史」(令和5年3月で終了)への出演および取材先の社寺・史跡等に関する資料提供・情報提供を行った。 - 家康関連書籍出版元からの照会に応じて資料・史跡の画像データ提供等を行った。								
施策の課題	ウェブサイト上で文化財一覧表、市内の名木紹介等は行っているが、デジタルアーカイブ化は十分とはいえない。								

施策 の総合評価	評点	A	総合評価	目標を達成し、成果があった
今後の方向性	● 講座の回数を増やすとともに、内容についても需要の把握に努めて充実させていく。 ● 先行事例の情報を参考に、歴史資料のデジタルアーカイブ化を進めていく。			
委員からの 意見・提言	● 計画に沿って企画展・コーナー展示・自館開催講座に取り組まれていると評価できる。 ● 自館開催講座として、学校教育における郷土学習の役割の重要度は増しているため、小中学校へのアウトリーチの開発や高校生・大学生と協働して、高校生・大学生向けの歴史講座等の開発をしてほしい。 ● デジタルアーカイブには、人材と、ある程度の期間をとった計画が必要であるため、実施可能な範囲を示しながら積み上げていくような取組を期待する。その中で、子どもたちが持っているタブレットで利用可能なデジタル素材の開発を検討してほしい。			

重点評価項目Ⅳ

「まなび」のあり方 (教育目標)	2 子どもの夢や理想を育み、 個々の能力を最大限に伸ばす ことができる		「まなび」 の柱	(7)情報活用能力の育成と ICT 活用教育の推 進					
施策の方針	①情報活用能力の育成					所管課	学校教育課		
施策の内容	目標	情報活用能力診断テストを実施し、プログラミング力、情報モラルと情報活 用の水準を計り、すべての観点において全国平均を上回る。							
	対象	児童・生徒							
	取組	● 児童生徒が、ICT を活用し、情報の収集、整理、比較、発信、共有等を行 うことができるよう、様々な教科において、情報活用能力を育成してい く。 ● 発達の段階に即して情報活用能力が系統的に育成されるよう、小中學校、高等学校を見通したプログラミング教育が展開できるように学校を 支援する。 ● 児童生徒が、興味・関心を持ちながら、情報モラル、情報セキュリティを 学ぶことができるよう、ICT 支援員を活用した教材の導入、指導方法の 研究、実践を進める。							
評価指標	指標名		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	情報活用能力診断テスト	目標値	小6 66.5%	全国 平均	全国 平均	0.2% 上	0.5% 上	1.0% 上	
			中2 40.0%	全国 平均	全国 平均	0.2% 上	0.5% 上	1.0% 上	
		実績値	小6 68.2%						
			中2 36.3%						
	指標の説明	情報活用能力診断テストを実施し、プログラミング力と情報モラル、情報活 用の水準を計り比較する。							
達成・未達の 要因	令和3年度から中学2年生で情報活用能力診断テストを実施しているが、令 和4年度から中学3年生の技術の授業で扱っていた情報を中学1年生、2年 生の技術の授業でも始めた。しかし、情報活用能力は、発達段階により習得 していくものであるため、令和4年度においては成果として現れにくいた め、中学生の平均点は全国平均を下回る結果となった。								

令和4年度の成果	● 小学生において、情報活用能力診断テストの平均点が全国平均を上回る成果を上げることができた。 ● 教員に対する情報活用に関する研修を全体研修と学校ごとの研修として実施したことで、ICT支援員による希望教員への情報指導の研修を行ったことで、教員のタブレット活用が増えてきた。それにより、児童生徒の活用が増加したことから、昨年度低かった項目が改善しつつある。			
施策の課題	● 達成・未達の要因にも示したが、発達段階により習得していくもので、単年度では成果として現れにくいいため、継続して実施していく必要がある。 ● 情報活用能力診断テストを実施している学校が、現在は小中の2校ずつのモデル校のみで実施しているため、市全体の実数が分かっていない。			
施策の総合評価	評点	B	総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、充実や改善を要する
今後の方向性	● ハード面や教材について学習する環境は整っているため、今後は、活用が進むように教員の研修を充実させる。各学校において、OJTでの情報教育の研修をより推進していく。 ● 情報活用能力診断テストを20校すべてで実施する。 ● 技術の授業での比重が大きいため、各中学校の技術の教員が生徒の発達段階に合わせて指導していく。			
委員からの意見・提言	● 小学校については目標を達成しているので、モニター校の取組を他の小学校にも広げてほしい。 ● 情報活用能力診断テストを利用して水準向上を図る際に、測られる子どもたちの力が、教員が期待する方向と一致しているものかどうかを今後吟味していく必要があると思う。本質的な学力の向上に結びつくICT利用の促進を期待する。			

重点評価項目Ⅴ

「まなび」のあり方 (教育目標)	3 健全で思いやりのある心を 育むことができる		「まなび」 の柱	(17)いじめへの対応の充実						
施策の方針	②早期発見・早期対応のための取組や相談体制の充実					所管課	学校教育課			
施策の内容	目標	いじめの発生数を減らす。 いじめの認知漏れをなくす。 いじめの解消率を上げる。								
	対象	児童・生徒								
	取組	● いじめ問題を協議する「いじめ問題対策連絡協議会」の設置及び「蒲郡市 いじめ問題調査委員会」を設置し、早期発見・早期対応に向けた取組を充 実させていく。 ● スクールソーシャルワーカーを配置し、学校だけでは問題の解決が困難 なケース等について、関係機関等と連携した対応を図る。								
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	各学校において、定期的にいじ め等に関する生活実態アンケー トを実施する。		目標値	80%	80%	80%	80%	80%	80%	
	学期ごとに、いじめに関する実 態調査を行う。(いじめの解消率 確認)		実績値	68.0%						
	指標の説明	各学校において、すべての児童生徒を対象として、定期的にいじめ等に関 する生活実態アンケートを実施する。 蒲郡市内小中学校すべてを対象として、学期ごとに、いじめに関する実態調 査を行う。								
	達成・未達の 要因	いじめの解消を確認するために、3 ヶ月の期間が必要となるため。 解消されたかどうかは、児童生徒、保護者の判断をもとに確認するため。								
令和4年度 の成果	● 平成29年度に蒲郡市いじめ防止基本方針を策定し、各学校において、いじめの未然防止 や児童生徒の自己肯定感を高めるための取組を行っている。 ● 小学校でのいじめの発生件数は減少した。									
施策の課題	● 中学校でのいじめの発生件数が増加している。									
施策 の総合評価	評点	B		総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、 充実や改善を要する					

今後の方向性	いじめの早期発見のために以下の項目を引き続き実施していく。 ● ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いをもって、いじめを積極的に認知していく。 ● 児童生徒との日常の交流を大切に、健康観察・生活日記・連絡帳・休み時間中の雑談等から観察し、児童生徒や保護者との信頼関係を構築していく。 ● 定期的に行う生活アンケートや教育相談を大切に、「子どもの困り感の把握」と「困り感の低減」に努め、児童生徒がいじめを訴えやすい環境を整えていく。 ● いじめの早期対応のために以下の項目を引き続き実施していく。 ● いじめを認知したら、速やかにいじめ防止委員会等を開き、一人で抱え込むことなく組織で対応していく。 ● いじめを通報した児童生徒については、プライバシーを確実に守る。被害児童生徒に対しては、守り通すという姿勢で寄り添い、心身の状態に合わせて継続したケアを行っていく。加害児童生徒に対しては、事態の深刻さを意識させ、教育的配慮の下で毅然とした態度で臨み、再発防止に向けた指導及び支援を行っていく。 ● 教職員全体の共通理解、保護者、関係専門機関との連携をはかっていく。 ● いじめは、すべての小中学校においておこるものであると考え、日々の子どもの変化に気づけるように、見守り活動を続けていく。また、教員は、子どもから相談しやすい人間関係づくりにつとめていく。
委員からの意見・提言	● いじめの解消率は、目標数値を達成することが目的化すると「謝らせる」というような安易な解決を図ろうとして、かえって解決を困難にする恐れがあり、解消率は一つの目安としてほしい。 ● いじめの対応は、一般的にも難しく、即効性のある方策というものもなかなか見つからないため、より深刻な状況をつくらないように、外部からの支援体制ができているかということと、子どもの学校生活への満足度を高める方向を意識していただく方策を期待する。合わせて、現場だけの問題ではなく地域や市民の力も必要。

重点評価項目VI

「まなび」のあり方 (教育目標)	4 生涯にわたって学が楽しさと、健やかな体・心を育むことができる		「まなび」 の柱	(19)社会教育の推進					
施策の方針	②学習活動に参加しやすい環境・施設整備の推進			所管課	生涯学習課				
施策の内容	目標	市民の自発性や学習ニーズを尊重しながら社会教育施設などを通じた学習活動を推進する							
	対象	市民全般							
	取組	● 市民が積極的に生涯学習活動に参加することができるよう、多様な学習スタイルの提供の拡充を進める。 ● 公民館利用者が安全・安心に、また快適に利用できるように施設整備を図る。 ● 社会教育施設の老朽化対策を進めるとともに、利用しやすく、安全な施設運営を目指す。 ● 科学に対する関心を深め、豊かな創造力及び研究心を養い、広く学習の場を提供する。							
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9
	生涯学習課、市民会館、文化協会、公民館、生命の海科学館が主催する講座・ワークショップの実施回数(参加人数)	目標値	805 回	829 回	853 回	877 回	900 回	910 回	
		実績値	502 回 (11,895 人)						
	市が実施する土・日曜日や夜間に開催した講座数	目標値	272 講座	279 講座	286 講座	293 講座	300 講座	307 講座	
		実績値	343 講座	-	-	-	-	-	
	指標の説明	第五次総合計画個別計画目標指標、生涯学習推進計画行動指標							
	達成・未達の要因	R4 年度基準値はコロナ禍以前の令和元年度の実績値としており、R4実績値は若干コロナ禍の影響や対策などにより前年の実施状況から回復傾向にあるものの、従前の実績にまで戻っていない。 そのため、講座の内容や開催方法を重視しながら、多様なニーズに応じた生涯学習に触れられる機会の提供に努め、土・日曜日や夜間の講座を開催し目標を上回る実績を残すことができた。							

令和4年度の成果	● 科学館ワークショップや公民館講座、蒲郡市文化・スポーツリーダーが企画し行う GCSL 企画講座、市民パソコン講座などのほか、市民会館や文化協会など関連する団体により特色を生かした講座を開催している。 ● 人気講座については、オンラインとのハイブリッドでの実施や配信(オンデマンド)の実施、土日開催などライフスタイルに応じた学習の機会を提供している。			
施策の課題	● 講座の内容や開催方法を重視しながら、多様なニーズに応じた生涯学習に触れられる機会の提供に努めているものの、蒲郡市文化・スポーツリーダー登録者数の減少で講座を企画・開催する人が限られてきている。 ● 市民パソコン講座については、ニーズはあるが、日程や内容と受講者ニーズがマッチしないことがあり催行に苦慮することがある。 ● デジタルディバイド解消のため、対象者の知識を深める講座の実施に取り組む必要がある。年齢によっては基本的な紙媒体が望まれる一方、SNS などの多様な媒体で周知していく必要がある。			
施策の総合評価	評点 B		総合評価 概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、 充実や改善を要する	
今後の方向性	● 引き続き、市民の学習機会の充実、生涯学習への参加が促進されるよう、学校、地元企業、団体と連携し多種多様な学習機会を提供していく。 ● また、GCSL 蒲郡市・文化スポーツの活動を支援し、活躍の場を創出する。 学校の学習活動の中で蒲郡の自然の豊かさや大切さを学び郷土愛を育む機会を提供する。 ● デジタルディバイド解消のため、市民パソコン教室(スマホ教室)などを引き続き実施していくことや、講座をオンラインや配信(オンデマンド)による実施に努める。また、SNS などの多様な媒体での周知について今後も取り組んでいく。			
委員からの意見・提言	● デジタルディバイドや情報格差の解消につながるように、支援を検討してほしい。 ● オンラインの講座・ワークショップ、オンデマンドの講座などの開発に取り組んでほしい。 ● 蒲郡の自然や文化を生かした学習機会の提供について、回数と合わせて質的な充実が期待できるような方策に各機関が専門性を発揮できるとよいと思う。 ● 多様な学習スタイルの提供と拡充の試みが展開されることを期待する。			

重点評価項目Ⅶ

「まなび」のあり方 (教育目標)	4 生涯にわたって学ぶ楽しさと、健やかな体・心を育むことができる		「まなび」 の柱	(19)社会教育の推進					
施策の方針	⑤読書に親しむ環境、図書館機能の充実					所管課	教育政策課		
施策の内容	目標	市民1人あたりの年間貸出図書点数の増加を図る。							
	対象	市民							
	取組	● 市立図書館と学校図書館の連携を促進するとともに、生涯学習やキャリア教育の拠点となるような取組や図書の電子化を進めるなど、魅力ある図書館づくりを推進する。 ● 調べ学習が簡単に行えるよう、市立図書館のレファレンス機能の充実に努める。 ● 図書館 DX の促進を目的として電子図書館の充実に努める。 ● 各種イベントを開催し、読書に親しんでもらえるように取り組む。							
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9
	市民1人あたりの年間貸出図書 点数		目標値	6.6	6.9	7.2	7.5	7.8	8.1
			実績値	6.1					
	指標の説明	貸出点数(電子書籍含む)／人口							
	達成・未達の 要因	令和3年度にとりまとめた社会教育4施設のあり方において、本市の蔵書数規模としては約 366 千冊(人口規模の近い他市図書館との比較、現在は約 284 千冊)が適当としており、蔵書数不足も貸し出し点数が伸び悩む要因となっている。 また、来館者数や貸出者数が、コロナ以前の実績値にはほど遠く、その点の影響もあると思われる。(来館者 R1:302 千人、R4:205 千人 貸出者数 R1:128 千人、R4:113 千人)							
令和4年度 の成果	● 貸し出し1回あたりの冊数を増やす規則改正を行った。 ● レファレンス協同データベース事業より11年連続礼状授与。 ● 講座、教室、行事等 21回開催(読書感想文教室、図書館文学講座、県政 150 周年読書週間イベント 等) ● 展示会 21展示、延べ441日間開催(千賀滉大投手蒲郡市民栄誉賞お祝い展示、ゾッキ原画展、県政 150 周年 PR 等)								
施策の課題	● 図書購入平均価格も上昇傾向にあり、図書購入に関する予算確保が必要である。								

施策 の総合評価	評点	B	総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、 充実や改善を要する
今後の方向性	● 電子書籍含め蔵書数の充実を図るとともに、図書館の機能移転や複合化の検討を進める。			
委員からの 意見・提言	● 取組もよく検討されて実施されていると評価する。 ● 市民1人あたりの年間貸出図書点数を増加させていくための方向性として、蔵書数の充実だけでなく、図書館の機能を高める方策を検討してほしい。 ● 子どもの利用をすすめることが将来にわたっての活性化につながると考えられ、アウトリーチなど学校との連携、読み聞かせグループの育成など、図書館に人が集まる動きを作り出すための戦略を検討してほしい。 ● 市立図書館と学校図書館の連携、生涯学習の拠点となるような取組があげられているので、その点でのマネジメント改善へ向かう方策を打ち出していただけことを期待する。 ● 学校改築などの施設建設の機会も利用して、子どもや若者も巻き込んだ図書館利用改善の方策を、蔵書数の増加や複合化に合わせて検討されることや、機能移転・DX 等、必要な特性に応じて展開していくことを期待する。			

重点評価項目Ⅷ

「まなび」のあり方 (教育目標)	4 生涯にわたって学ぶ楽しさと、健やかな体・心を育むことができる	「まなび」 の柱	(21)学校体育・生涯スポーツの充実					
施策の方針	②地域におけるスポーツ機会の充実					所管課	スポーツ推進課	
施策の内容	目標	スポーツでみんなが笑顔に 蒲郡を元気に						
	対象	市民						
	取組	● 体力や障がいの有無に関わらず、市民がスポーツに親しむ社会とするため、多世代が楽しめるニュースポーツの普及に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブの創立を官民共同で目指す。 ● 誰でも気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツ教室や大会等の情報を積極的に発信する。 ● スポーツ少年団活動をはじめとした子どもを取り巻くスポーツ環境の充実を図り、子どもたちの体力づくりや仲間づくりに効果が期待できる競技スポーツへの参画を促進する。 ● スポーツ関係団体の自主的な活動を支援し、相互協力を図りながらスポーツの普及を促進する。						
評価指標	指標名		R4	R5	R6	R7	R8	R9
	週1日以上スポーツをする18歳以上の割合	目標値	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		実績値	-					
	スポーツ施設利用者数	目標値	470,000人	480,000人	490,000人	500,000人	510,000人	520,000人
		実績値	353,398人					
	指標の説明	市民意識調査アンケート(またはスポーツ推進計画市民アンケート調査)における週1日以上スポーツをする 18 歳以上の割合 スポーツを実施するための施設の利用者						
	達成・未達の要因	スポーツ推進計画策定の前であるが、新型コロナウイルス感染症による運動離れが最大の要因である。(R3スポーツ施設利用者数:291, 713 人) スポーツ施設の改修・修繕を計画的に進めており、令和4年度には武道館の改修工事による利用制限をしたことも一つの要因である。						

令和4年度の成果	● 本市のスポーツ推進の基本的な考え方や施策を示した「スポーツ推進計画」を策定した。 ● 各種大会・教室の開催やスポーツ関連団体への支援を通じ、市民のスポーツ推進を図った。 ● スポーツ施設の計画的な整備(市民体育センター武道館大規模改造工事、公園グラウンド陸上競技場公認更新工事)を進め、スポーツ環境の向上を図った。			
施策の課題	● スポーツ実施率の向上は単一の施策により上昇するものではなく、スポーツ推進に係る施策に総合的に取り組んでいくことで上昇することが期待されるものであり、一朝一夕に成果を出すことが困難である。 ● 新型コロナウイルス感染症により各種大会の中止・規模縮小といった影響があった。アフターコロナにおいては、スポーツから離れてしまった方々の復帰を促すことが重要だと考える。 ● 安全で快適なスポーツ環境を提供するため、老朽化が進むスポーツ施設の計画的な改修を進め、適切に維持管理していく必要がある。			
施策の総合評価	評点	B	総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、充実や改善を要する
今後の方向性	● スポーツ推進計画に掲げた各種施策を効果的に推進するとともに、市民や市内外の様々なスポーツ団体や地域団体、民間事業者、教育機関などが互いに連携を図り、それぞれの強みを生かして主体的にスポーツ推進の担い手として取り組んでいく。			
委員からの意見・提言	● 施策の課題にも示されているように、この項目の目標達成には広範で継続的な取組が必要とされると思う。 ● 高い目標を掲げているので、年度ごとの条件整備を着実に遂行してほしい。 ● スポーツの楽しさへの市民の関心の高まりや広がりを支援するための方策を、関係者や市民とともに検討し、発信・実施していただきたい。			

重点評価項目Ⅸ

「まなび」のあり方 (教育目標)	4 生涯にわたって学ぶ楽しさと、健やかな体・心を育むことができる		「まなび」 の柱	(22)健康教育・食育の推進					
施策の方針	②学校等における食育の充実				所管課	学校給食課			
施策の内容	目標	児童・生徒が食に関心を持ち、成長に必要な健康で丈夫な体づくりや食に関する知識の習得を目指す。							
	対象	小学生及び中学生							
	取組	●「愛知を食べる学校給食の日」を設け、学校給食に地域や県内の食材を多く使用し、地場産物や郷土料理等について家庭への啓発に取り組む。また、「蒲郡の日給食」を毎月実施し、献立表にも表示して地元の食材にふれあえる機会を設ける。 ●食育に対する関心を高めるため、夏休みを利用して小学校5・6年生と中学生を対象とした給食献立の募集、地域の食文化にふれ、食文化を継承する機会としての行事食の実施等、多様な食文化・習慣への理解の促進に取り組む。 ●学校における食物アレルギー事故防止の徹底を図るため、アレルギー情報を記した詳細な献立表を作成し、学校や保護者に対し献立に関するアレルギー情報を提供する。また、卵や乳などのアレルギーを持つ児童生徒に対して、食物アレルギーに配慮した給食を実施する。							
評価指標	指標名			R4	R5	R6	R7	R8	R9
	食育の推進による学校給食における残食率の減少	目標値	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	
		実績値	8.6%						
	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合(上段:小学生 下段:中学生)	目標値	小学生	小学生	小学生	小学生	小学生	小学生	
			90%	90%	90%	90%	90%	90%	
		実績値	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生	中学生	
			80%	80%	80%	80%	80%	80%	
	実績値	小学生							
		84.9%							
	実績値	中学生							
		71.3%							
指標の説明	学校給食の残食量に関する調査及び食生活アンケートから、子どもたちが食事への関心を示すものとして、食事の摂取状況、食生活習慣の浸透度として朝食の摂取状況を観察し、食育の効果を測定する。								

	達成・未達の要因	栄養教諭配置校以外の給食指導の実施が少ないことや、学校の給食は前を向いての黙食で実施していたため、給食の時間が楽しくなくなったことが、残食率が増加した一因と考えている。		
令和4年度の成果	- 給食献立の募集を行い、応募総数が269点あり、令和3年の132点と比べ増加した。このうち入選作5点は実際の献立で提供した。 - 郷土料理や行事食の給食は予定どおりに実施できた。			
施策の課題	- コロナ禍であること、栄養教諭の人数が2人体制であることから、栄養教諭配置校以外の学校への給食訪問指導が思うようにできなかった。実施方法を検討するなど、給食指導の効率化が課題となっている。 - コロナ禍で学校や給食センターでの給食の試食の実施が少なく、学校と家庭との連携が弱い。			
施策の総合評価	評点	B	総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、充実や改善を要する
今後の方向性	- 給食訪問指導についてオンラインや動画で実施するなど、ICTを活用して事業の効率化を図る。 - 給食の試食の機会を増やすなどにより、学校と家庭との連携による食育推進を進める。 - コロナ禍における黙食から、給食を楽しく食べられるような雰囲気づくりを学校と連携しながら取り組む。			
委員からの意見・提言	- 残食率の目標達成を追求することによって、子どもの健康を害したり、給食が苦痛になる場合があるため、残食率は「結果」と捉えることを強く意識し、今後の方向性においては、「楽しい」給食となるための方策に取り組んでいただきたい。 - ICTなどの活用で効率化が進むよう期待するし、そのノウハウが他の施策にも活用展開できるものとする。			

重点評価項目X

「まなび」のあり方 (教育目標)	6 教員の働きがいがあり、快適に学ぶことができる		「まなび」 の柱	(24)学校における働き方改革の推進				
施策の方針	②ICT の活用による業務改善				所管課	学校教育課		
施策の内容	目標	すべての学校と家庭に、デジタル採点システムと連絡用システムを導入する。						
	対象	学校及び家庭						
	取組	● デジタル採点システムや、家庭と学校の連絡システムの導入を行い、業務改善を進める。						
評価指標	指標名		R4	R5	R6	R7	R8	R9
	デジタル採点システムの導入割合	目標値	20%	50%	100%	100%	100%	100%
		実績値	15%					
	保護者連絡システムの導入割合	目標値	20%	50%	100%	100%	100%	100%
		実績値	10%					
	指標の説明	デジタル採点システムと保護者連絡システムを導入した学校の割合						
達成・未達の要因	デジタル採点システムについては、別システムの導入の話があり、そちらを進めていること。連絡システムについては、校区ごとに構築中である。							
令和4年度の成果	● デジタル採点システムを導入した学校で好評であり、他の学校に勧めていける確証がもてたうえに、無償で全校に導入できる情報があり、導入についての検討を行った。 ● 連絡システムについても導入した学校で好評であるとともに、ICT支援員を活用してシステムを構築しつつあること。							
施策の課題	● デジタル採点システムを利用する場合、児童生徒に解答用紙を配付する際にこれまでの倍の紙代がかかってしまうこと。 ● スマートフォンをもっていない家庭があるとシステムが使えないこと。その時の対応。							
施策の総合評価	評点	B	総合評価	概ね目標を達成し、一定の成果はあったが、充実や改善を要する				
今後の方向性	● デジタル採点システムについては、無償でできるところのシステムを試行する学校を小中で1校ずつ決めて行い、これらの学校と導入業者からのガイダンス等を含め、R6での全校導入に向けて体制を整えること。 ● 保護者連絡システムは、欠席連絡以外の連絡内容の手法について検討していくことや外国にルーツを持つ保護者への対応については、ICT支援員を活用した翻訳対応を行う。また、システムの機能面において対応できない部分については、様々な ICTを活用しながら、対応を検討していく。							

委員からの 意見・提言	● システム導入に対して好評が得られていることと、他校へ展開できそうな見込みであることを評価する。 ● システムが導入されることで、家庭と教職員双方にとって利益があることは望ましいことだと思うが、経費の節約や家庭の設備状況への対応などの課題には、丁寧な対処をお願いしたい。多くの人にとって利点が多い施策においては特に、デメリットにも配慮してほしい。 ● 保護者連絡システムは格差が出ないように配慮して進めていただきたい。
------------------------	--

第3部 指標の進捗状況について

「蒲郡市教育振興基本計画」では、「まなび」のあり方ごとに評価指標を設定し、計画期間の最終年度である令和9年度における目標値を設定しています。

こども等の意見の反映について

令和5年4月に施行されたこども基本法第11条に「国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するにあたっては、こども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする」と明記されています。蒲郡市では、こども等の意見を点検評価に反映するために、市内公立小中学校の小学5年生と中学2年生及びその保護者を対象にアンケート調査を実施し、教育に関する事務の点検評価に意見を反映しました。

1 地域を愛し、地域の魅力を伝え貢献することができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
地域学校協働活動推進員の設置人数(任用実績)	4人	13人						33名
地域学校協働活動ボランティア延参加者数(実績報告)	968人	3,019人						5,600人
蒲郡の歴史や文化財を次世代に伝えることの必要性について次世代に伝えるべきだと思う、どちらかといえば、次世代に伝えるべきだと思う割合(教育振興基本計画アンケート 一般)	85%	—	—		—		—	90%
蒲郡市やご自分のお住まいの地域に親しみや愛着をととても感じている、どちらかといえば感じていると答えた割合。(教育振興基本計画アンケート 一般)	83.4%	—	—		—		—	90%

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
日ごろ、地域活動によく参加している、都合が合えば参加している、時々参加していると回答した割合(教育振興基本計画アンケート 一般)	32.2%	—	—		—		—	65%

2 子どもの夢や理想を育み、個々の能力を最大限に伸ばすことができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
学校の授業が好きと答えた児童生徒の割合(教育振興基本計画アンケート 小中学生)	小学校5年生 30.0%	小学校5年生 36.3%						小学校5年生 40%
	中学校2年生 18.6%	中学校2年生 17.5%						中学校2年生 35%
学校が好きと答えた児童生徒の割合(教育振興基本計画アンケート 小中学生)	小学校5年生 46.9%	小学校5年生 56.7%						小学校5年生 55%
	中学校2年生 32.6%	中学校2年生 35.8%						中学校2年生 40%
学校の先生について、授業をわかりやすく教えてくれると思うかどうかについてそう思う、どちらかといえばそう思うと答えた児童生徒の割合(教育振興基本計画アンケート 小中学生)	小学校5年生 87.7%	小学校5年生 94.2%						小学校5年生 95%
	中学校2年生 90.2%	中学校2年生 90.1%						中学校2年生 95%
学校の先生について、自分のことを理解してくれると思うかどうかについてそう思う、どちらかといえばそう思うと答えた児童生徒の割合(教育振興基本計画アンケート 小中学生)	小学校5年生 78.6%	小学校5年生 89.1%						小学校5年生 90%
	中学校2年生 73.8%	中学校2年生 75.2%						中学校2年生 80%

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
SDGs について理解している、どちらかといえば理解していると回答した割合(教育振興基本計画アンケート 一般)	46.1%	—	—		—		—	75%
子どもが、家で、スマートフォンやパソコンなどの ICT 機器を、勉強のために使っている、どちらかといえば使っていると答えた保護者の割合(教育振興基本計画アンケート 保護者)	38.2%	37.2%						65%
将来、外国で学んでみたいと思いますかという質問に対して学んでみたい、できれば学んでみたいと回答した児童生徒の割合(教育振興基本計画アンケート 小中学生)	小学校5年生 41.2%	小学校5年生 42.1%						小学校5年生 55%
	中学校2年生 38.7%	中学校2年生 33.3%						中学校2年生 50%
スクールソーシャルワーカーの活用により、他支援機関等に連携した事案の割合(実績値)	令和5年度 から実施する施策	令和5年度 から実施する施策						100%

3 健全で思いやりのある心を育むことができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
多文化共生という言葉聞いたことがあり、意味も理解していると回答した割合(市民意識調査アンケート)	21.7%	—		—		—		70%
国際化、外国人との交流・共生の満足度調査について、満足、やや満足と回答した割合(市民意識調査アンケート)	4.6%	—		—		—		20%

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
いじめを解決するために学校にいじめを許さない雰囲気をつくることについて、そう思う又はどちらかといえばそう思うと答えた児童生徒の割合（教育振興基本計画アンケート 小中学生）	小学校5年生 72.4%	小学校5年生 87.4%						小学校5年生 80%
	中学校2年生 80.7%	中学校2年生 82.3%						中学校2年生 85%
いじめを解決するために授業でいじめについて話し合うことについて、そう思う又はどちらかといえばそう思うと答えた児童生徒の割合（教育振興基本計画アンケート 小中学生）	小学校5年生 76.9%	小学校5年生 82.9%						小学校5年生 85%
	中学校2年生 67.5%	中学校2年生 63.7%						中学校2年生 75%
いじめを解決するためにいじめに気がいたら、すぐに先生や友だち、親に知らせることについて、そう思う又はどちらかといえばそう思うと答えた児童生徒の割合（教育振興基本計画アンケート 小中学生）	小学校5年生 83.8%	小学校5年生 93.6%						小学校5年生 90%
	中学校2年生 82.6%	中学校2年生 89.2%						中学校2年生 85%
毎日学校に行くことが楽しい、どちらかといえば楽しいと答えた児童生徒の割合（教育振興基本計画アンケート 小中学生）	小学校5年生 83.3%	小学校5年生 84.3%						小学校5年生 90%
	中学校2年生 74.5%	中学校2年生 79.5%						中学校2年生 85%

4 生涯にわたって学ぶ楽しさと、健やかな体・心を育むことができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
生涯学習活動や文化活動に積極的に取り組んでいる、取り組んでいると答えた割合(市民意識調査アンケート)	15%	—		—		—		30%
ボランティア育成や市民活動支援の満足度について、満足、やや満足と答えた割合(市民意識調査アンケート)	11%	—		—		—		20%
図書館、ホールなどの施設の整備の満足度について満足、やや満足と答えた割合(市民意識調査アンケート)	14.8%	—		—		—		30%
子どもが、家で、読書をしている、どちらかといえばしていると答えた保護者の割合(教育振興基本計画アンケート 保護者)	32.1%	29.3%						50%
週1日以上スポーツをする18歳以上の割合(市民意識調査アンケート)	22.8%	—		—		—		50%
子どもが毎日朝食を食べていると答えた保護者の割合(教育振興基本計画アンケート 保護者)	90.0%	93.6%		—		—		95%
食育の推進による学校給食における残食率の減少(県への実績報告値)	9.8%	8.6%						8%

5 感性を磨き、ゆとりと潤いのある心豊かな生活を実現できる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
文化活動や文化の継承の満足度について、満足、やや満足と答えた割合(市民意識調査アンケート)	11.6%	—		—		—		30%

6 教員の働きがいがあり、快適に学ぶことができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
小中学校の教育内容や環境の満足度について満足、やや満足と答えた割合(市民意識調査アンケート)	18.2%	—		—		—		35%
ストレスチェックの結果により、高ストレスを感じている職員の割合(ストレスチェックの結果より)	—	10.6%						5%
校内 OJT を通じて効果が高いと感じた教員の割合(教員アンケート)	—	41.8%						90%
ICT を活用して学習を進める授業の割合(教員アンケート)	25%	25.6%						50%

7 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、安心・安全に学ぶことができる

評価指標	実績値							目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和9年度
地域の防災・防犯活動に積極的に取り組んでいる、取り組んでいると回答した割合(市民意識調査アンケート)	16.3%	—		—		—		30%
蒲郡市が現在行っている学校教育施策について、重要だと思うことについて学校、家庭、地域等の連携による安全教育・防災教育の推進と答えた割合(教育振興基本計画アンケート 保護者)	11.6%	9.3%						20%

令和 5 年度蒲郡市教育事務点検評価 アンケート報告

1 調査の概要

(1) 目的

令和5年4月に施行されたこども基本法第11条に「国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するにあたっては、こども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする」と明記されています。

蒲郡市では、こども等の意見を点検評価に反映するために、市内公立小中学校の小学校5年生と中学校2年生及びその保護者を対象にアンケート調査を実施し、教育に関する事務の点検評価に意見を反映しました。

(2) 調査の実施時期

本調査は、令和5年10月4日～令和5年10月31日に実施しました。

(3) 調査方法と回収結果

本調査は市内公立小中学校に通う小学校5年生と中学校2年生とその保護者を対象に、学校を通じて調査票を配布する方法で実施し、回答はすべてオンラインで実施しました。

回収結果は、次のとおりです。

	配布数	回答数	回答率
小学校5年生	646	515	79.7%
中学校2年生	693	576	83.1%
保護者	1,339	484	36.1%
合計	2,678	1,575	58.8%

(4) 本報告書の見方

- ①割合はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、単数回答（どれかひとつに○、どれかひとつを選択）の設問は、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ②本報告書中の令和4年と令和5年の調査結果については、各年の調査方式が異なり（令和4年は小学校5年生及び中学校2年生調査が調査票を配付・回収した郵送方式、保護者調査が郵送方式とWEB回答方式の併用。令和5年はWEB回答方式のみ。）、令和4年調査には設問に対して無回答の方がいたが、令和5年調査にはWEB回答方式により無回答の方がいない結果となっています。このような状況から経年比較により、年度間の傾向を把握するため、令和4年調査について各設問の無回答の方を除いて集計した結果を使用しています。※

※令和4年調査の結果は、以上の理由により「蒲郡市教育振興基本計画 アンケート調査結果報告書」（令和4年8月）の数値とは異なります。

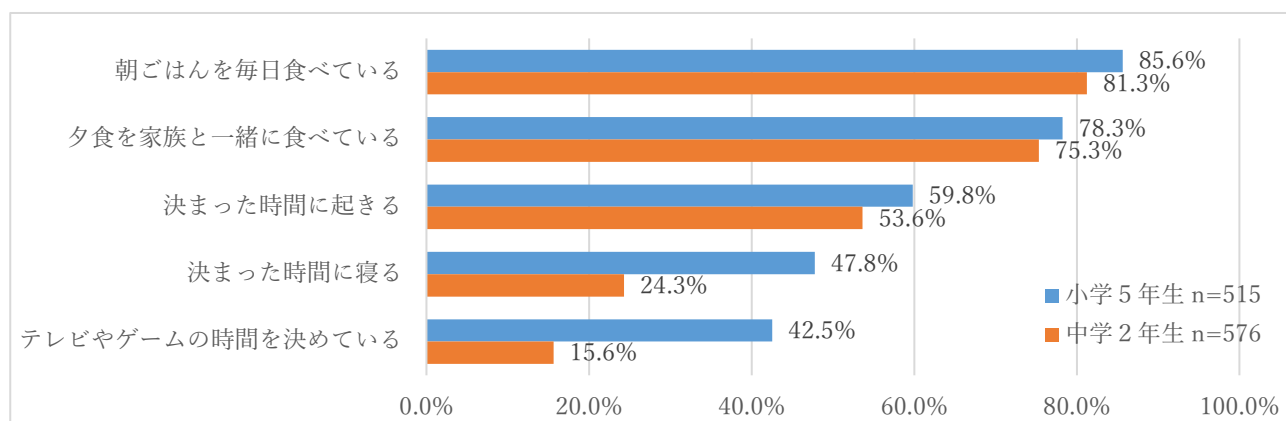
2 集計結果

(1) 小中学生調査

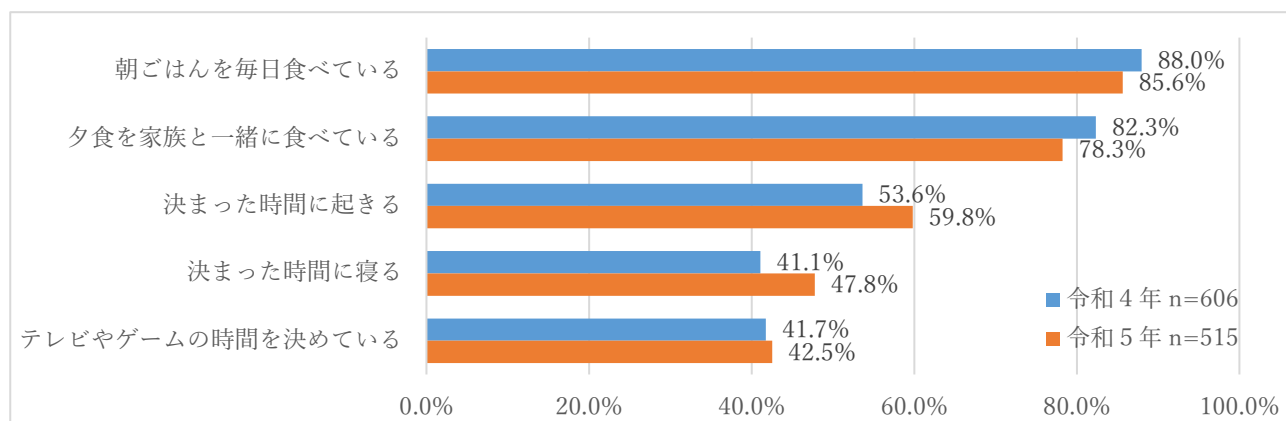
問1 あなたはいつも、どんな生活をしていますか？(あてはまるものすべてに○)

小学校5年生と中学校2年生では、「朝ごはんを毎日食べている」が85.6%と81.3%と最も高く、次いで「夕食を家族と一緒に食べている」が78.3%と75.3%、「決まった時間に起きる」が59.8%と53.6%と続いています。

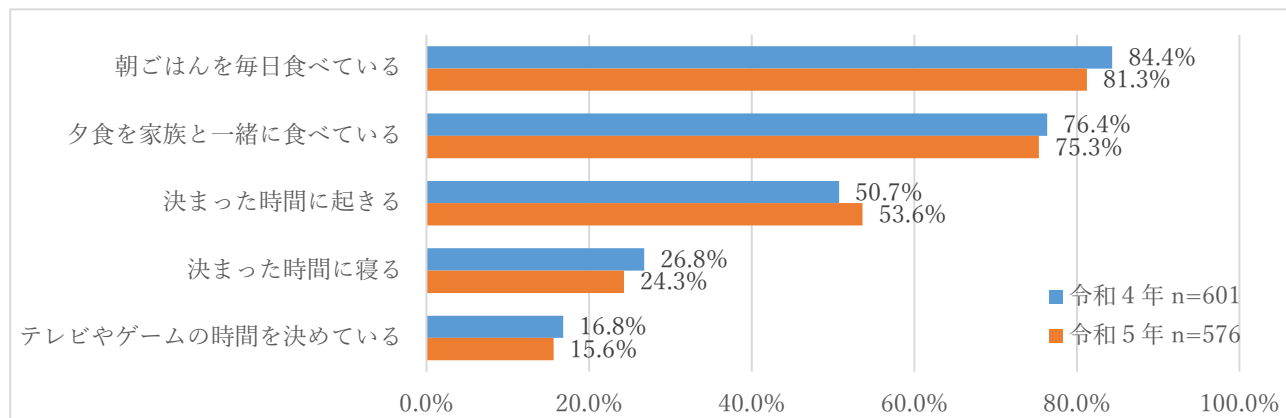
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



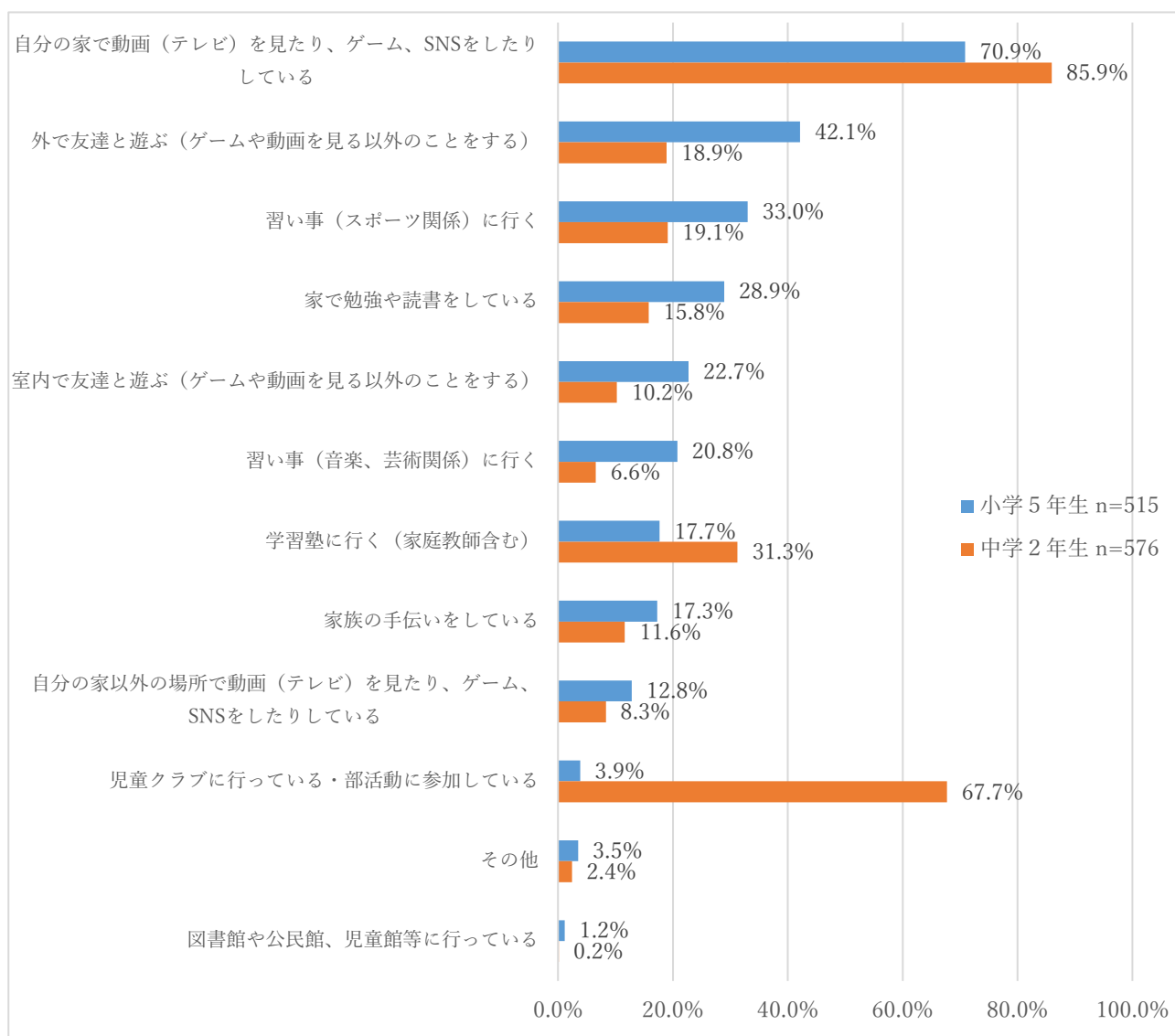
問2 あなたは、普段(学校のある日)授業が終わった後、どのように過ごしていますか？(よくしていることを3つまでに○)

小学校5年生では、「自分の家で動画(テレビ)を見たり、ゲーム、SNS をしたりしている」が70.9%と最も高く、次いで「外で友達と遊ぶ(ゲームや動画を見る以外のことをする)」が42.1%、「習い事(スポーツ関係)に行く」が33.0%、「家で勉強や読書をしている」が28.9%と続いています。

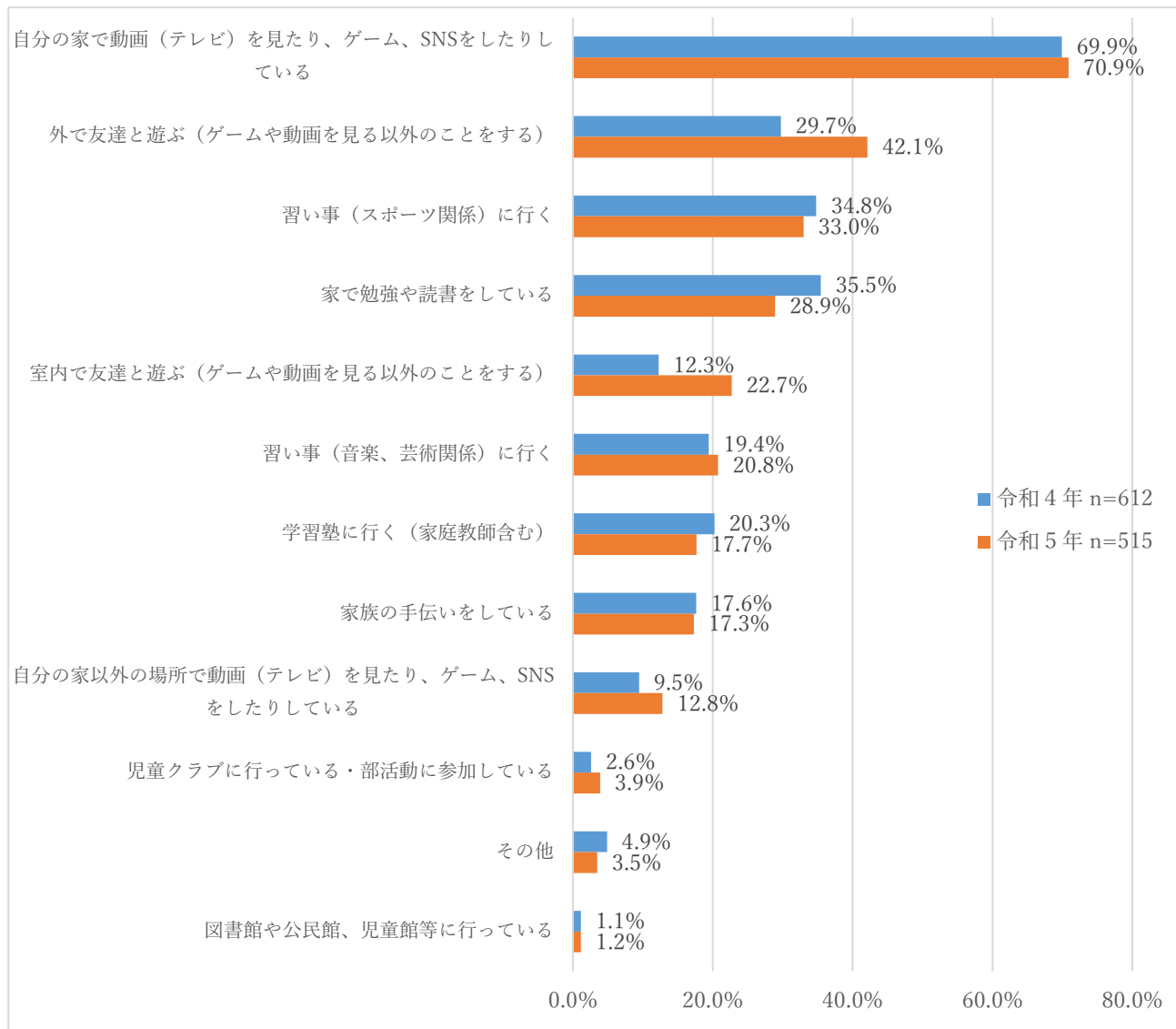
中学校2年生では、「自分の家で動画(テレビ)を見たり、ゲーム、SNS をしたりしている」が85.9%と最も高く、次いで「部活動に参加している」が67.7%、「学習塾に行く(家庭教師含む)」が31.3%、「習い事(スポーツ関係)に行く」が19.1%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「外で友達と遊ぶ(ゲームや動画を見る以外のことをする)」の回答率が上昇(令和4年 29.7%→令和5年 42.1%)しており、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行し、外出自粛義務がなくなったことなどが要因と推測されます。

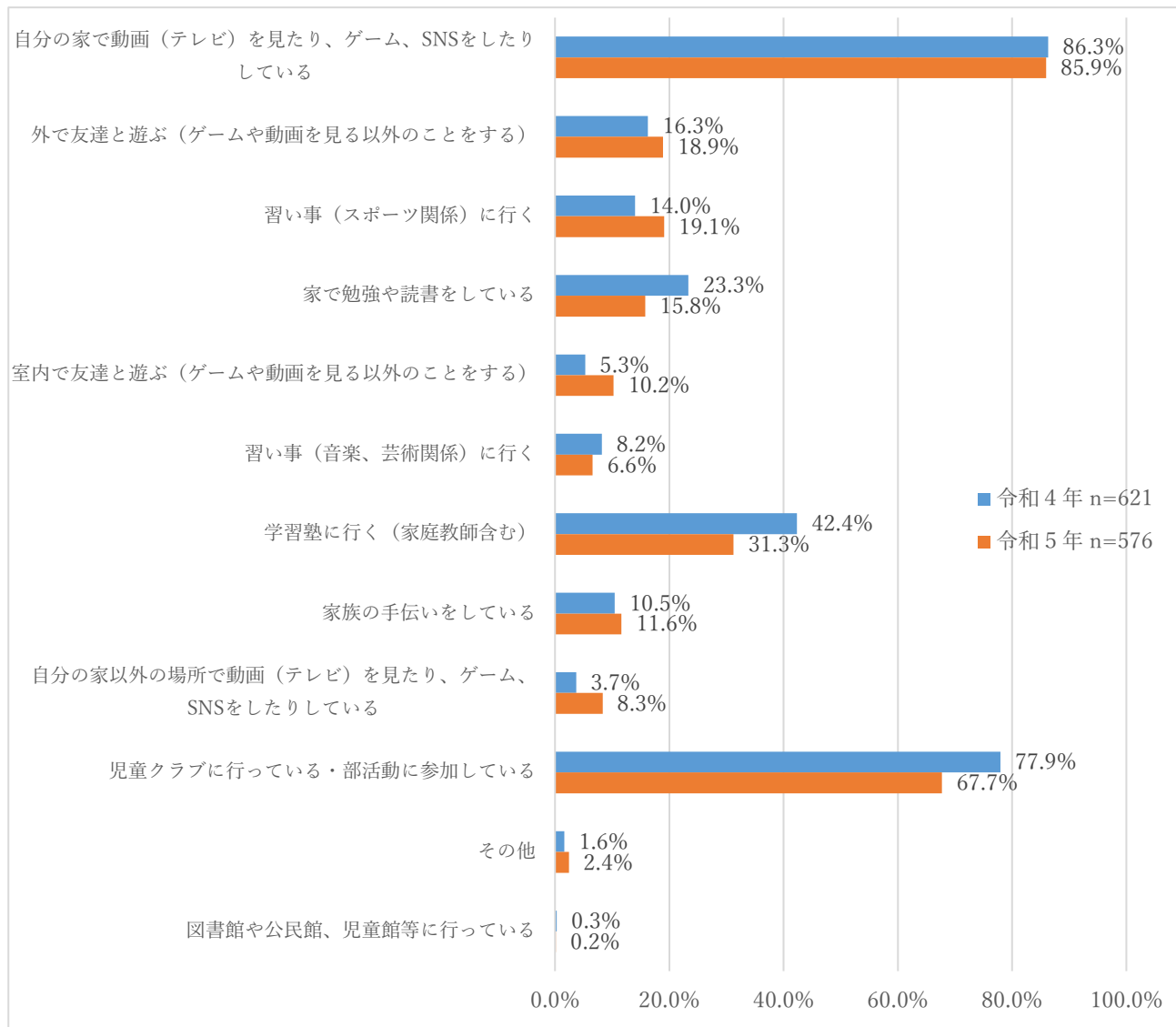
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



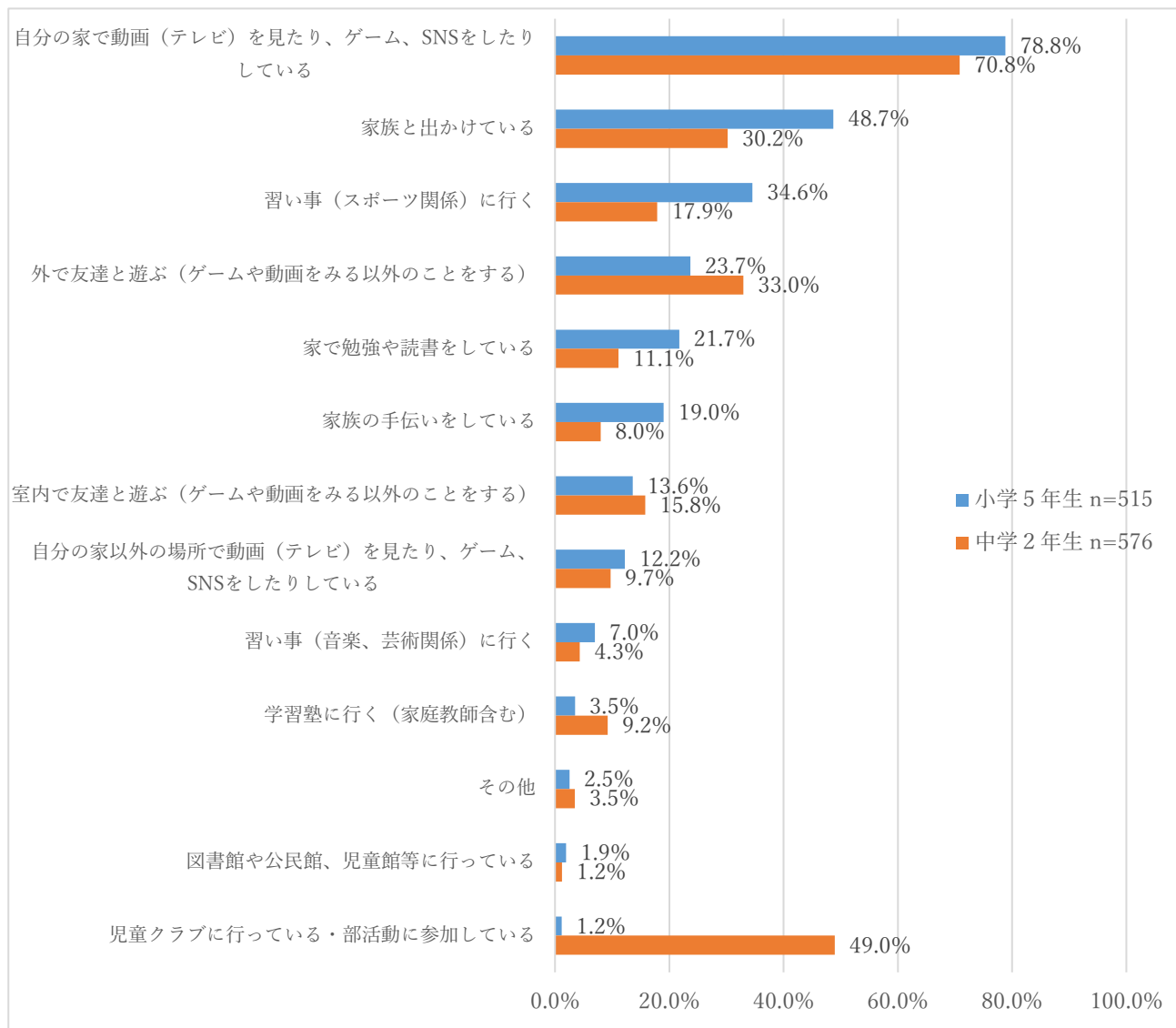
問3 あなたは、休日をどのように過ごしていますか？(よくしていることを3つまでに○)

小学校5年生では、「自分の家で動画(テレビ)を見たり、ゲーム、SNS をしたりしている」が 78.8%と最も高く、次いで「家族と出かけている」が 48.7%、「習い事(スポーツ関係)に行く」が 34.6%、「外で友達と遊ぶ(ゲームや動画をみる以外のことをする)」が 23.7%と続いています。

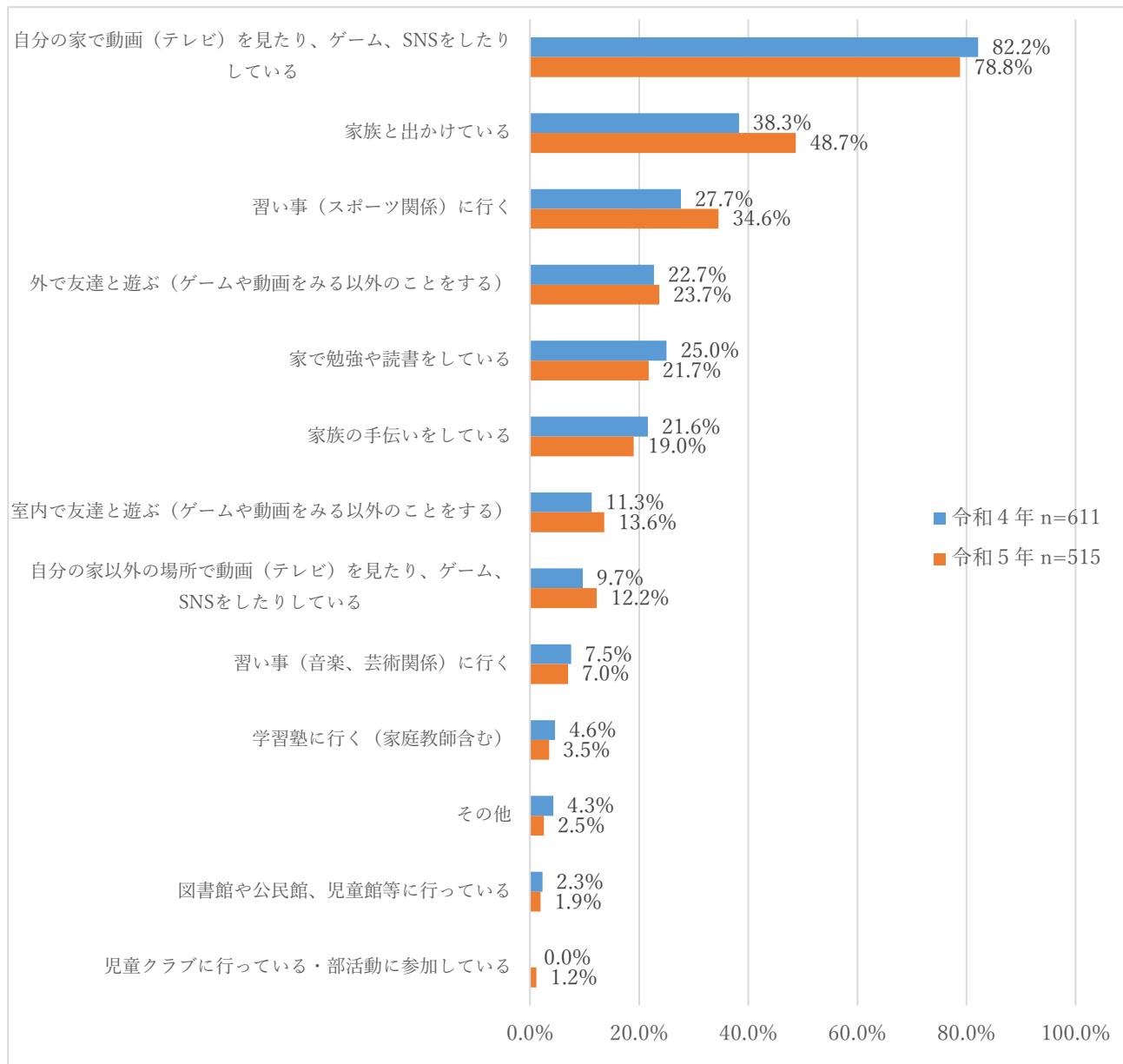
中学校2年生では、「自分の家で動画(テレビ)を見たり、ゲーム、SNS をしたりしている」が 70.8%と最も高く、次いで「部活動に参加している」が 49.0%、「外で友達と遊ぶ(ゲームや動画をみる以外のことをする)」が 33.0%、「家族とでかけている」が 30.2%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「家族と出かけている」の回答率が上昇(令和4年 38.3%→令和5年 48.7%)しており、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行し、外出自粛義務がなくなったことなどが要因と推測されます。

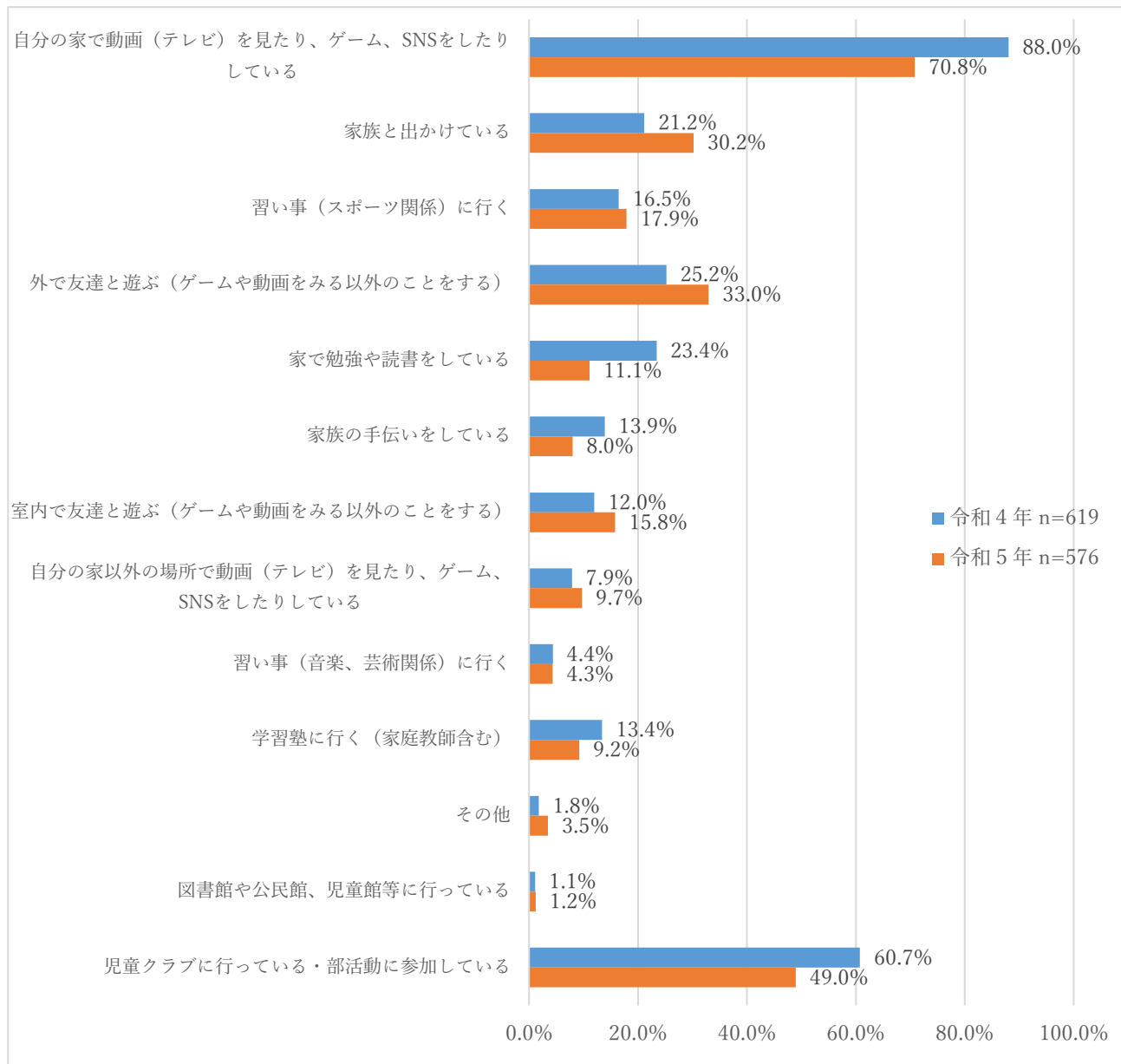
〈小学校5年生・中学校2年生 (令和5年)〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

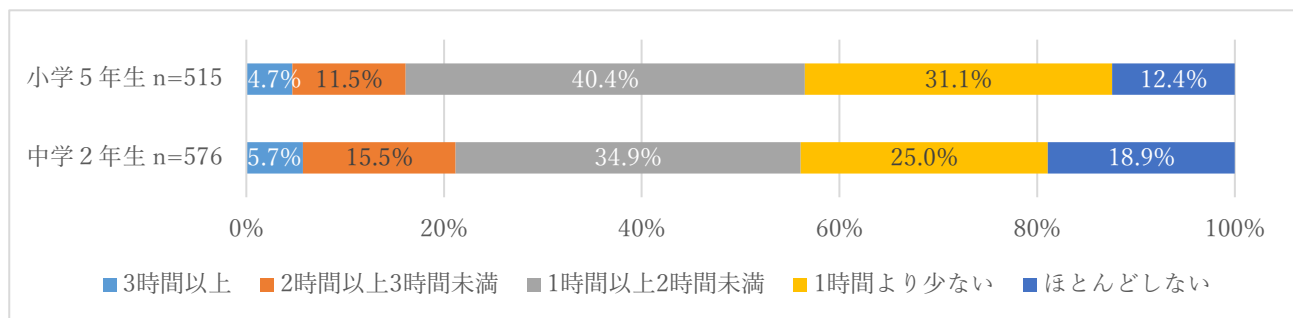


問4 あなたは普段(学校のある日)、家や塾で1日にどのくらい勉強しますか？(どれかひとつに○)

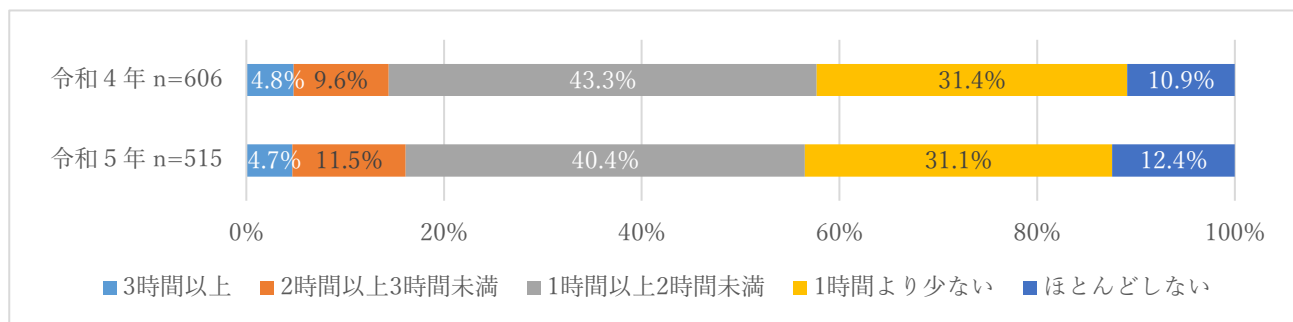
小学校5年生と中学校2年生では、「1時間以上2時間未満」が40.4%と34.9%と最も高く、次いで「1時間より少ない」が31.1%と25.0%、「ほとんどしない」が12.4%と18.9%、「2時間以上3時間未満」が11.5%と15.5%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「ほとんどしない」の回答率が上昇(令和4年 11.4%→令和5年 18.9%)しています。

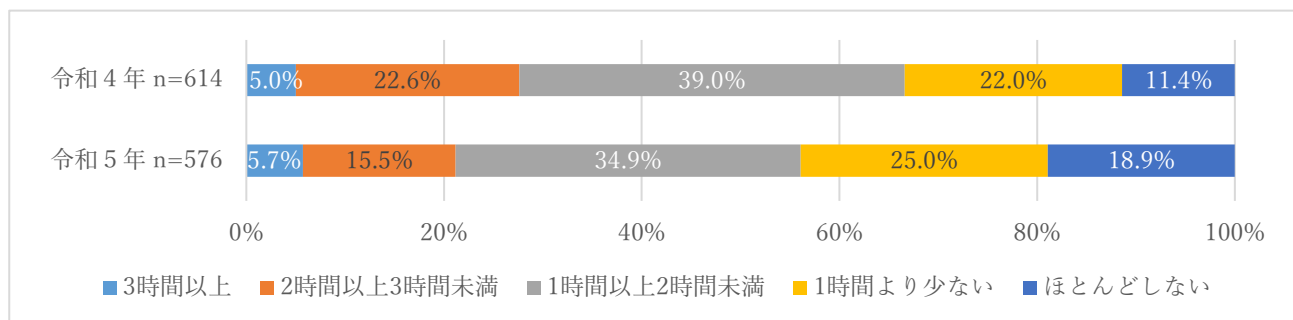
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



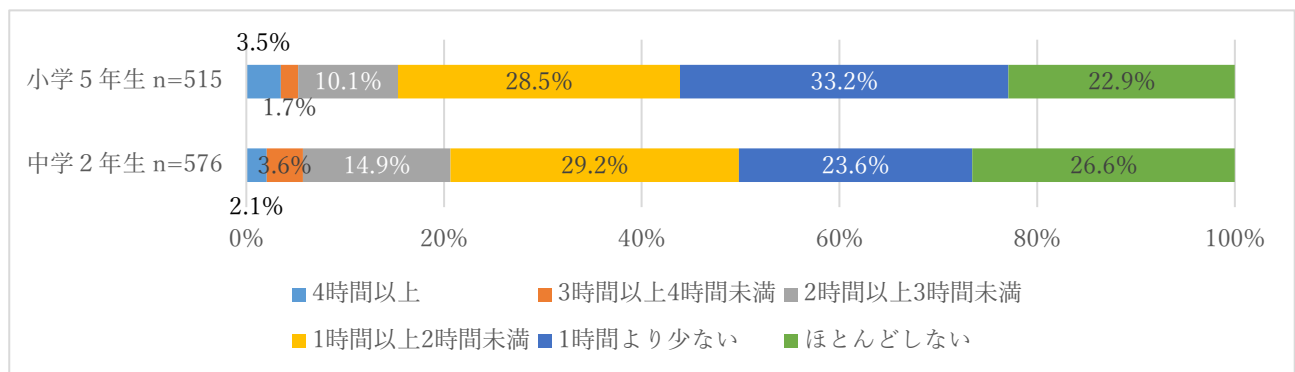
問5 あなたは、学校が休みの日に、家や塾で 1 日にどのくらいの時間勉強しますか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「1 時間より少ない」が 33.2%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 28.5%、「ほとんどしない」が 22.9%、「2 時間以上 3 時間未満」が 10.1%と続いています。

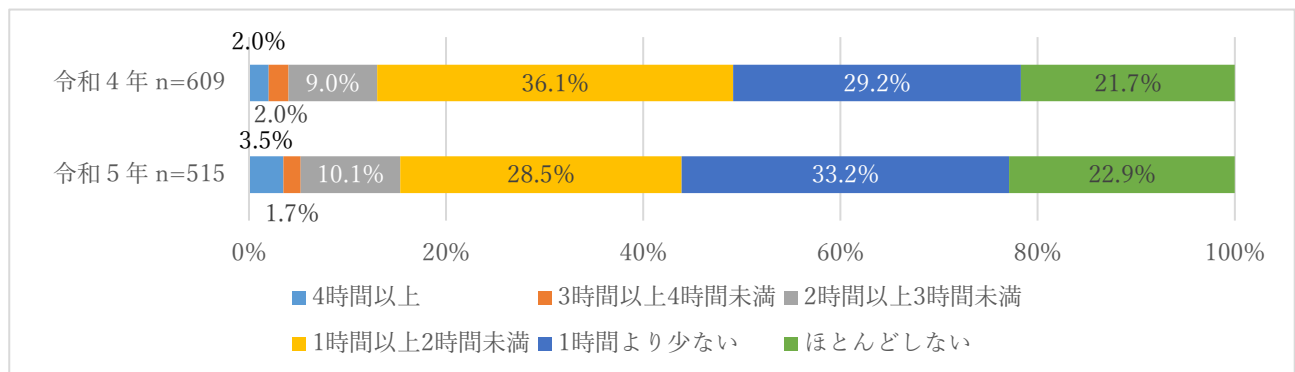
中学校2年生では、「1 時間以上 2 時間未満」が 29.2%と最も高く、次いで「ほとんどしない」が 26.6%、「1 時間より少ない」が 23.6%、「2 時間以上 3 時間未満」が 14.9%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「ほとんどしない」の回答率が上昇(令和4年 15.7%→令和5年 26.6%)しています。

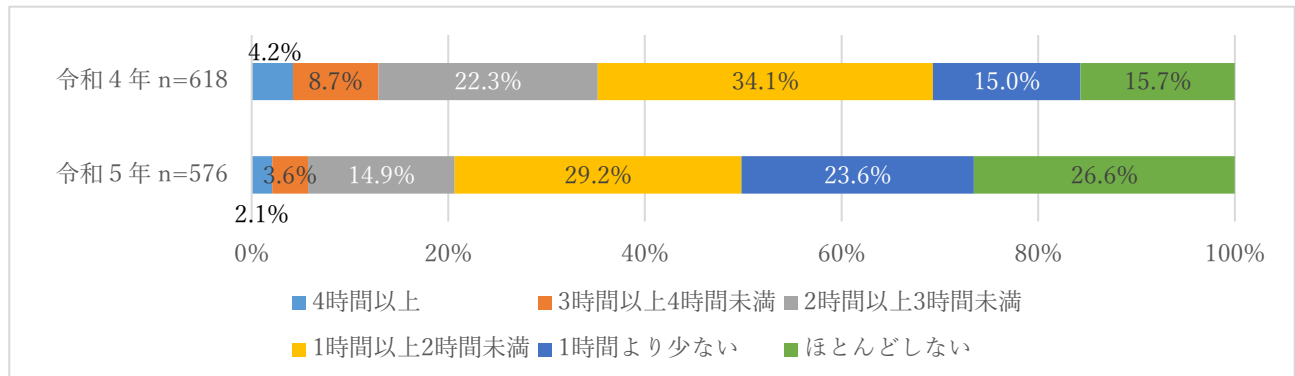
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



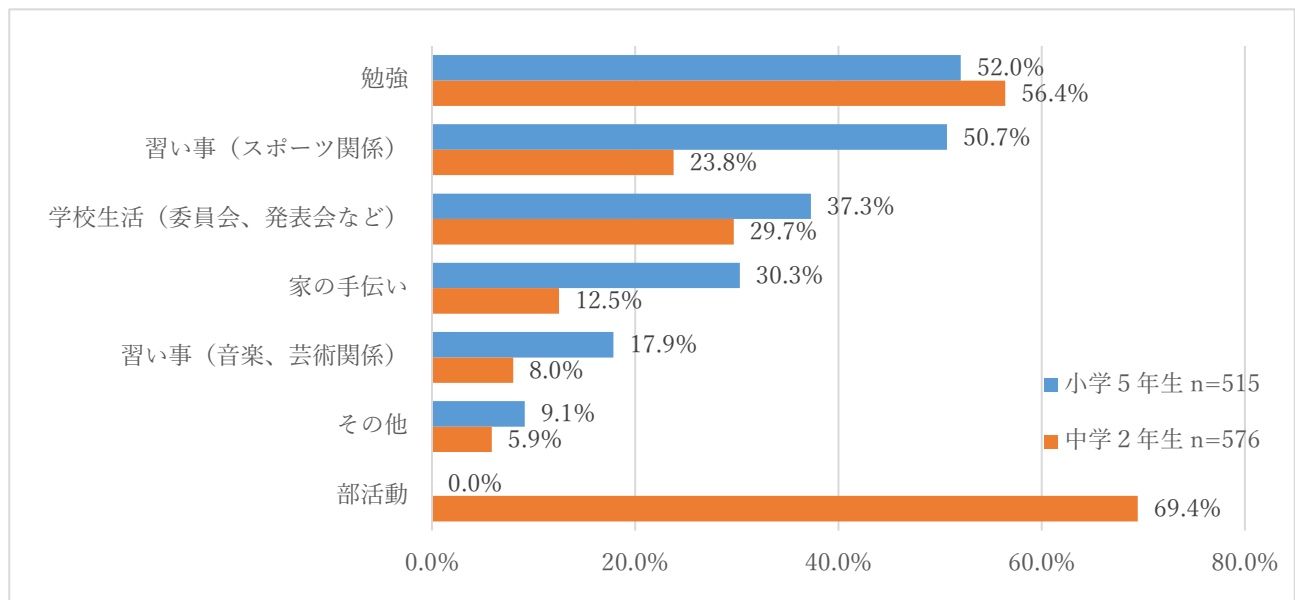
問6 あなたが、今、とくにがんばっていることは何ですか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「勉強」が 52.0%と最も高く、次いで「習い事(スポーツ関係)」が 50.7%、「学校生活(委員会、発表会など)」が 37.3%、「家の手伝い」が 30.3%と続いています。

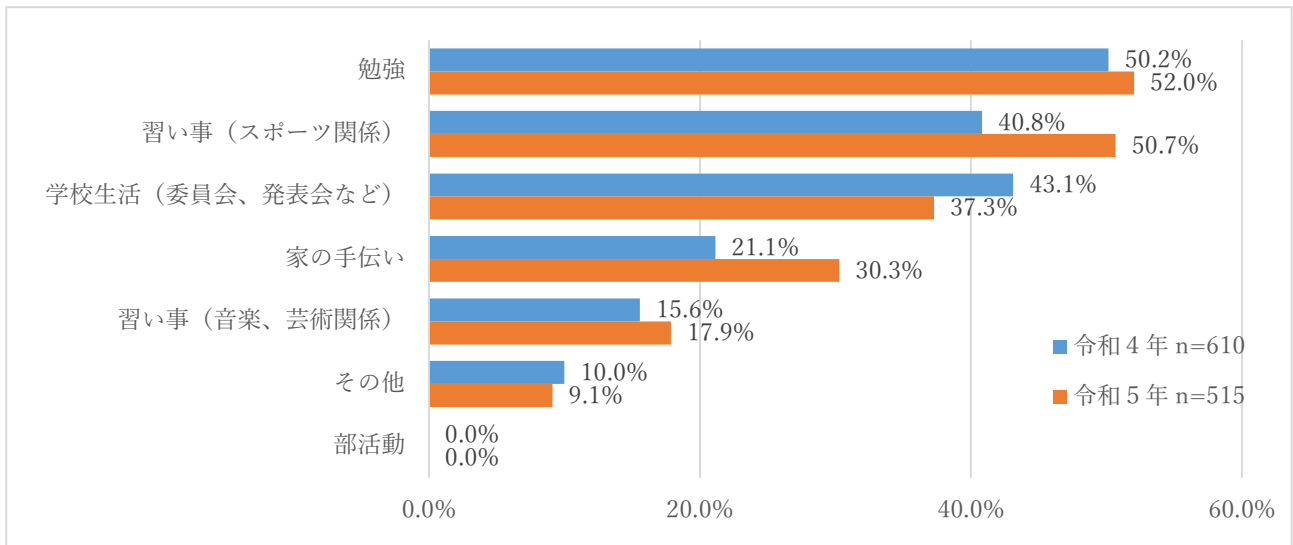
中学校2年生では、「部活動」が 69.4%、「勉強」が 56.4%とこれらが上位2つで、次いで「学校生活(委員会、発表会など)」が 29.7%、「習い事(スポーツ関係)」が 23.8%と続いています。

小学校5年生、中学校2年生の経年比較のいずれでも、「習い事(スポーツ関係)」の回答率が上昇(小学校5年生 令和4年40.8%→令和5年50.7%、中学校2年生 令和4年18.1%→令和5年23.8%)しています。

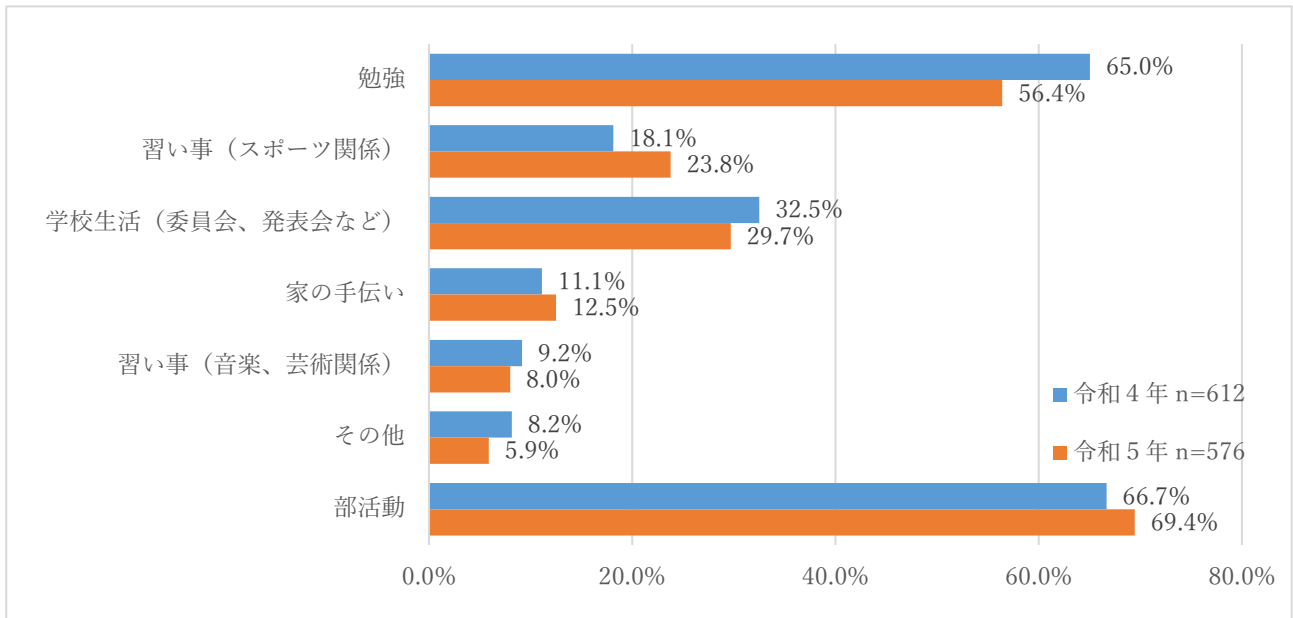
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

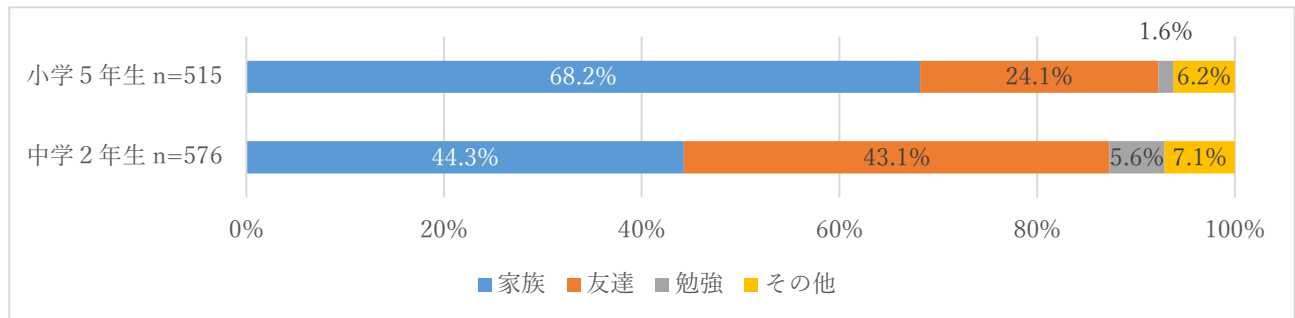


問7 あなたが、今、とくに大切にしたいものは何ですか？(どれかひとつに○)

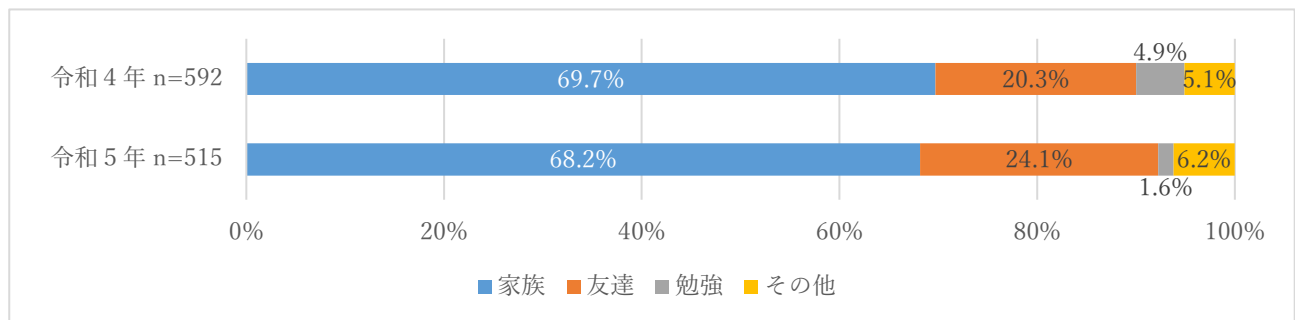
小学校5年生と中学校2年生では、「家族」が 68.2%と 44.3%と最も高く、次いで「友達」が 24.1%と 43.1%、「その他」が 6.2%と 7.1%、「勉強」が 1.6%と 5.6%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「友達」が上昇(令和4年 34.7%→令和5年 43.1%)しています。

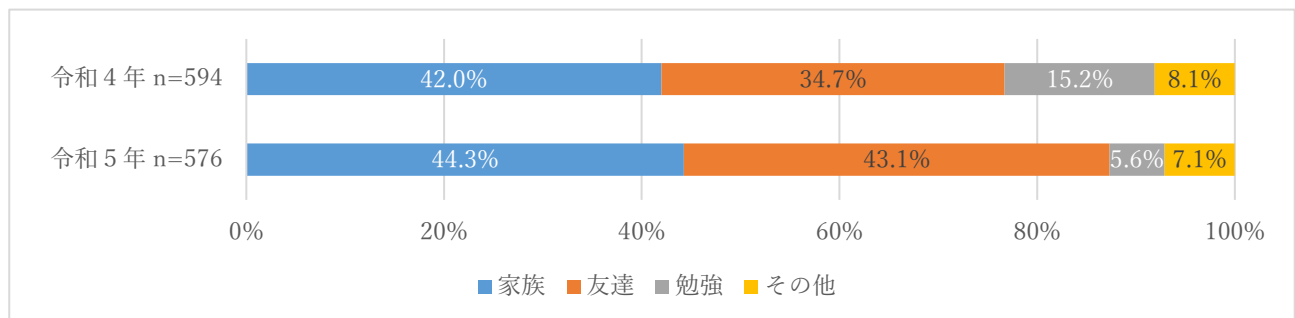
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



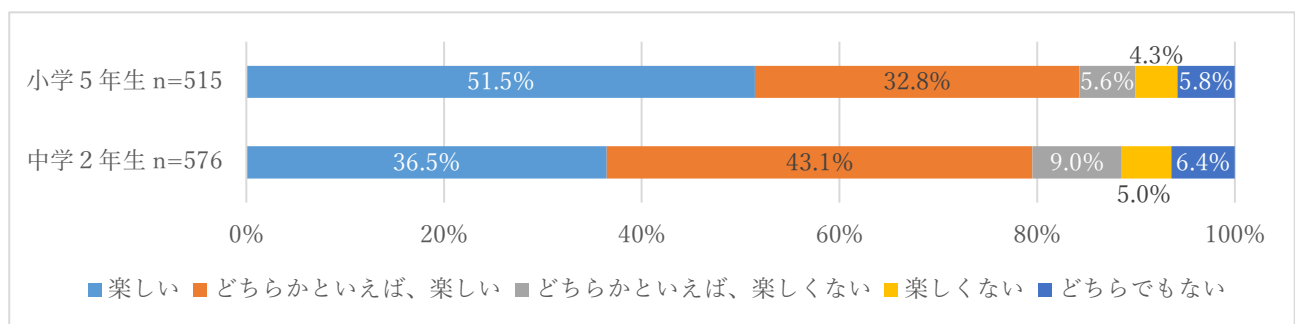
問8 あなたは、毎日、学校に行くことが楽しいですか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「楽しい」が 51.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば、楽しい」が 32.8%、「どちらでもない」が 5.8%、「どちらかといえば、楽しくない」が 5.6%と続いています。

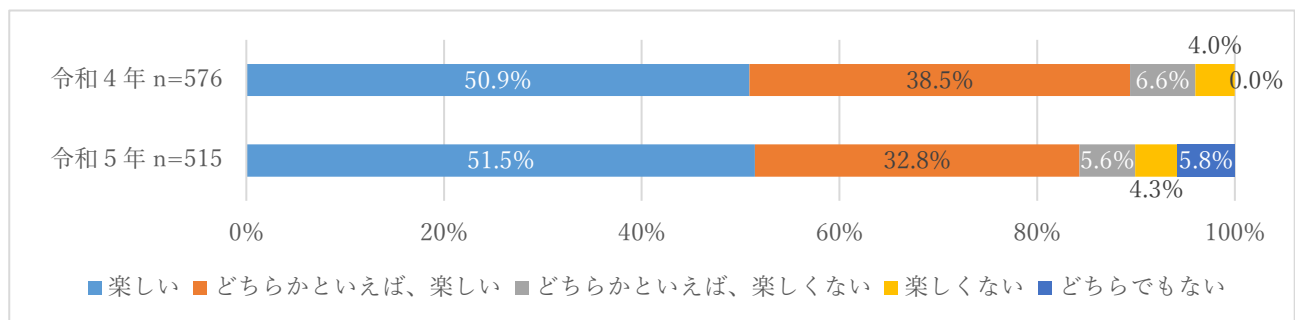
中学校2年生では、「どちらかといえば、楽しい」が 43.1%と最も高く、次いで「楽しい」が 36.5%、「どちらかといえば、楽しくない」が 9.0%、「どちらでもない」が 6.4%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「楽しい」と「どちらかといえば、楽しい」を合わせた回答率が低下(令和4年 89.4%→令和5年 84.3%)しています。

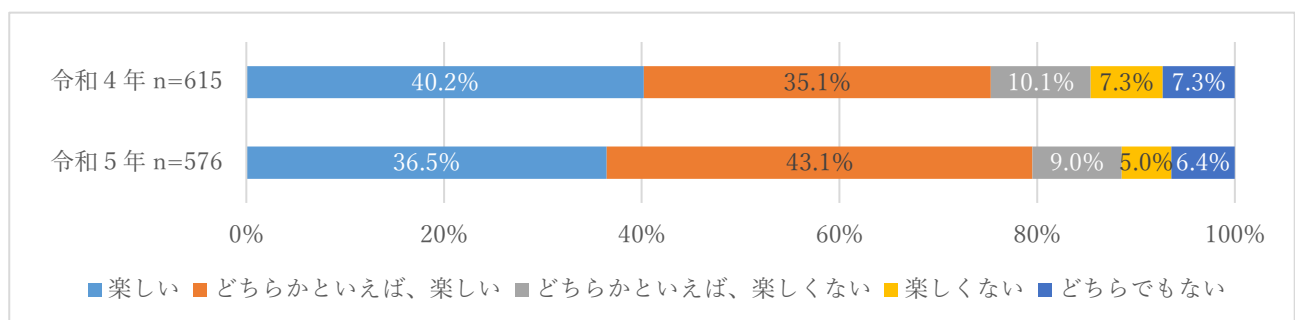
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



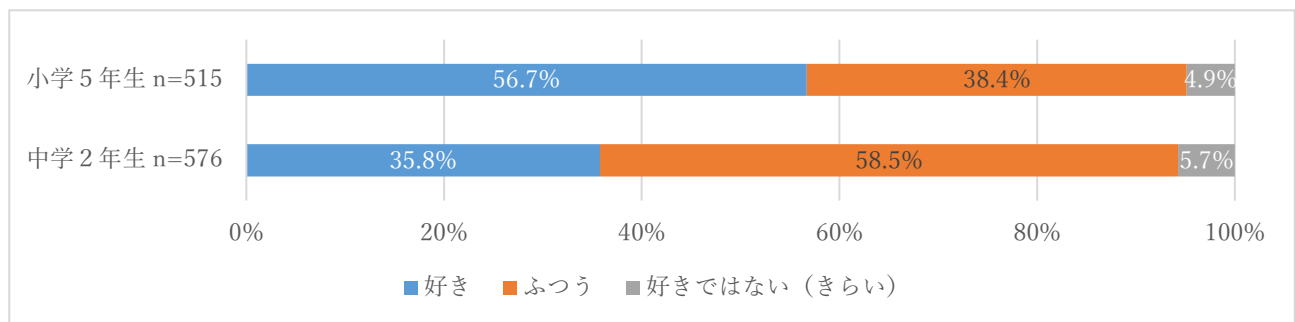
問9 あなたは、あなたの学校が好きですか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「好き」が 56.7%、「ふつう」が 38.4%とこれらが上位2つで、次いで「好きではない(きらい)」が 4.9%と続いています。

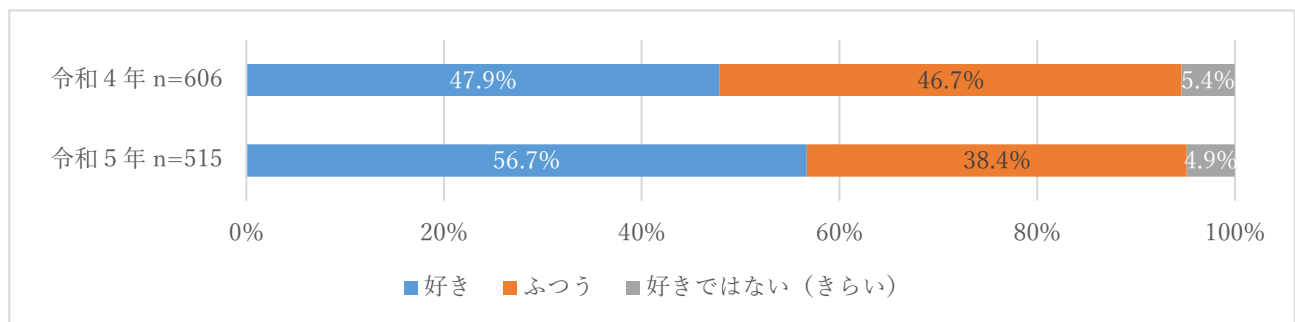
中学校2年生では、「ふつう」が 58.5%と最も高く、次いで「好き」が 35.8%、「好きではない(きらい)」が 5.7%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「好き」という回答率が上昇(令和4年 47.9%→令和5年 56.7%)しています。

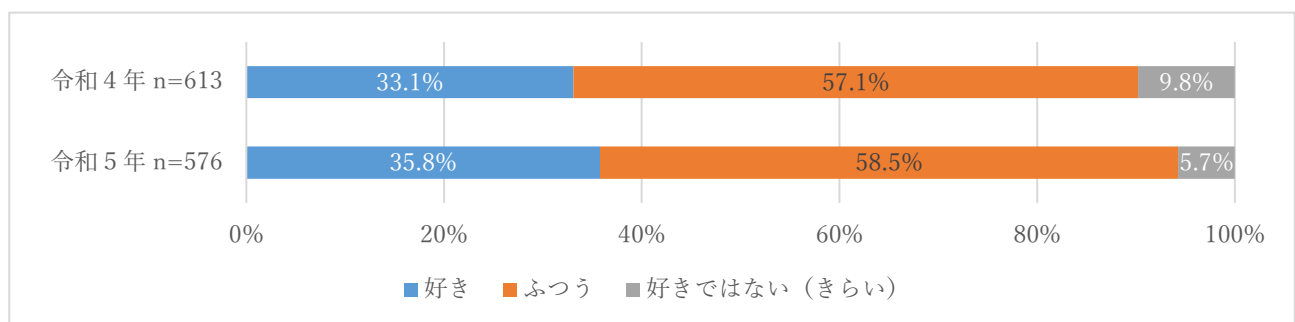
〈小学校5年生・中学校2年生 (令和5年)〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

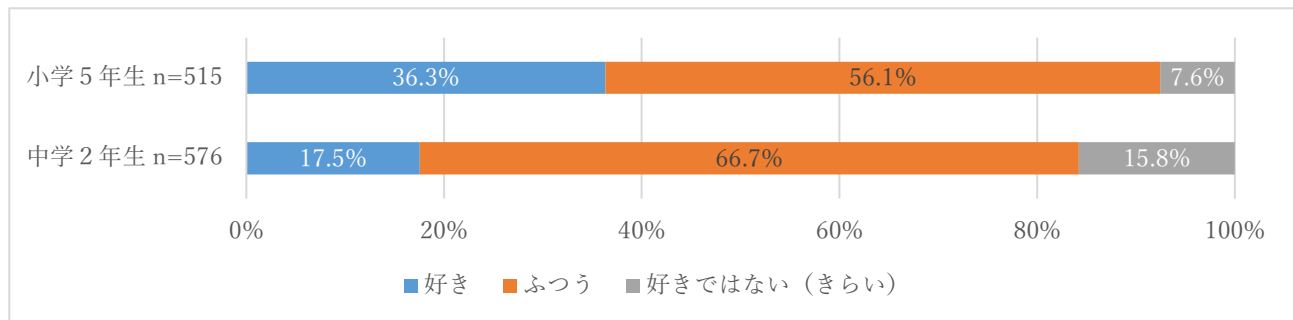


問10 あなたは、学校の授業が好きですか？(どれかひとつに○)

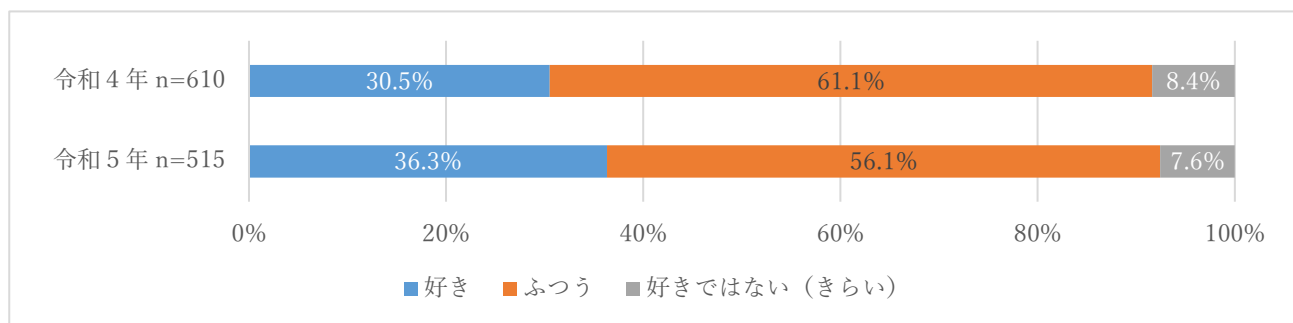
小学校5年生と中学校2年生では、「ふつう」が56.1%と66.7%と最も高く、次いで「好き」が36.3%と17.5%、「好きではない(嫌い)」が7.6%と15.8%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「好き」という回答率が上昇(令和4年 30.5%→令和5年 36.3%)しています。

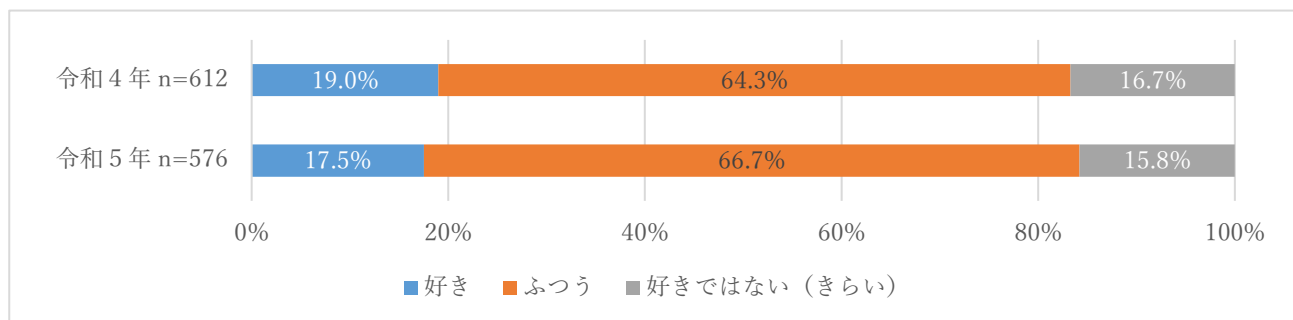
〈小学校5年生・中学校2年生 (令和5年)〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



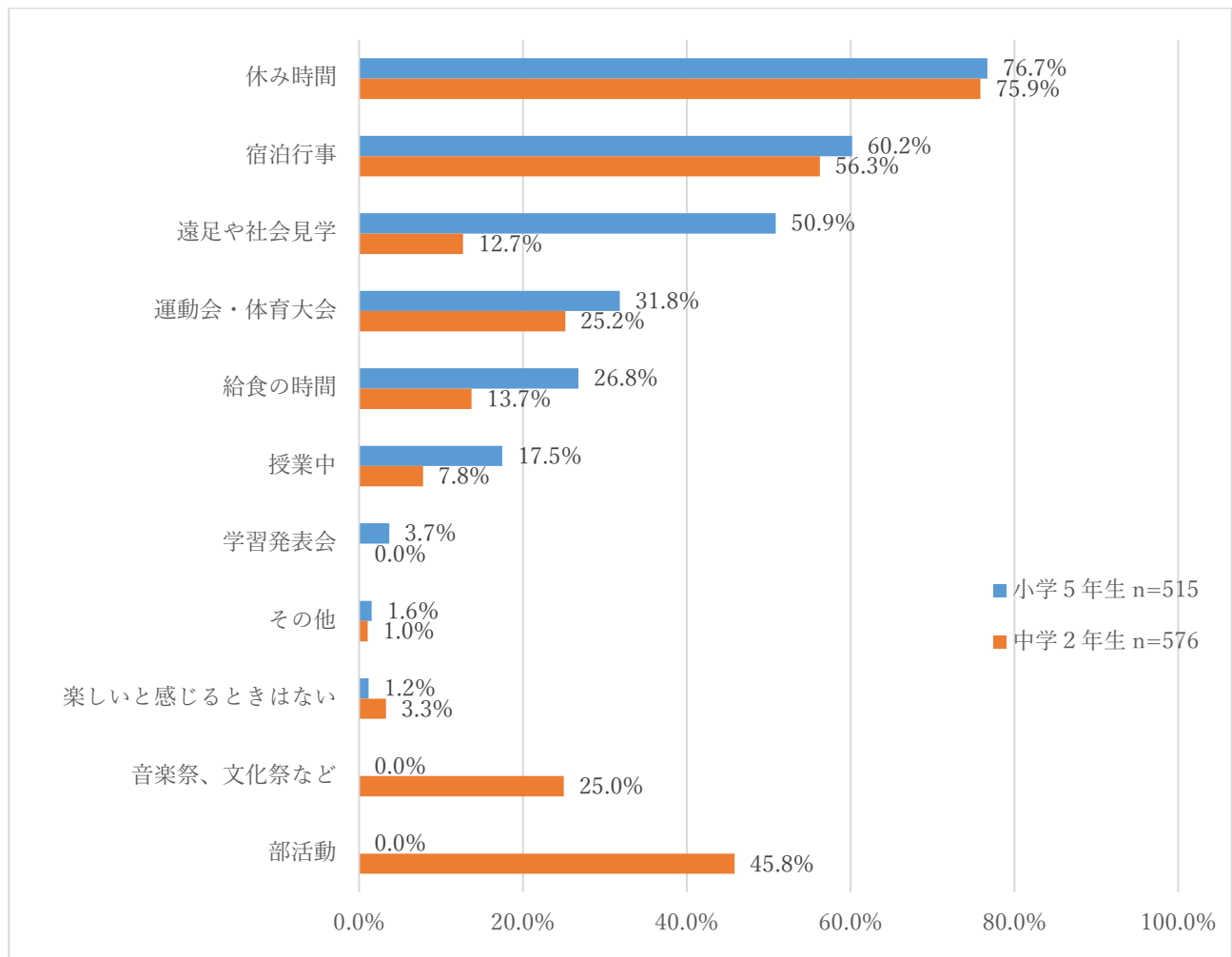
問11 あなたは、学校生活ではどんなときに楽しいと感じますか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「休み時間」が 76.7%と最も高く、次いで「宿泊行事」が 60.2%、「遠足や社会見学」が 50.9%、「運動会」が 31.8%と続いています。

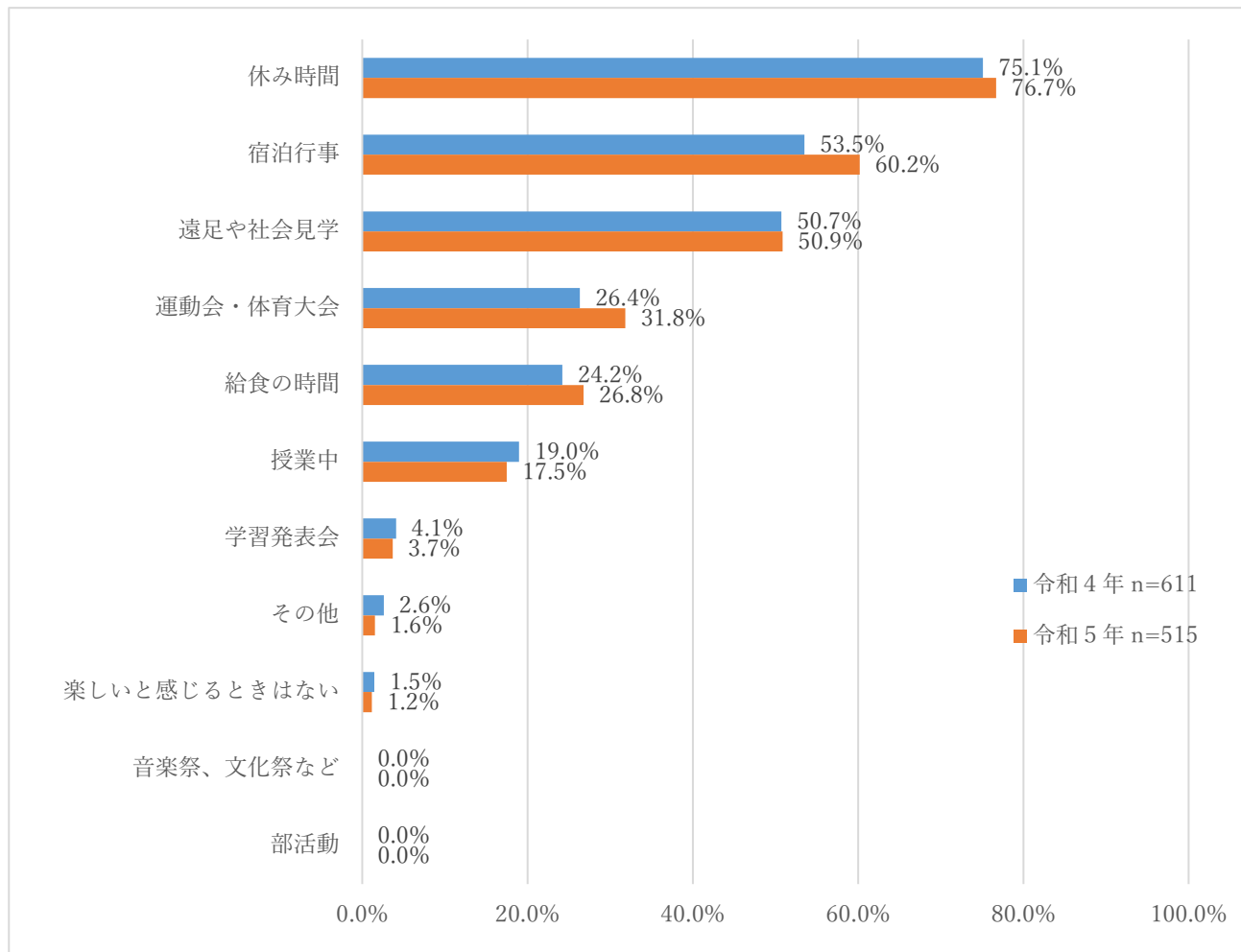
中学校2年生では、「休み時間」が 75.9%と最も高く、次いで「宿泊行事」が 56.3%、「部活動」が 45.8%、「体育大会」が 25.2%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「宿泊行事」の回答率が上昇(令和4年 53.5%→令和5年 60.2%)しており、宿泊行事や運動会・体育大会などを「楽しい」と感じている割合が上昇しています。

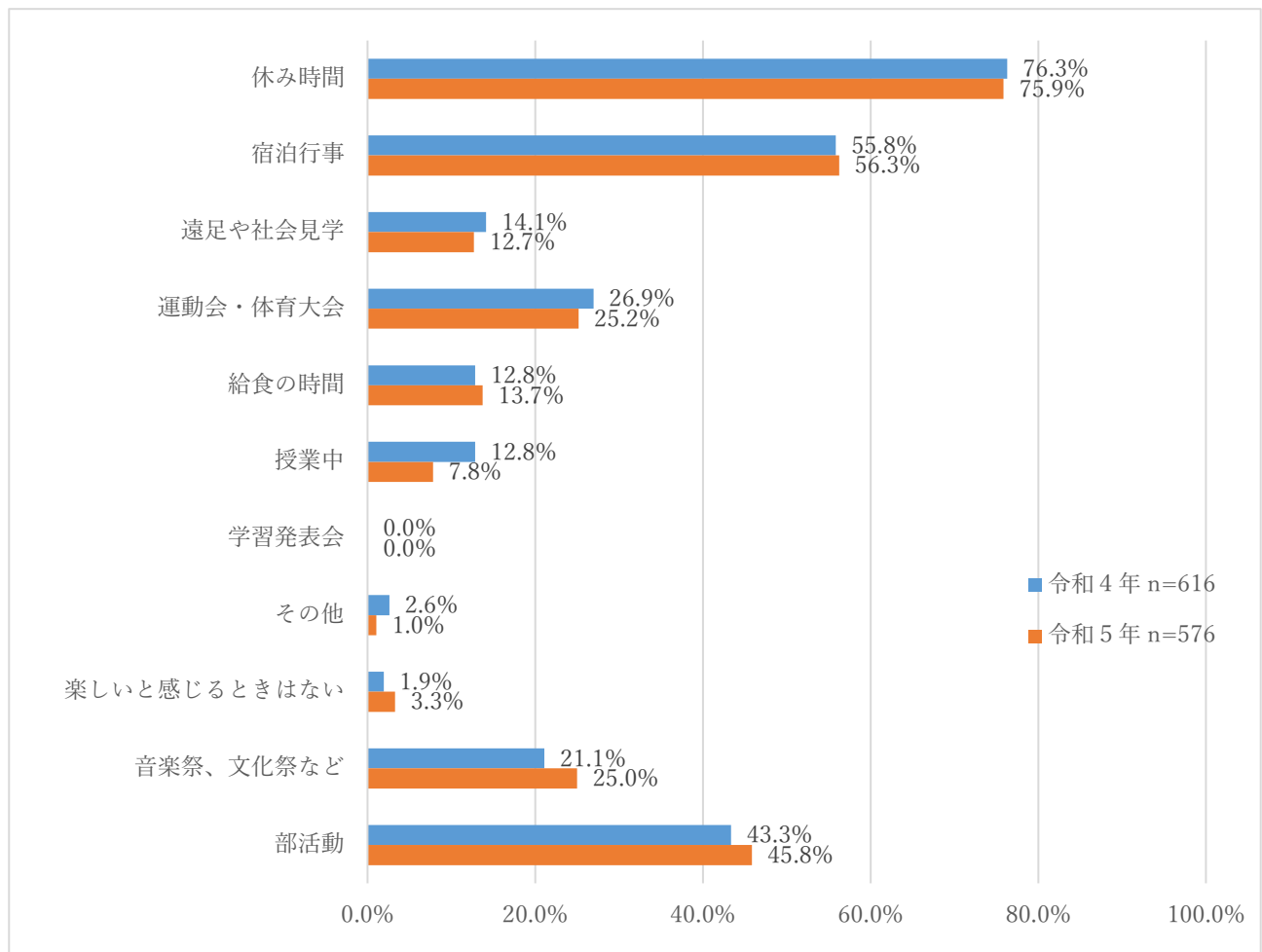
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



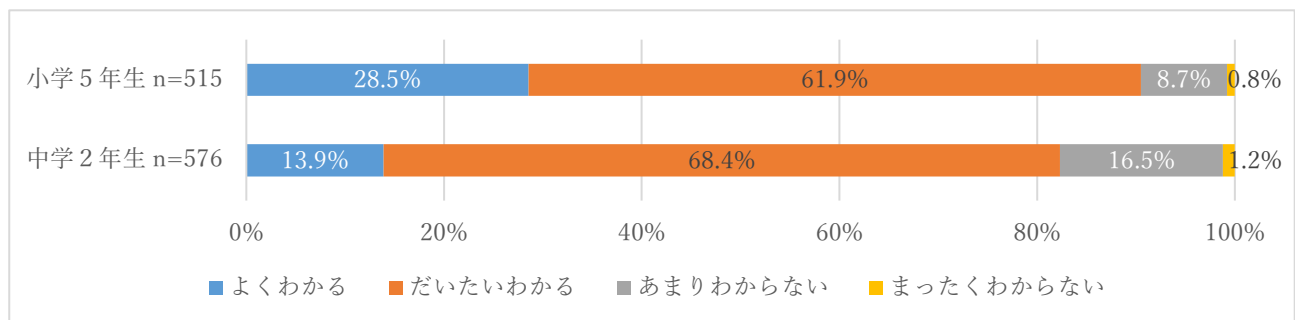
問12 あなたは、学校の授業がどの程度わかりますか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「だいたいわかる」が 61.9%と最も高く、次いで「よくわかる」が 28.5%、「あまりわからない」が 8.7%、「まったくわからない」が 0.8%と続いています。

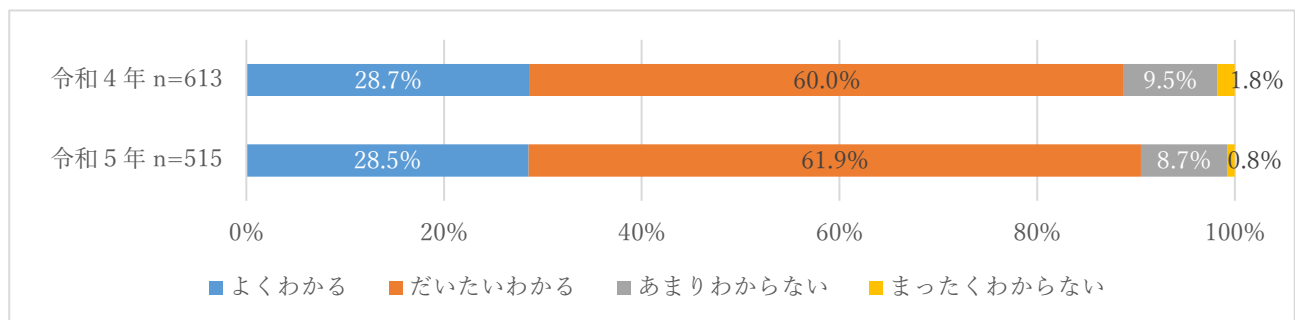
中学校2年生では、「だいたいわかる」が 68.4%と最も高く、次いで「あまりわからない」が 16.5%、「よくわかる」が 13.9%、「まったくわからない」が 1.2%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「よくわかる」という回答率が低下(令和4年 17.4%→令和5年 13.9%)しています。

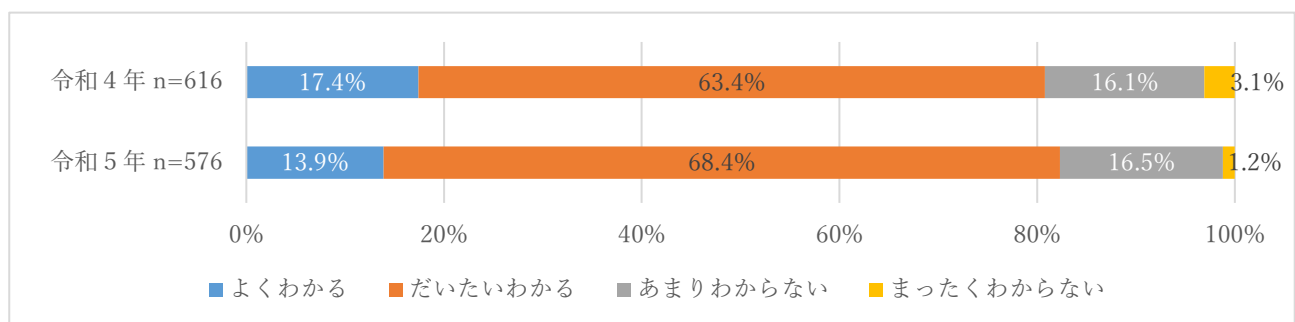
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

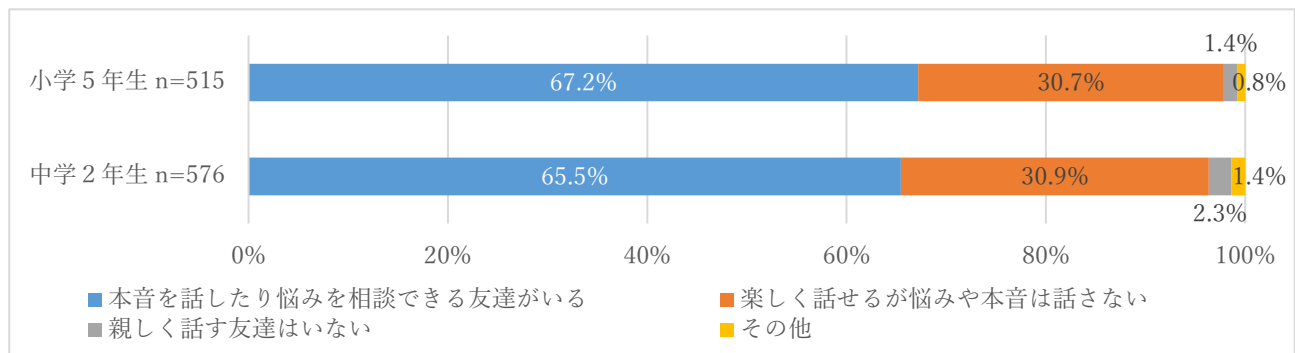


問13 あなたと学校の友達とのかかわりはどのようなものですか？(どれかひとつに○)

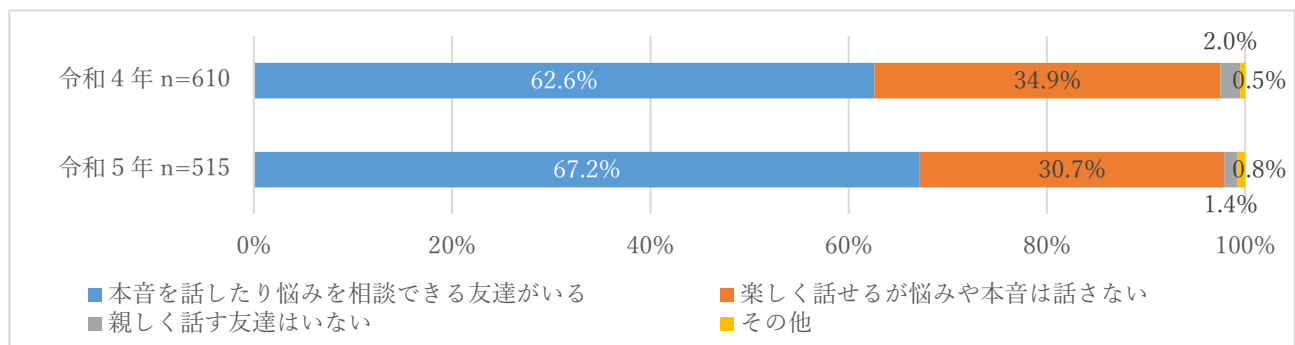
小学校5年生と中学校2年生では、「本音を話したり悩みを相談できる友達がいる」が67.2%と65.5%と最も高く、次いで「楽しく話せるが悩みや本音は話さない」が30.7%と30.9%、「親しく話す友達はいない」が1.4%と2.3%、「その他」が0.8%と1.4%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「本音を話したり悩みを相談できる友達がいる」という回答率が上昇(令和4年 62.6%→令和5年 67.2%)しています。

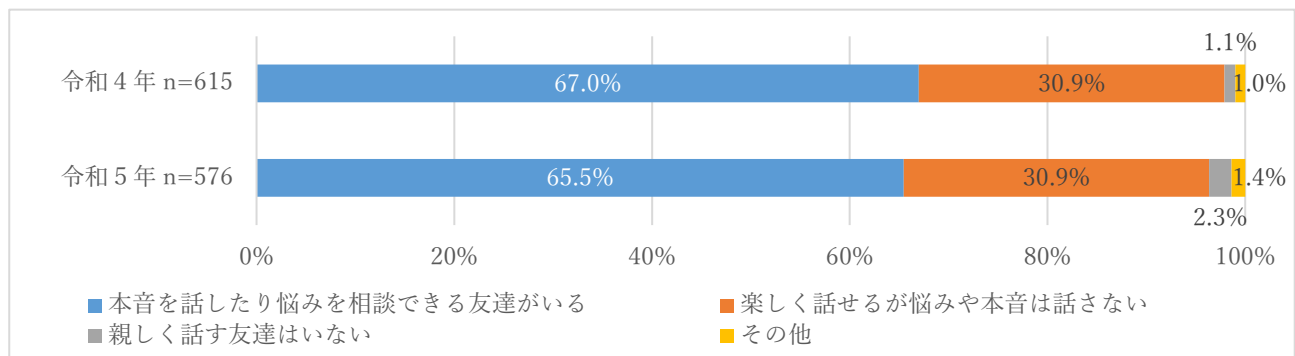
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



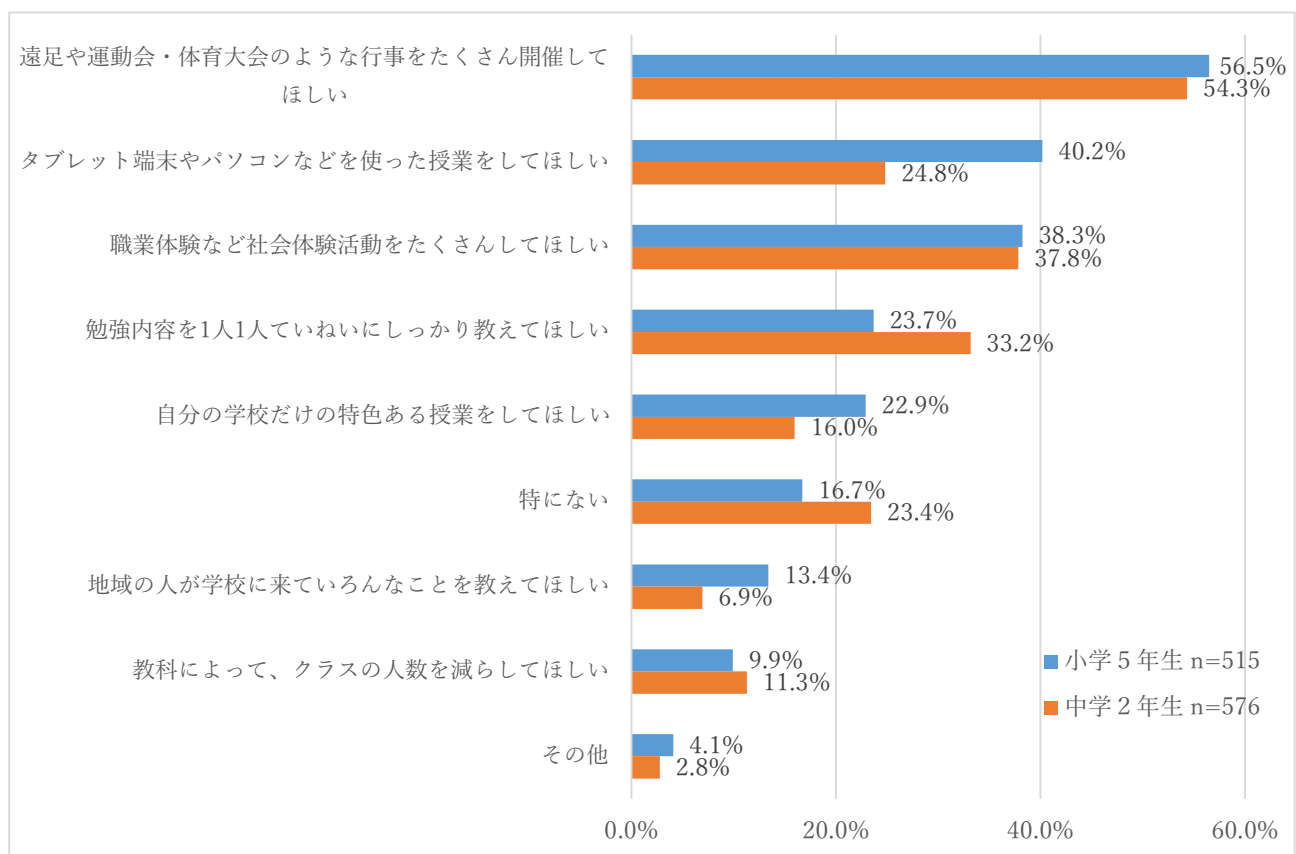
問14 学校でとくにしてほしいことは何ですか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「遠足や運動会のような行事をたくさん開催してほしい」が 56.5%と最も高く、次いで「タブレット端末やパソコンなどを使った授業をしてほしい」が 40.2%、「職業体験など社会体験活動をたくさんしてほしい」が 38.3%、「勉強内容を1人1人ていねいにしっかり教えてほしい」が 23.7%と続いています。

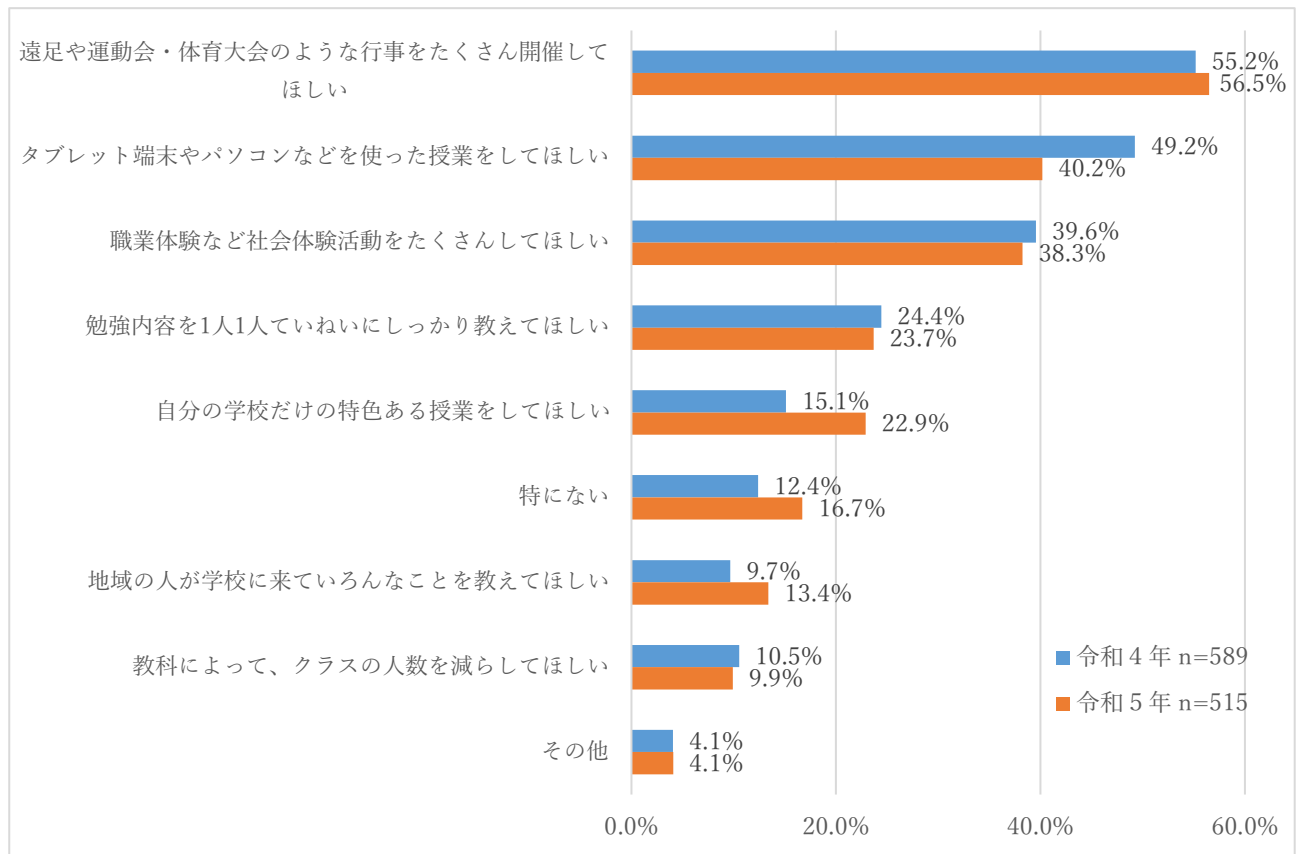
中学校2年生では、「遠足や体育大会のような行事をたくさん開催してほしい」が 54.3%と最も高く、次いで「職業体験など社会体験活動をたくさんしてほしい」が 37.8%、「勉強内容を1人1人ていねいにしっかり教えてほしい」が 33.2%、「タブレット端末やパソコンなどを使った授業をしてほしい」が 24.8%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「遠足や運動会のような行事をたくさん開催してほしい」という回答率が上昇(令和4年 46.7%→令和5年 54.3%)している一方、小学校5年生、中学校2年生のいずれでも、「タブレット端末やパソコンなどを使った授業をしてほしい」という回答率が低下(小学校5年生 令和4年 49.2%→令和5年 40.2%、中学校2年生 令和4年 39.7%→令和5年 24.8%)しています。

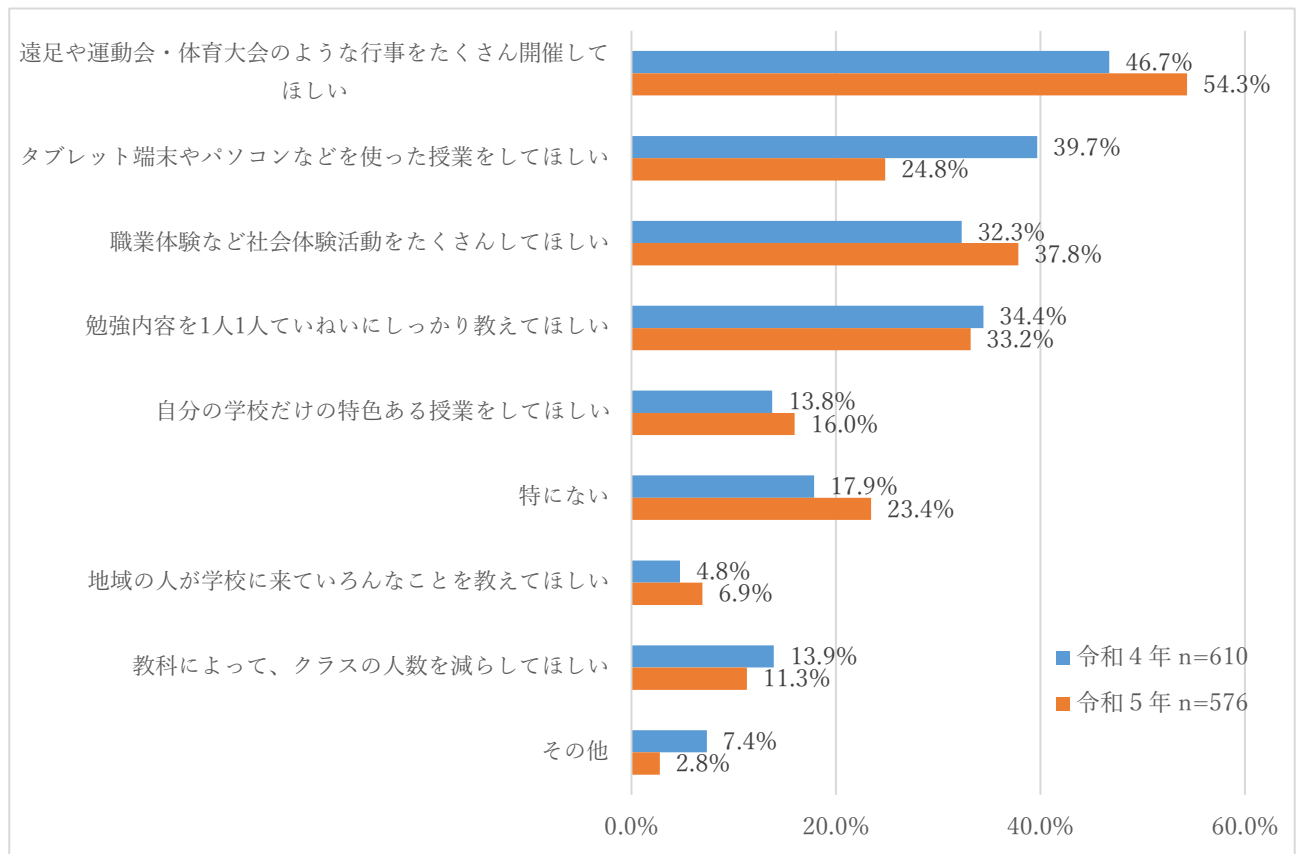
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



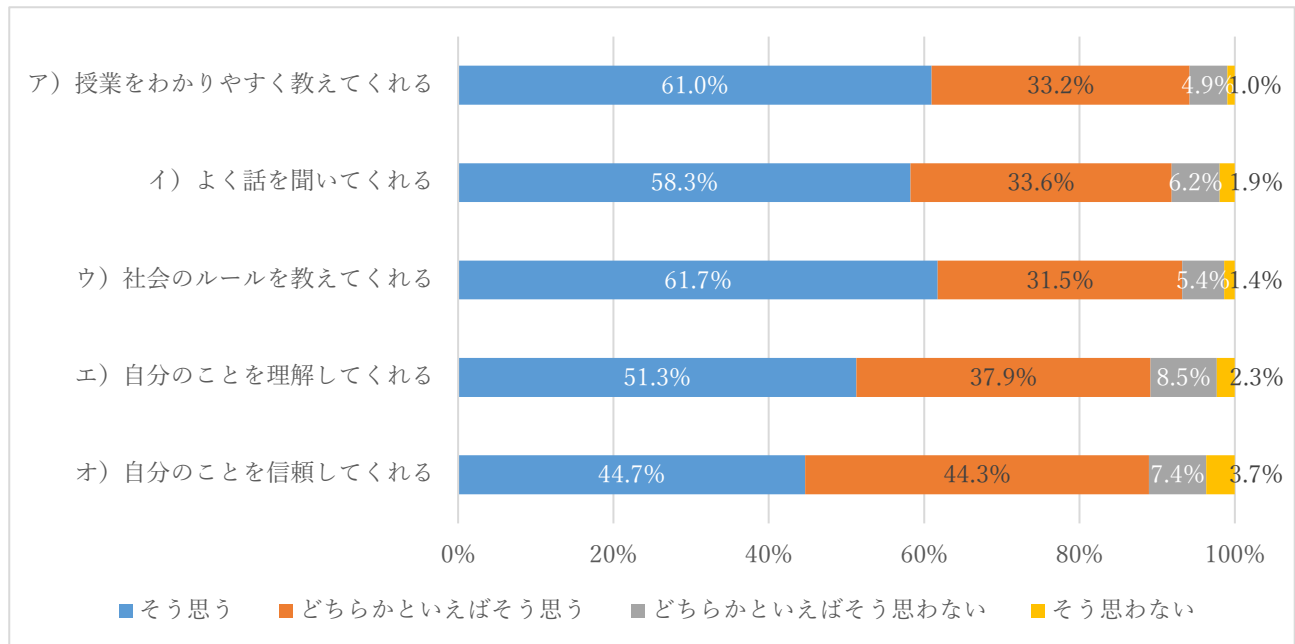
〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



問15 あなたは学校の先生について、どのように感じていますか？(どれかひとつに○)

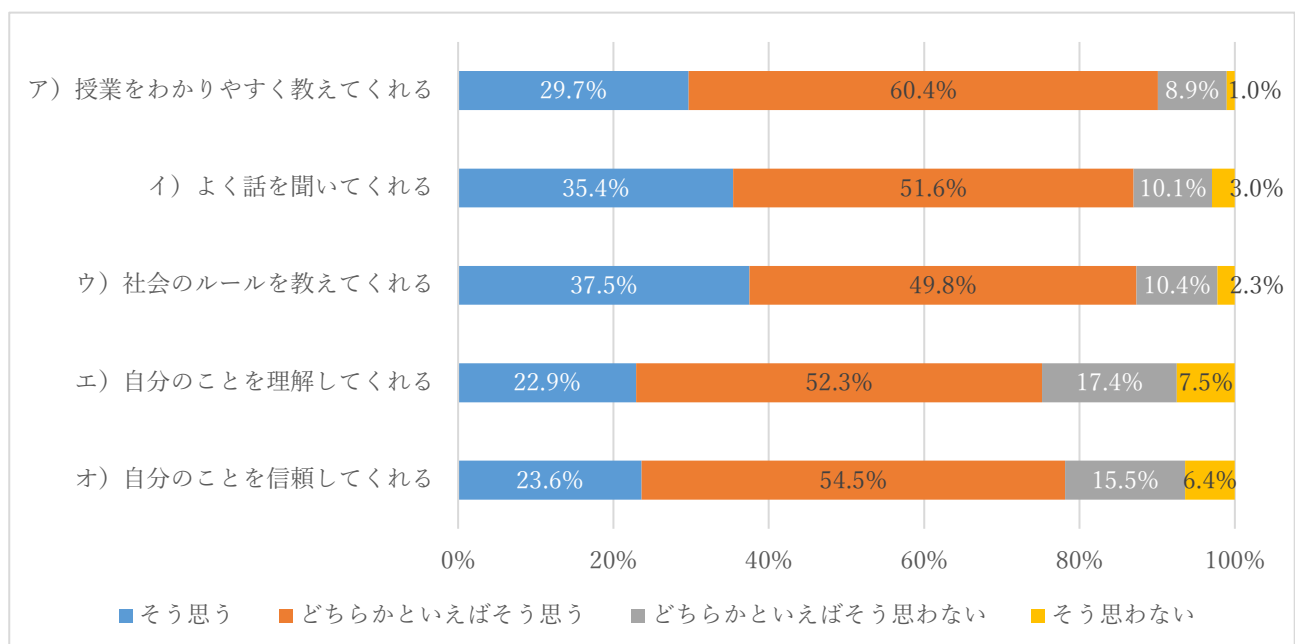
小学校5年生では、「そう思う」との回答は「社会のルールを教えてくれる」が 61.7%と最も高く、次いで「授業をわかりやすく教えてくれる」が 61.0%、「よく話を聞いてくれる」が 58.3%と続いています。

〈小学校5年生（令和5年）〉

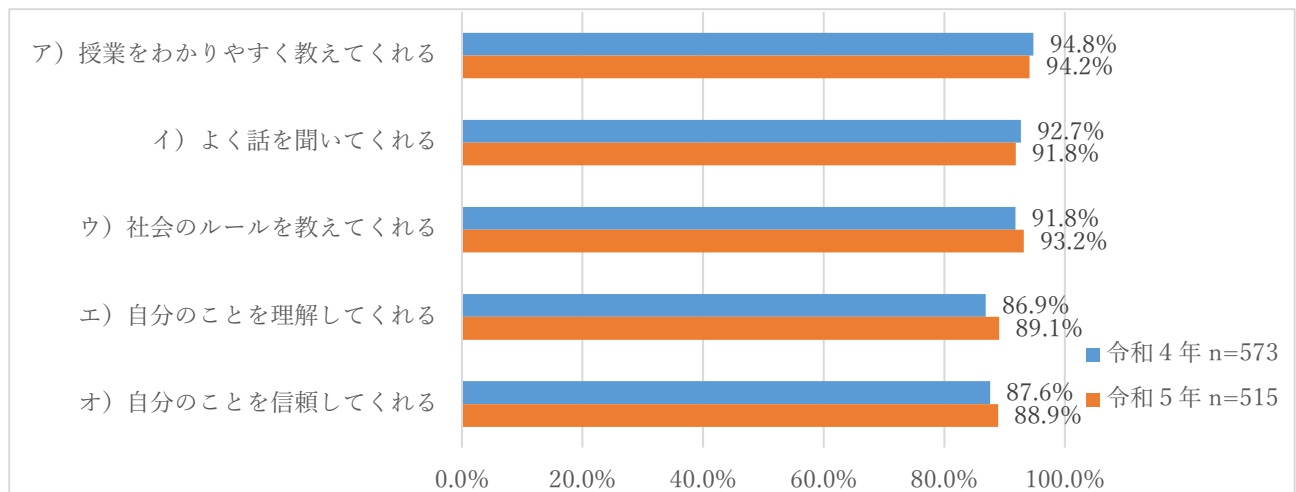


中学校2年生では、「そう思う」との回答は「社会のルールを教えてくれる」が 37.5%と最も高く、次いで「よく話を聞いてくれる」が 35.4%、「授業をわかりやすく教えてくれる」が 29.7%とこれらが上位3つとなっています。

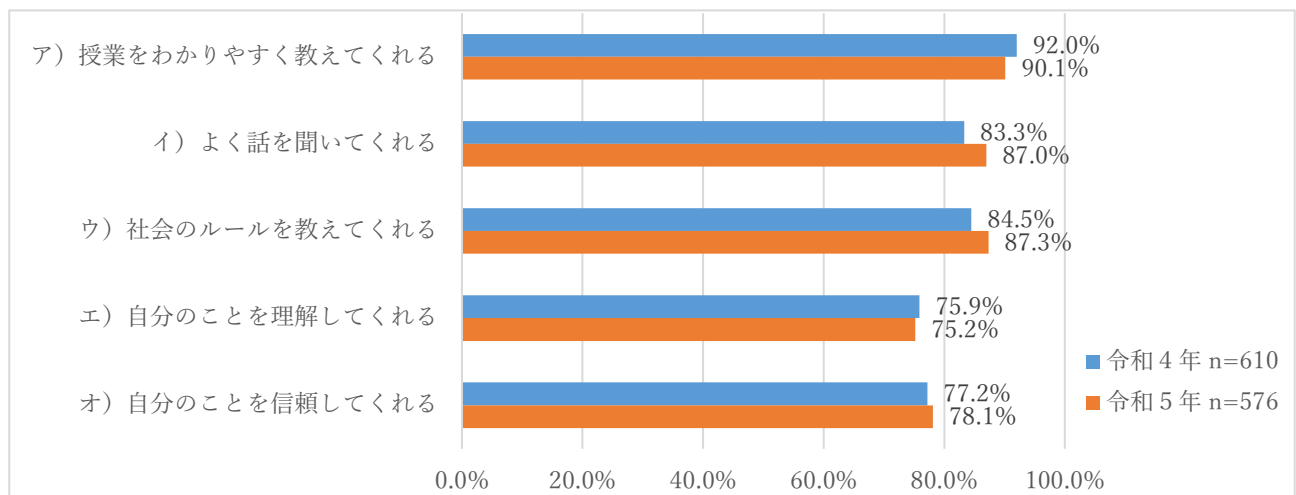
〈中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉※



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉※

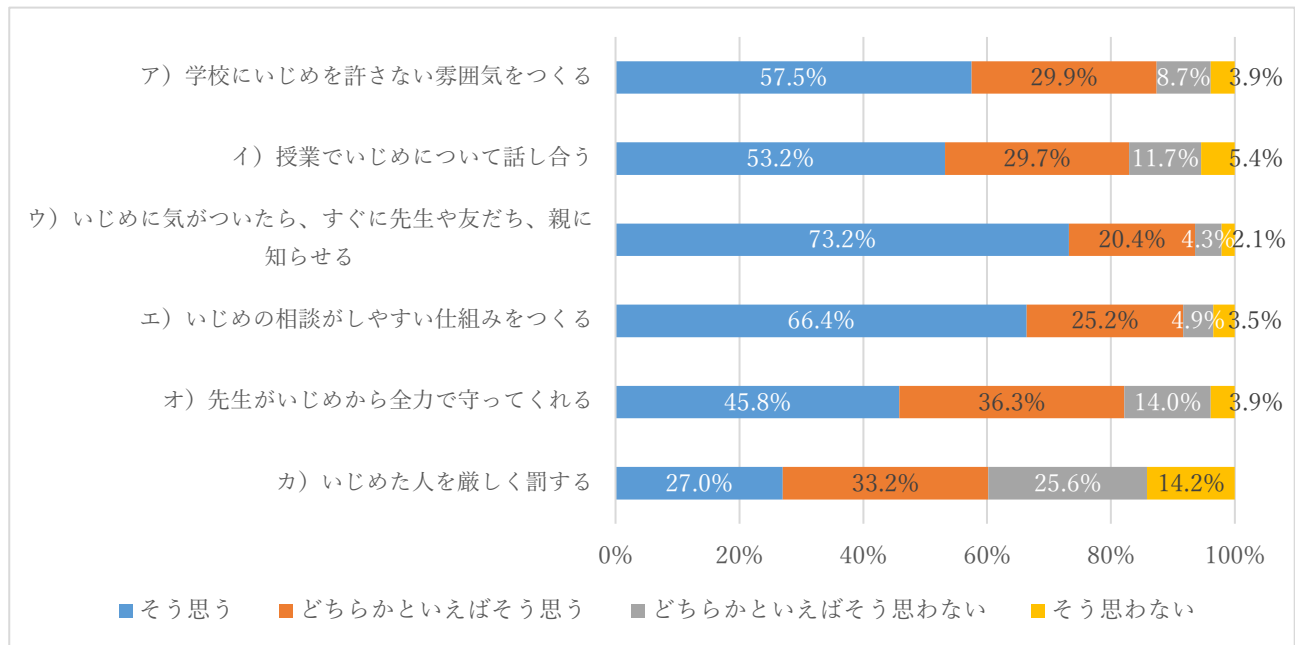


※「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率

問16 ニュースなどで「いじめ」の話題がたびたび取り上げられることがあります。あなたは
 どうしたらいじめを減らしたり、解決できると思いますか？(どれかひとつに○)

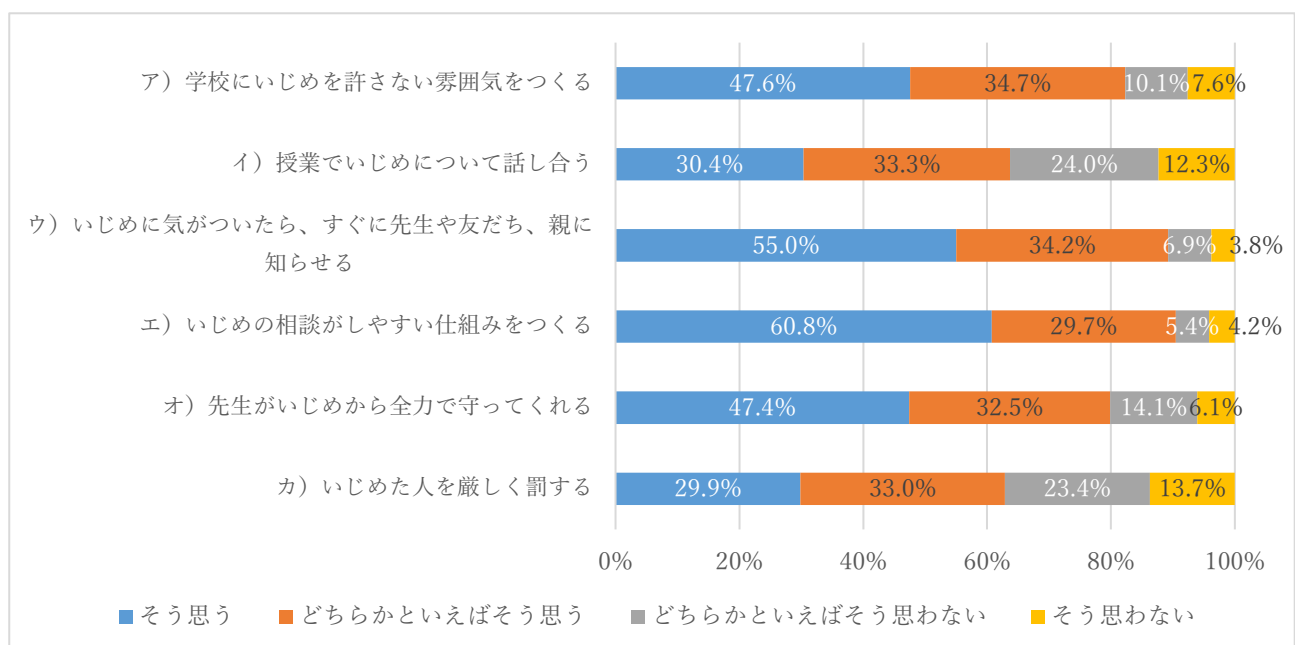
小学校5年生では、「そう思う」との回答は「いじめに気がついたら、すぐに先生や友だち、親に知らせる」が 73.2%と最も高く、次いで「いじめの相談がしやすい仕組みをつくる」が 66.4%、「学校にいじめを許さない雰囲気をつくる」が 57.5%と続いています。

〈小学校5年生（令和5年）〉



中学校2年生では、「そう思う」との回答は「いじめの相談がしやすい仕組みをつくる」が 60.8%と最も高く、次いで「いじめに気がついたら、すぐに先生や友だち、親に知らせる」が 55.0%、「学校にいじめを許さない雰囲気をつくる」が 47.6%と続いています。

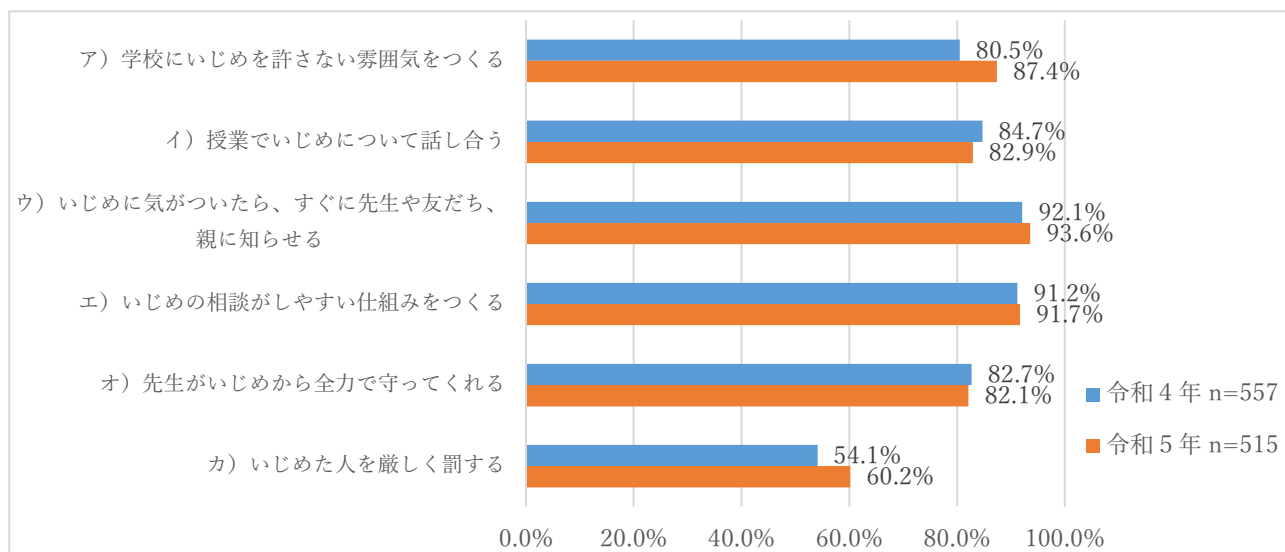
〈中学校2年生（令和5年）〉



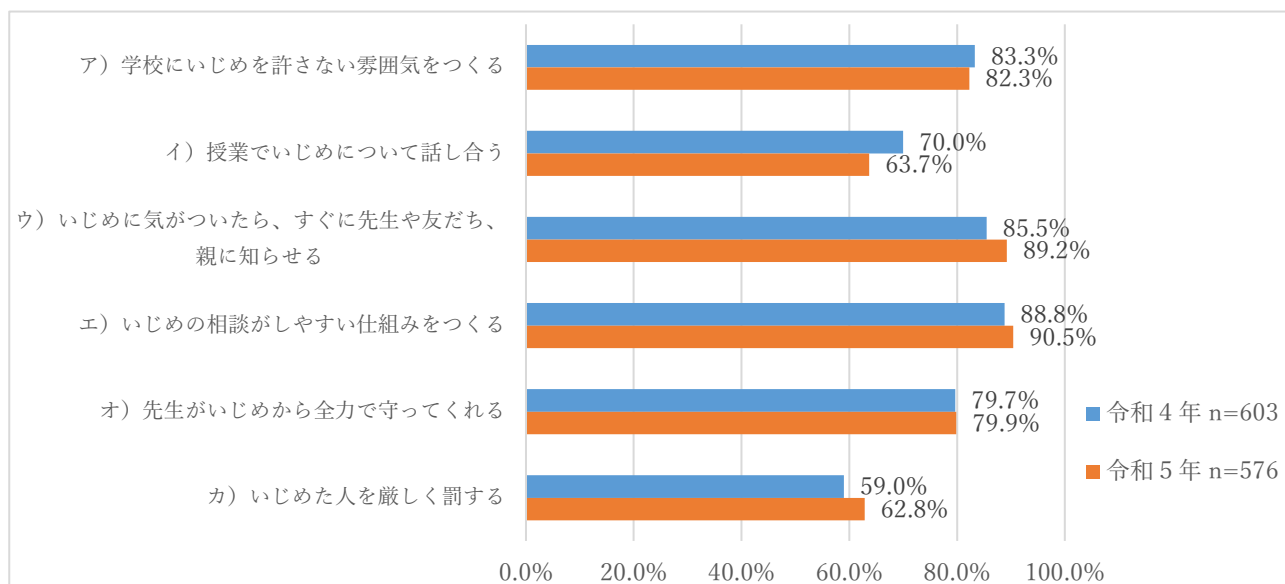
小学校5年生の経年比較では、“ア)学校にいじめを許さない雰囲気をつくる”ということに、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率が上昇(令和4年 80.5%→令和5年 87.4%)しています。

中学校2年生の経年比較では、“イ)授業でいじめについて話し合う”ということに、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率が低下(令和4年 70.0%→令和5年 63.7%)しています。

〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉※



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉※



※「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率

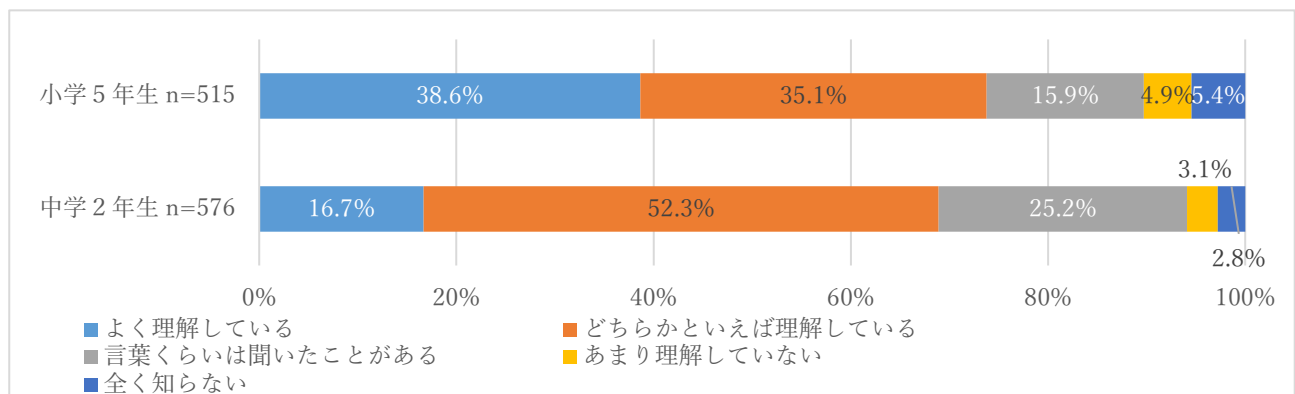
問17 あなたはSDGs(エスディーゼーズ)について知っていますか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「よく理解している」が 38.6%、「どちらかといえば理解している」が 35.1%とこれらが上位2つで、次いで「言葉くらいは聞いたことがある」が 15.9%、「全く知らない」が 5.4%と続いています。

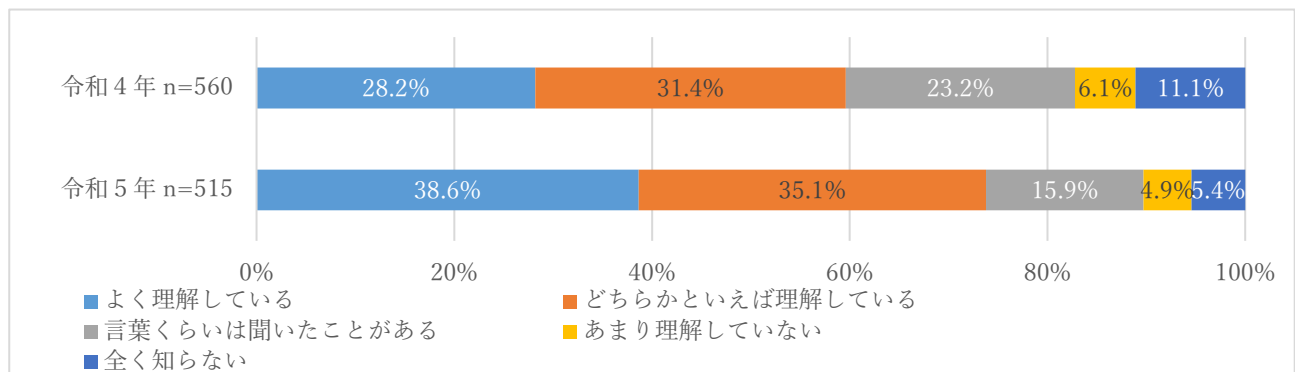
中学校2年生では、「どちらかといえば理解している」が 52.3%と最も高く、次いで「言葉くらいは聞いたことがある」が 25.2%、「よく理解している」が 16.7%、「あまり理解していない」が 3.1%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「よく理解している」という回答率が上昇(令和4年 28.2%→令和5年 38.6%)しています。

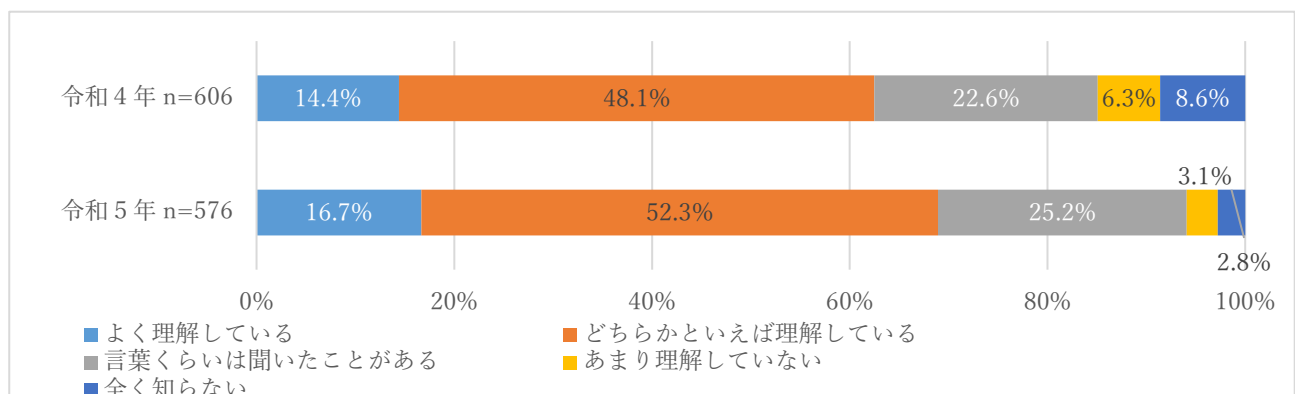
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

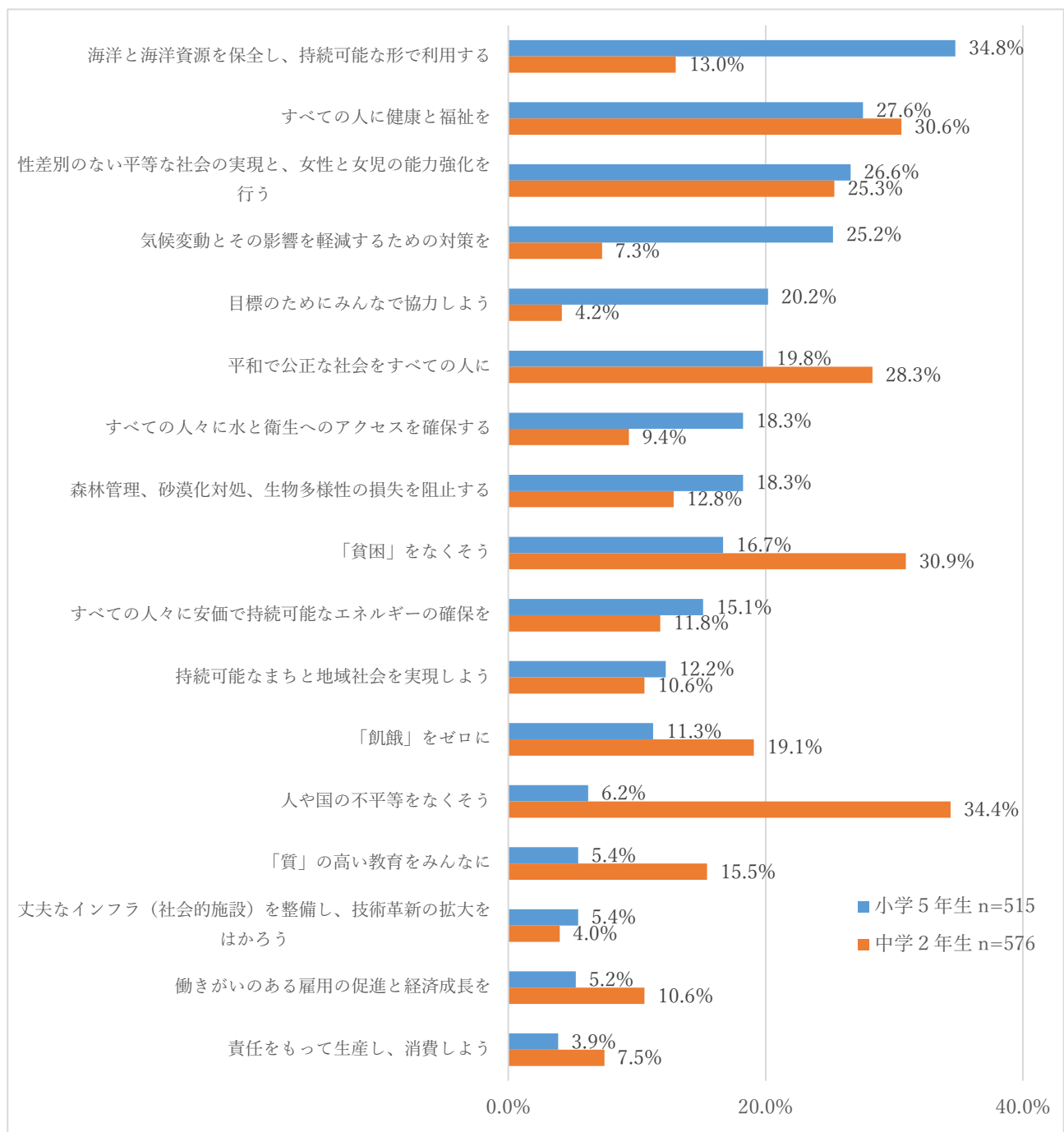


問17—2 これら17個の目標のうち、あなたが興味のある目標はどれですか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」が 34.8%と最も高く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 27.6%、「性差別のない平等な社会の実現と、女性と女児の能力強化を行う」が 26.6%、「気候変動とその影響を軽減するための対策」が 25.2%と続いています。

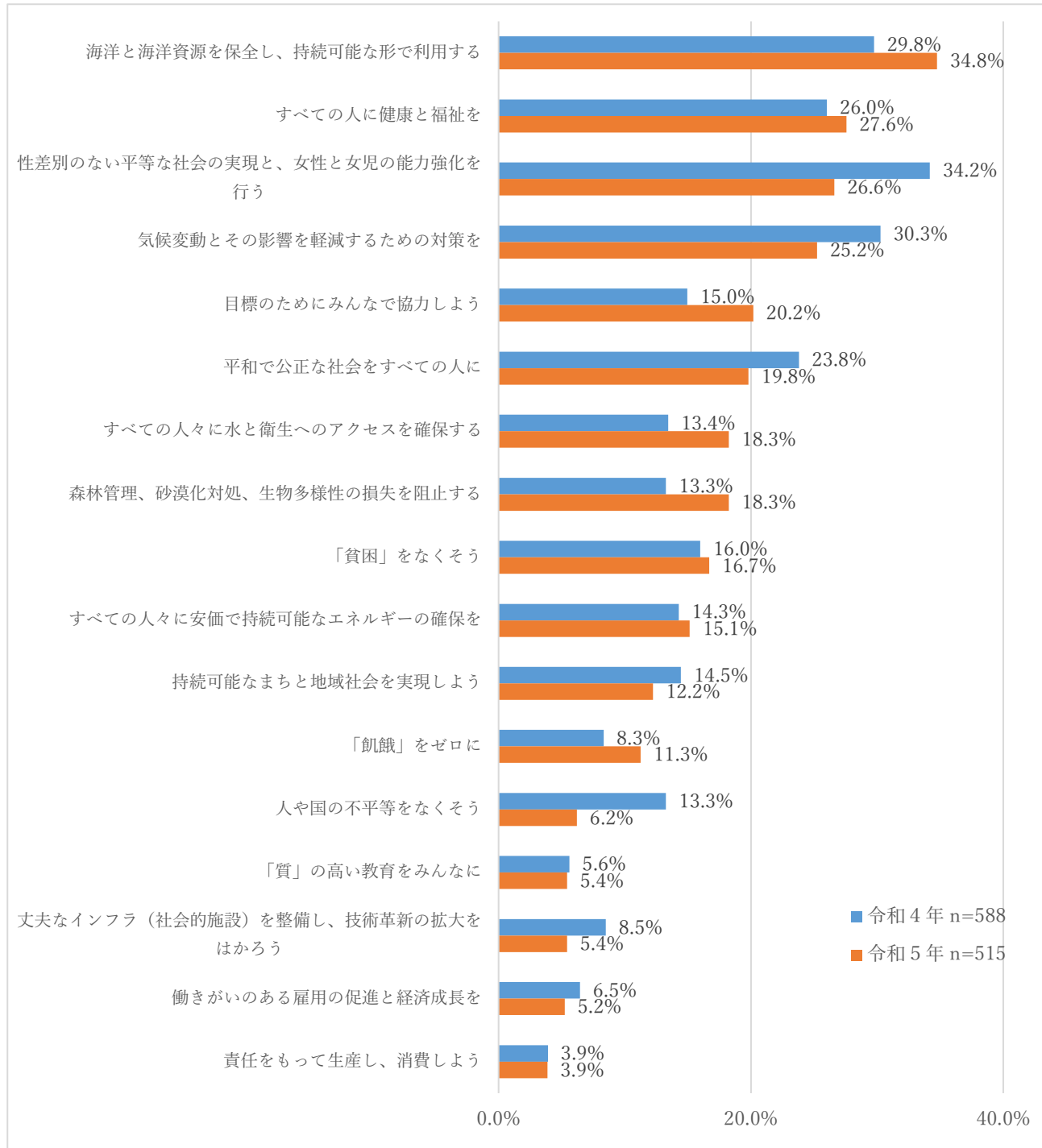
中学校2年生では、「人や国の不平等をなくそう」が 34.4%と最も高く、次いで「貧困をなくそう」が 30.9%、「すべての人に健康と福祉を」が 30.6%、「平和で公正な社会をすべての人に」が 28.3%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉

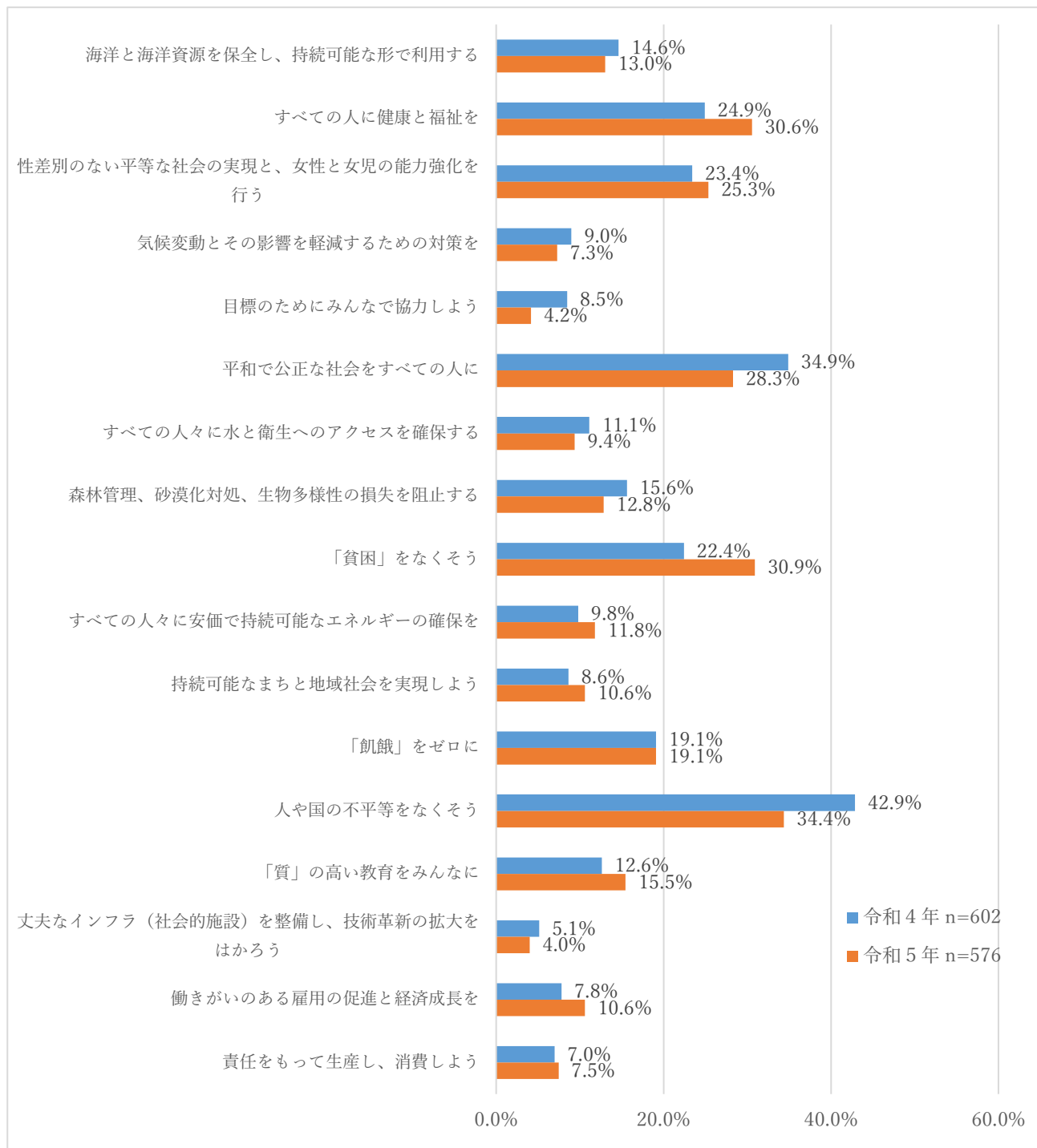


小学校5年生の経年比較では、「海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」の回答率が上昇(令和4年 29.8%→令和5年 34.8%)している一方、「性差別のない平等な社会の実現と、女性と女兒の能力強化を行う」が低下(令和4年 34.2%→令和5年 26.6%)しています。

〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

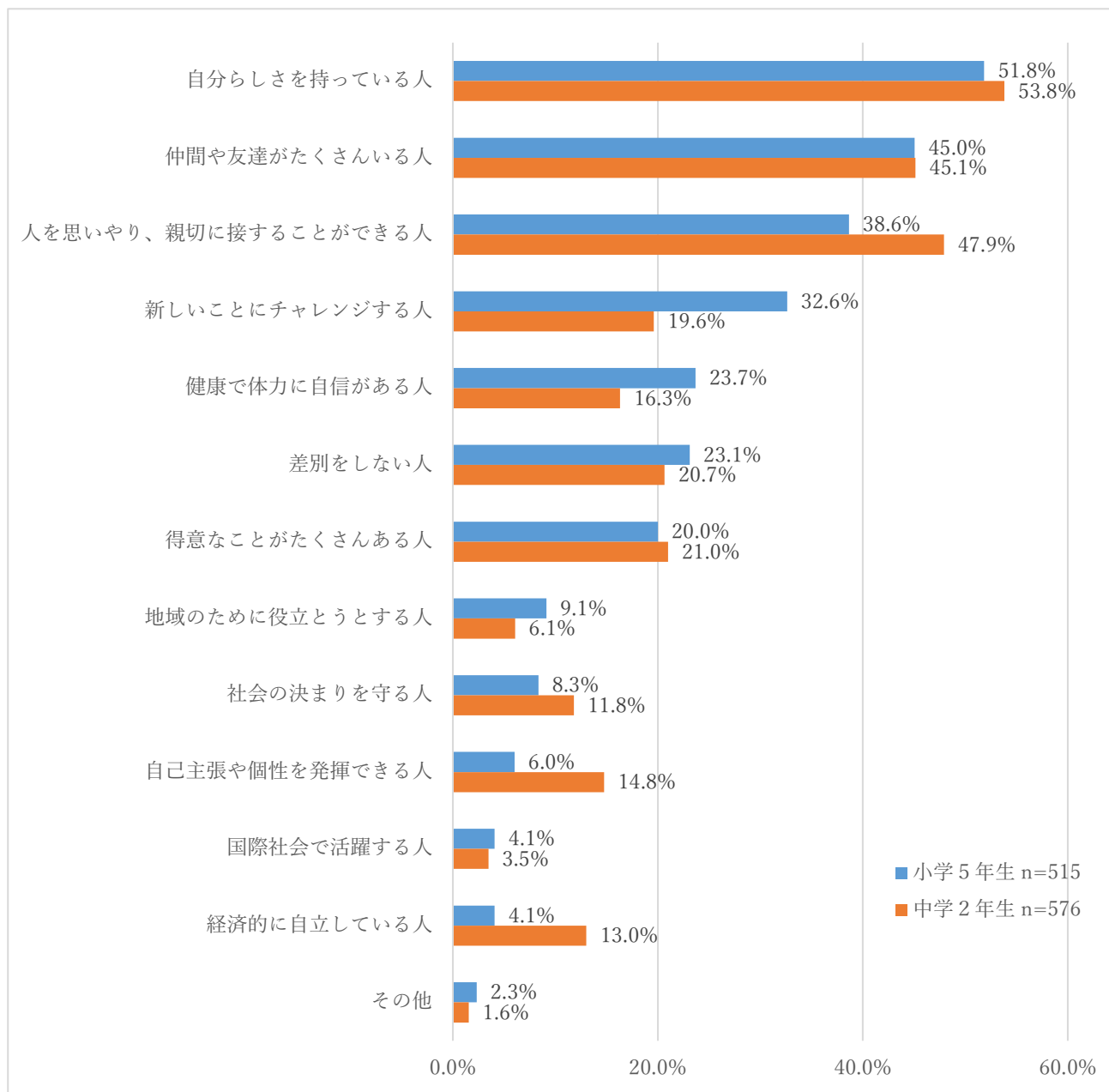


問18 あなたは将来どのような人になりたいですか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「自分らしさを持っている人」が 51.8%、「仲間や友達がたくさんいる人」が 45.0%とこれらが上位2つで、次いで「人を思いやり、親切に接することができる人」が 38.6%、「新しいことにチャレンジする人」が 32.6%と続いています。

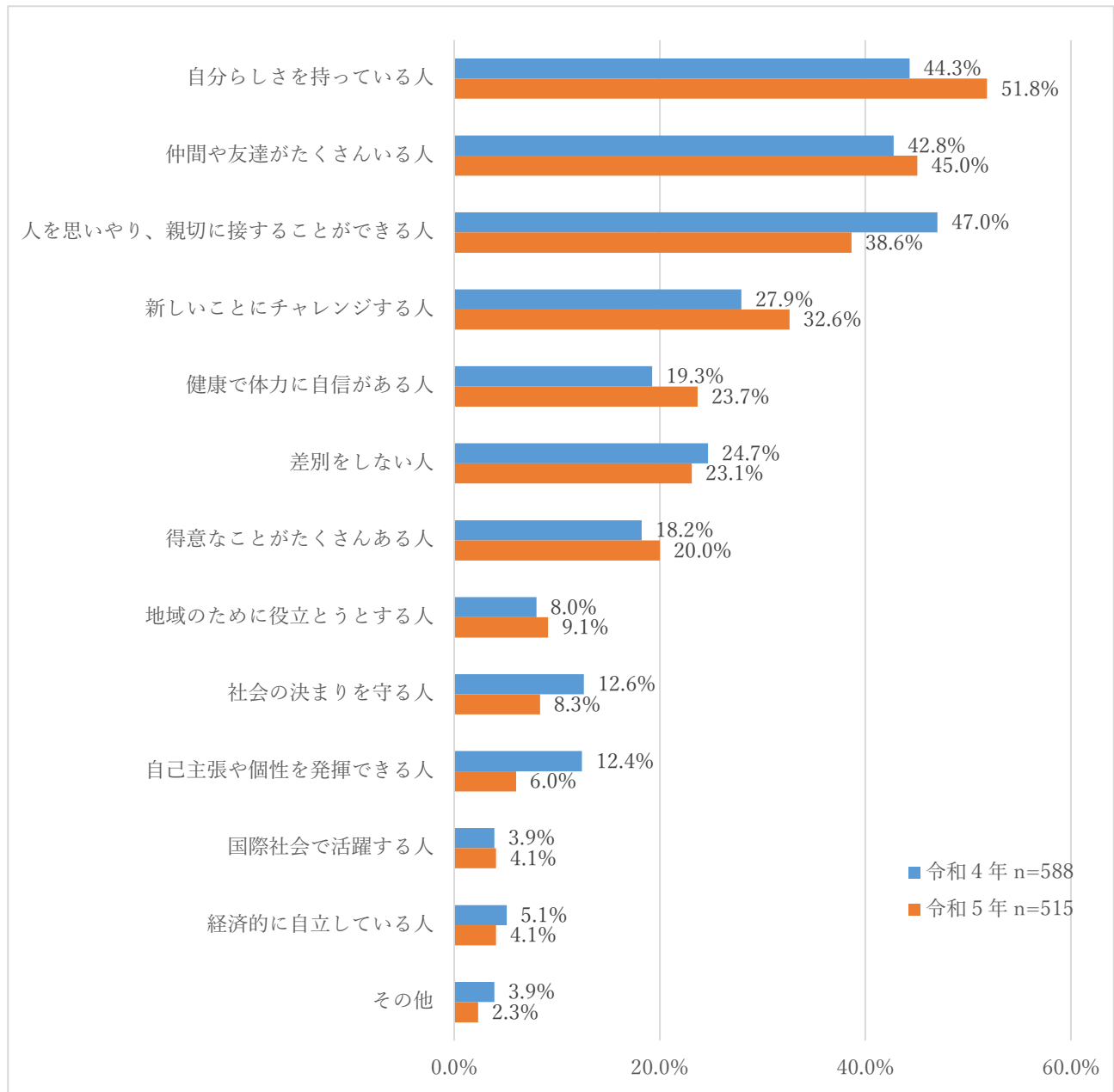
中学校2年生では、「自分らしさを持っている人」が 53.8%、「人を思いやり、親切に接することができる人」が 47.9%とこれらが上位2つで、次いで「仲間や友達がたくさんいる人」が 45.1%、「得意なことがたくさんある人」が 21.0%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉

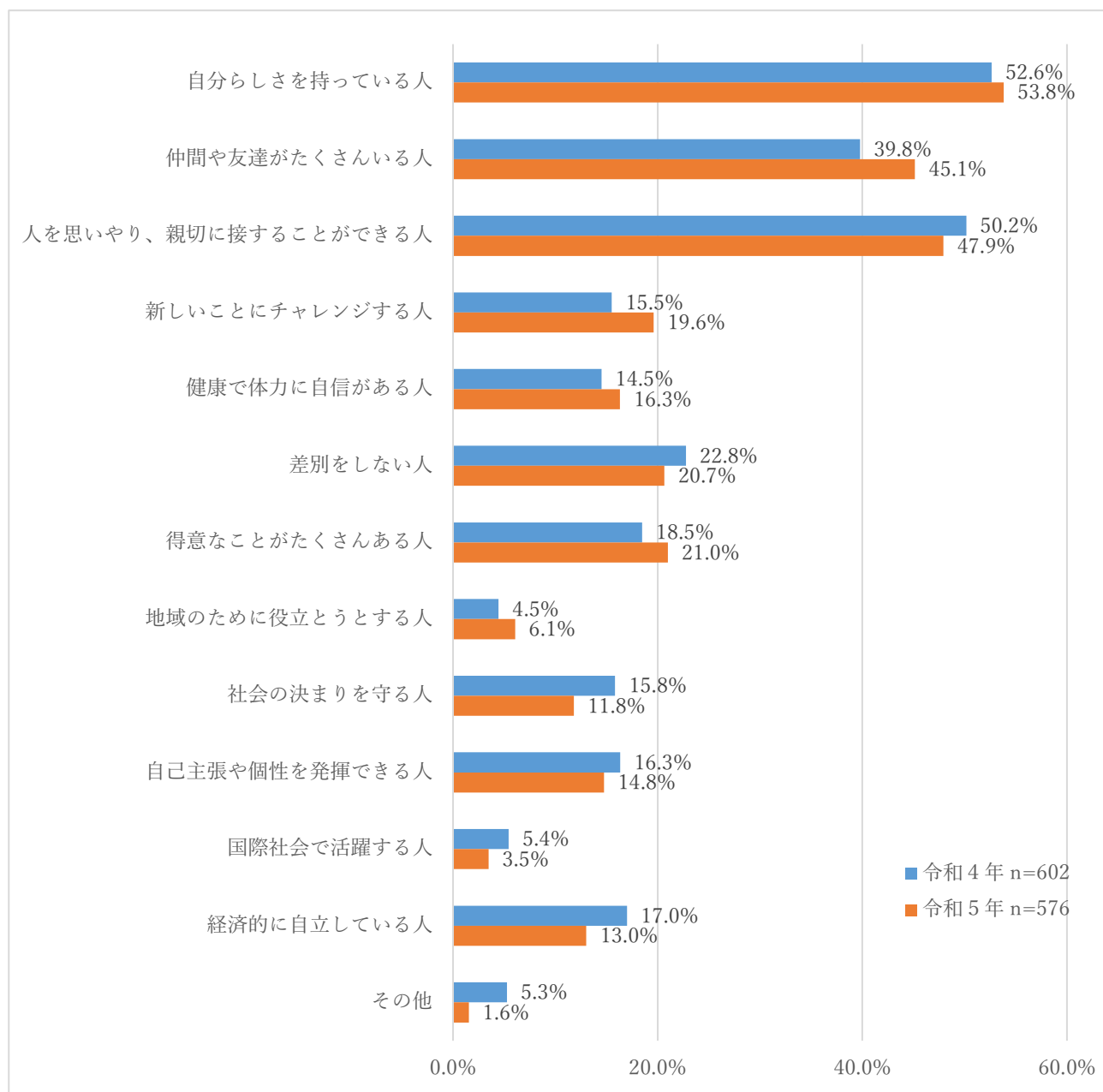


小学校5年生の経年比較では、「自分らしさを持っている人」の回答率が上昇(令和4年 44.3%→令和5年 51.8%)している一方、「人を思いやり、親切に接することができる人」が低下(令和4年 47.0%→令和5年 38.6%)しています。また、中学校2年生では、「仲間や友達がたくさんいる人」の回答率が上昇(令和4年 39.8%→令和5年 45.1%)しています。

〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

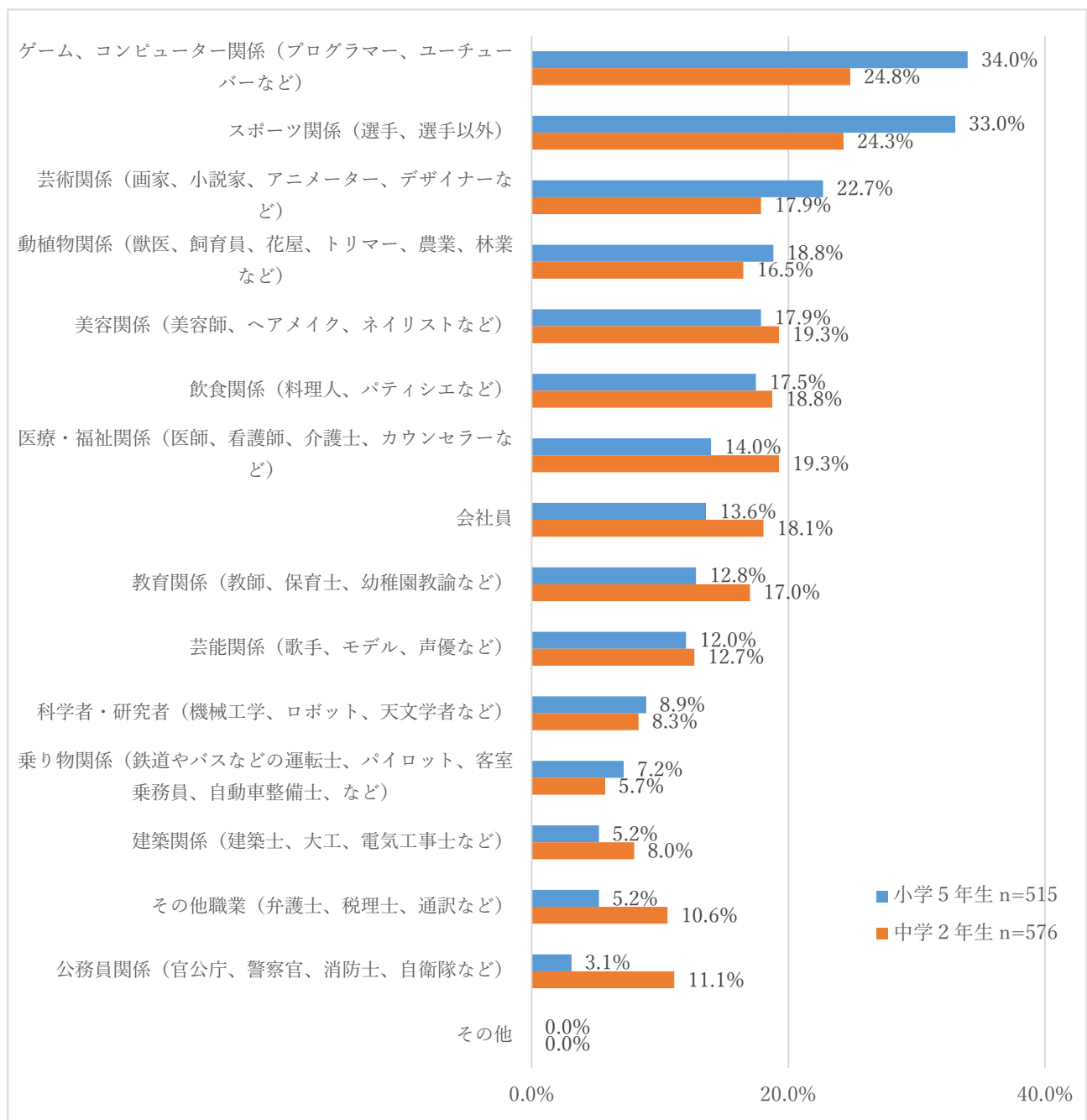


問19 あなたは、どのような仕事に興味を持っていますか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「ゲーム、コンピューター関係(プログラマー、ユーチューバーなど)」が34.0%と最も高く、次いで「スポーツ関係(選手、選手以外)」が33.0%、「芸術関係(画家、小説家、アニメーター、デザイナーなど)」が22.7%、「動植物関係(獣医、飼育員、花屋、トリマー、農業、林業など)」が18.8%と続いています。

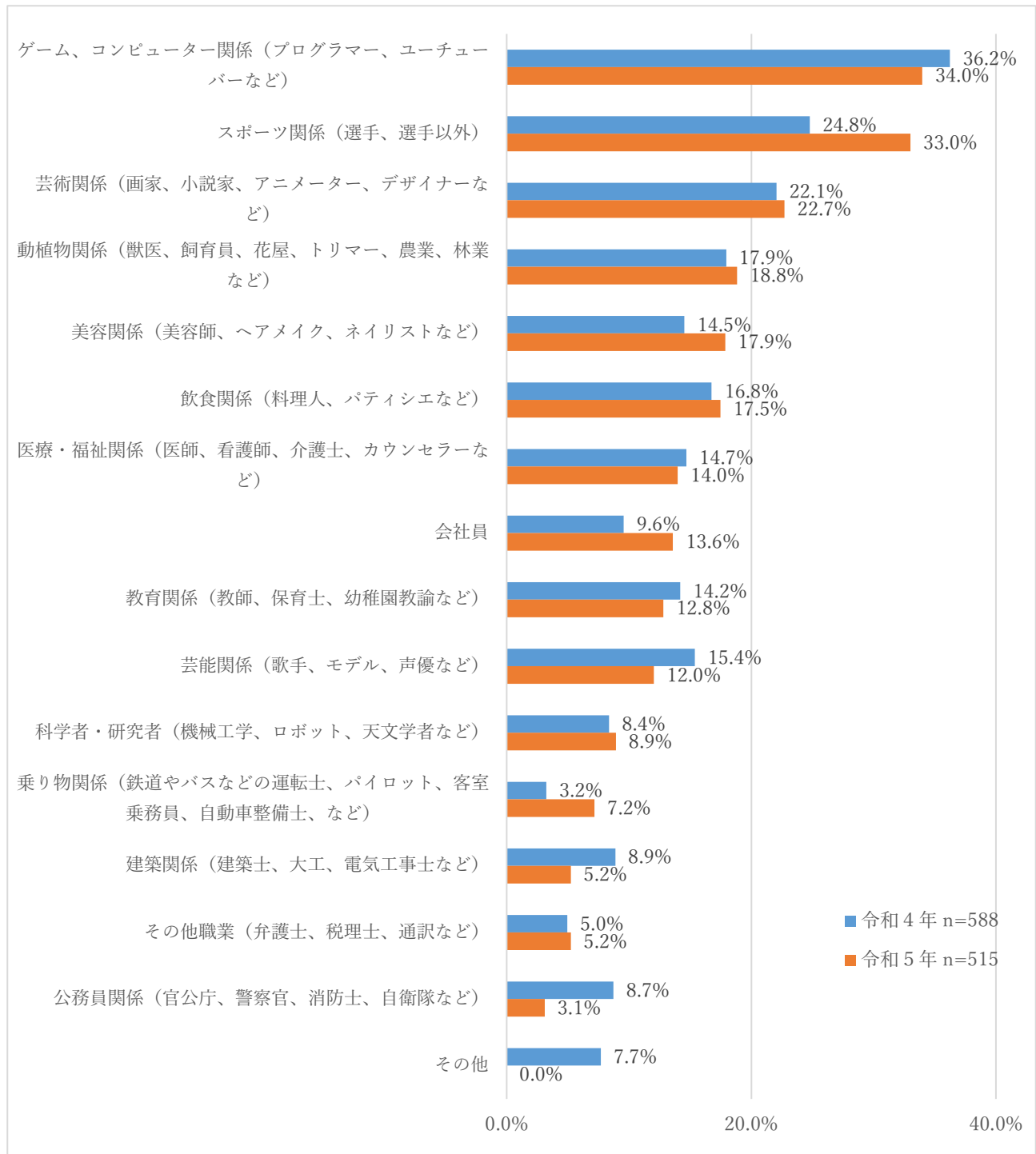
中学校2年生では、「ゲーム、コンピューター関係(プログラマー、ユーチューバーなど)」が24.8%と最も高く、次いで「スポーツ関係(選手、選手以外)」が24.3%、「医療・福祉関係(医師、看護師、介護士、カウンセラーなど)」と「美容関係(美容師、ヘアメイク、ネイリストなど)」がともに19.3%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉

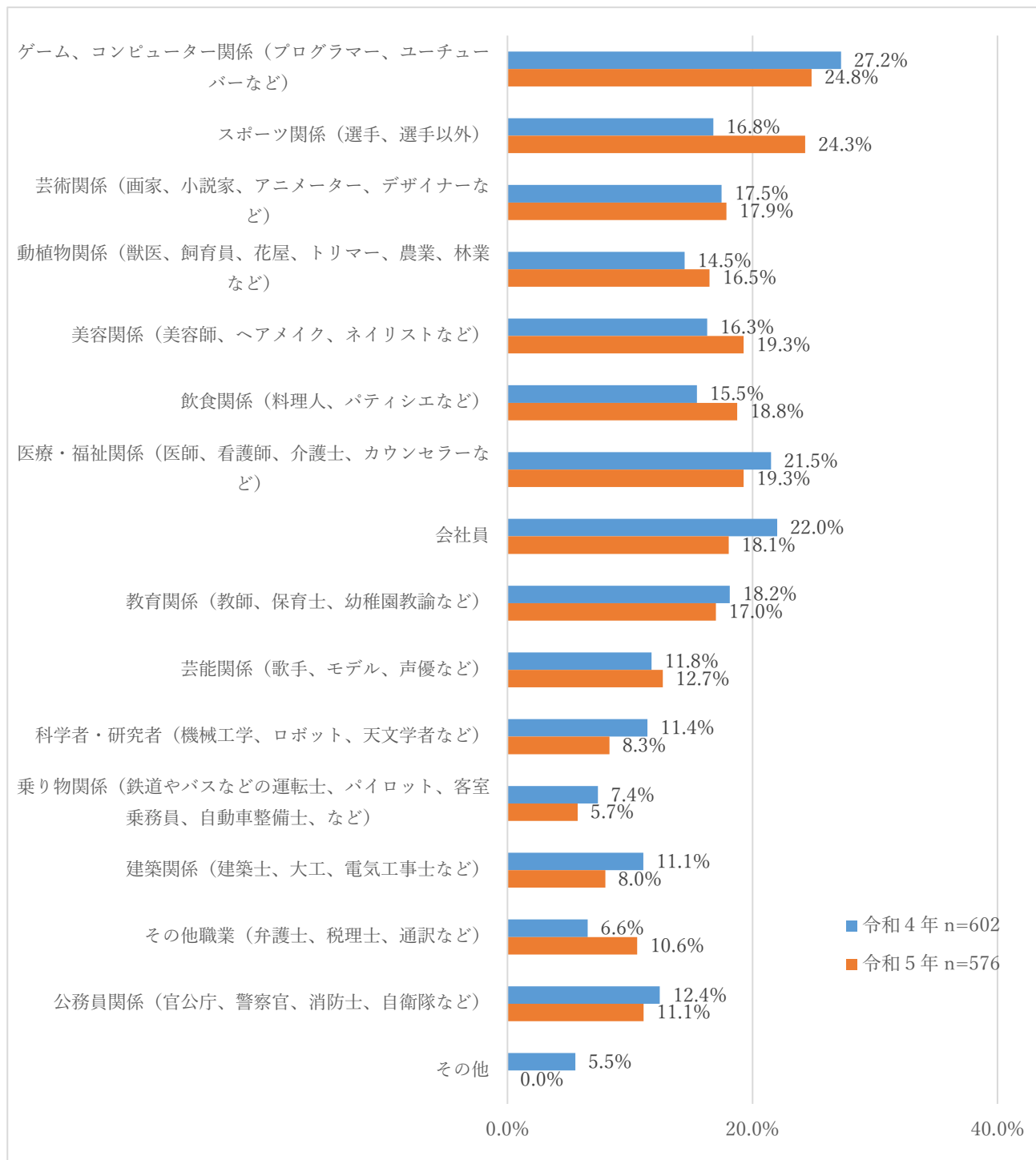


小学校5年生、中学校2年生の経年比較のいずれでも、「スポーツ関係(選手、選手以外)」の回答率が上昇(小学校5年生 令和4年 24.8%→令和5年 33.0%、中学校2年生 令和4年 16.8%→令和5年 24.3%)しています。

〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



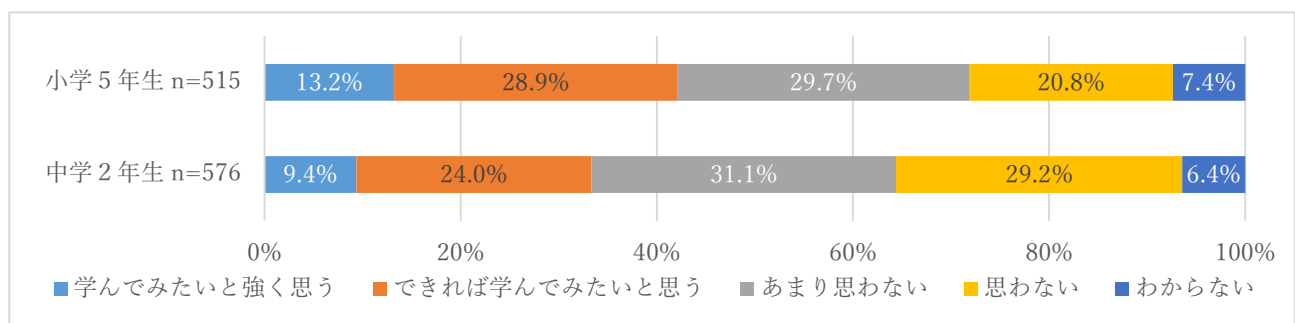
問20 あなたは、将来、外国で学んでみたいと思いますか？(どれかひとつに○)

小学校5年生では、「あまり思わない」が 29.7%と最も高く、次いで「できれば学んでみたいと思う」が 28.9%、「思わない」が 20.8%、「学んでみたいと強く思う」が 13.2%と続いています。

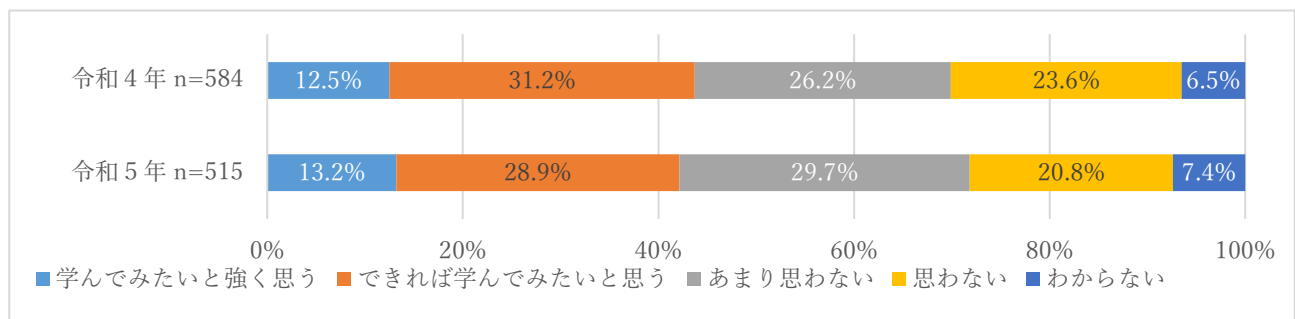
中学校2年生では、「あまり思わない」が 31.1%と最も高く、次いで「思わない」が 29.2%、「できれば学んでみたいと思う」が 24.0%、「学んでみたいと強く思う」が 9.4%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「学んでみたいと強く思う」と「できれば学んでみたいと思う」を合わせた回答率が低下(令和4年 40.3%→令和5年 33.4%)しています。

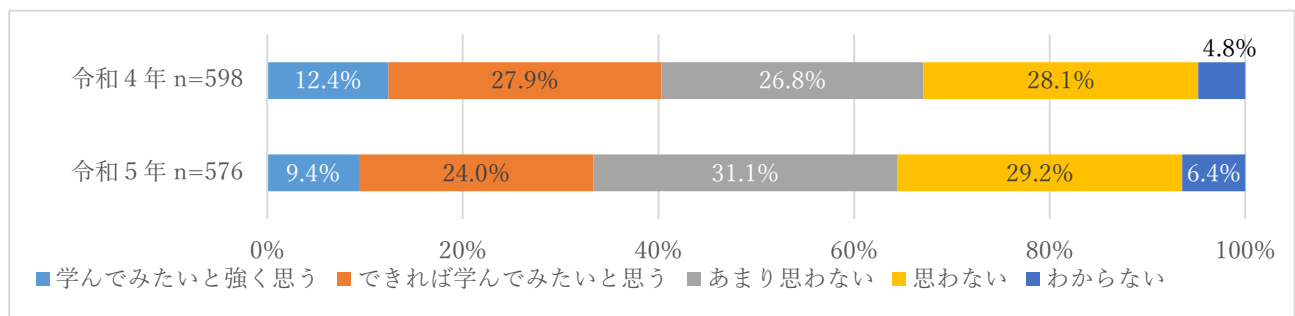
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



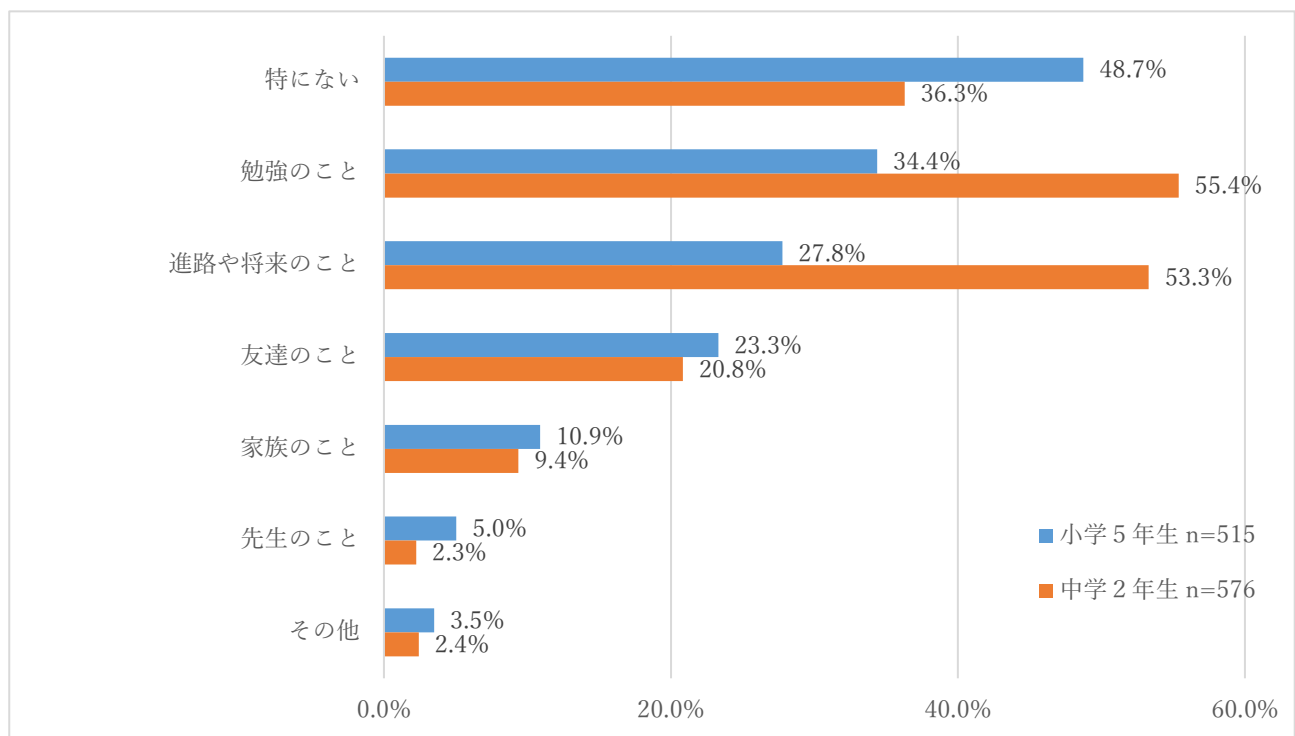
問21 あなたは、悩んでいることや、不安に思っていることがありますか？あるならそれはどんなことですか？(3つまでに○)

小学校5年生では、「特にない」が 48.7%と最も高く、次いで「勉強のこと」が 34.4%、「進路や将来のこと」が 27.8%、「友達のこと」が 23.3%と続いています。

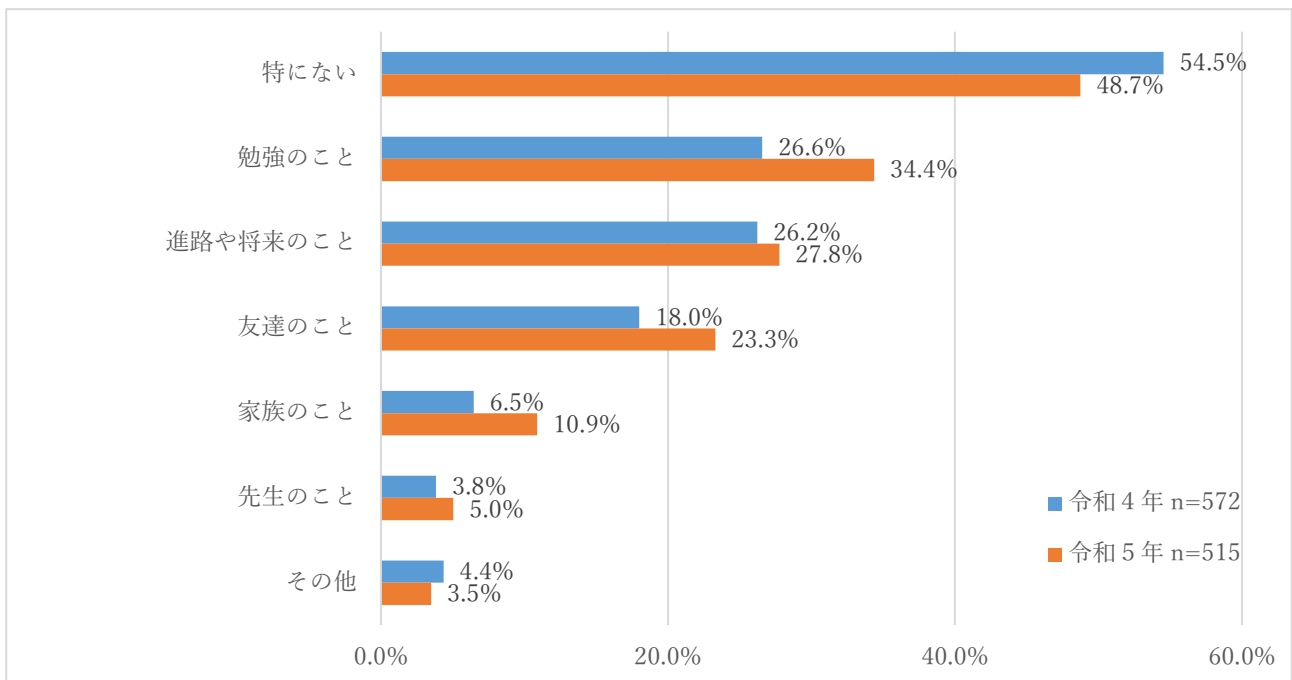
中学校2年生では、「勉強のこと」が 55.4%、「進路や将来のこと」が 53.3%とこれらが上位2つで、次いで「特にない」が 36.3%、「友達のこと」が 20.8%と続いています。

小学校5年生の経年比較では、「勉強のこと」が上昇(令和4年 26.6%→令和5年 34.4%)しており、中学校2年生では、「勉強のこと」(令和4年 51.0%→令和5年 55.4%)のほか、「友達のこと」(令和4年 13.0%→令和5年 20.8%)が上昇しています。

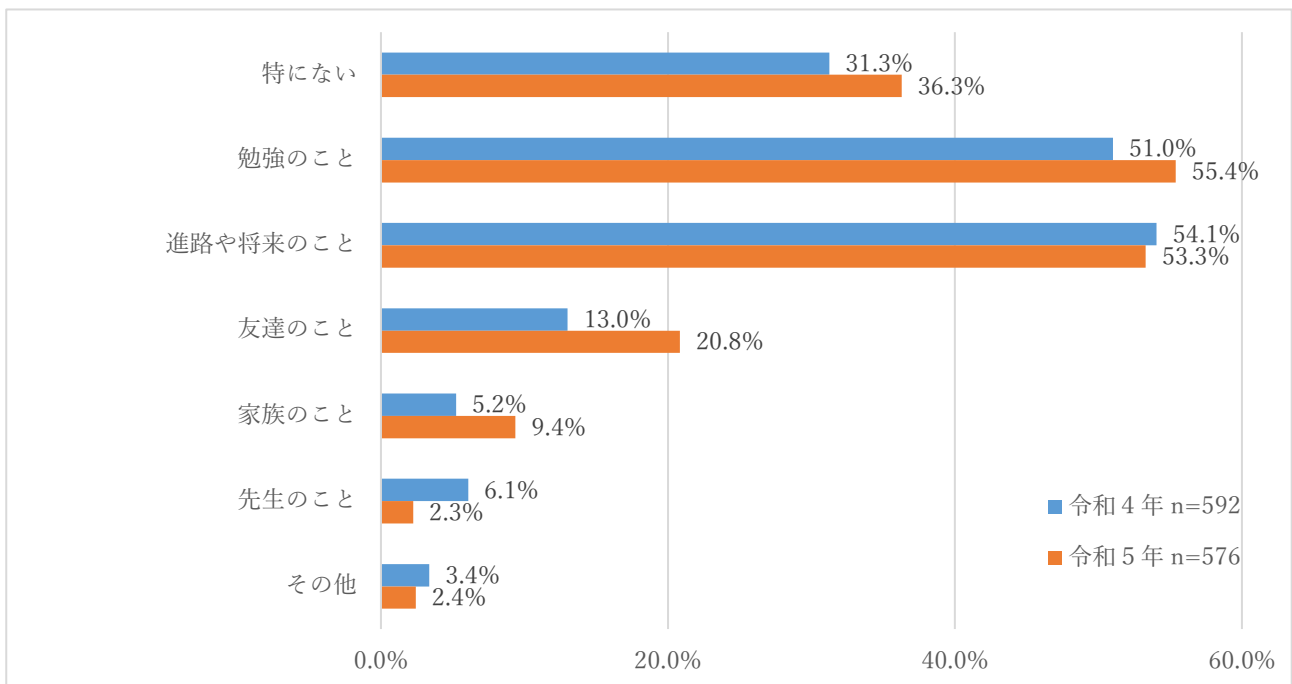
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉

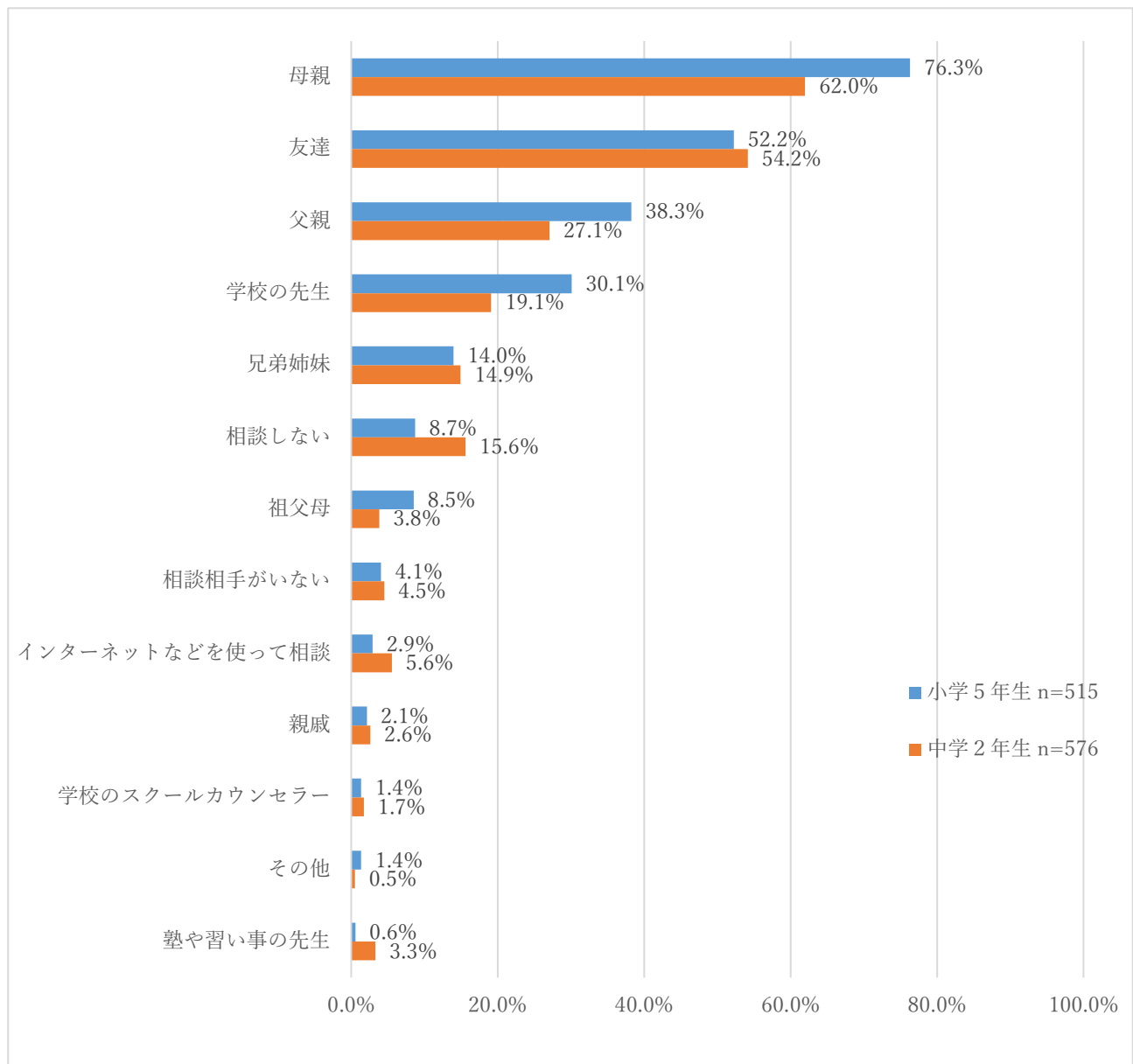


問22 あなたが、困っていることや悩みなどを相談する相手はどなたですか？(3つまでに○)

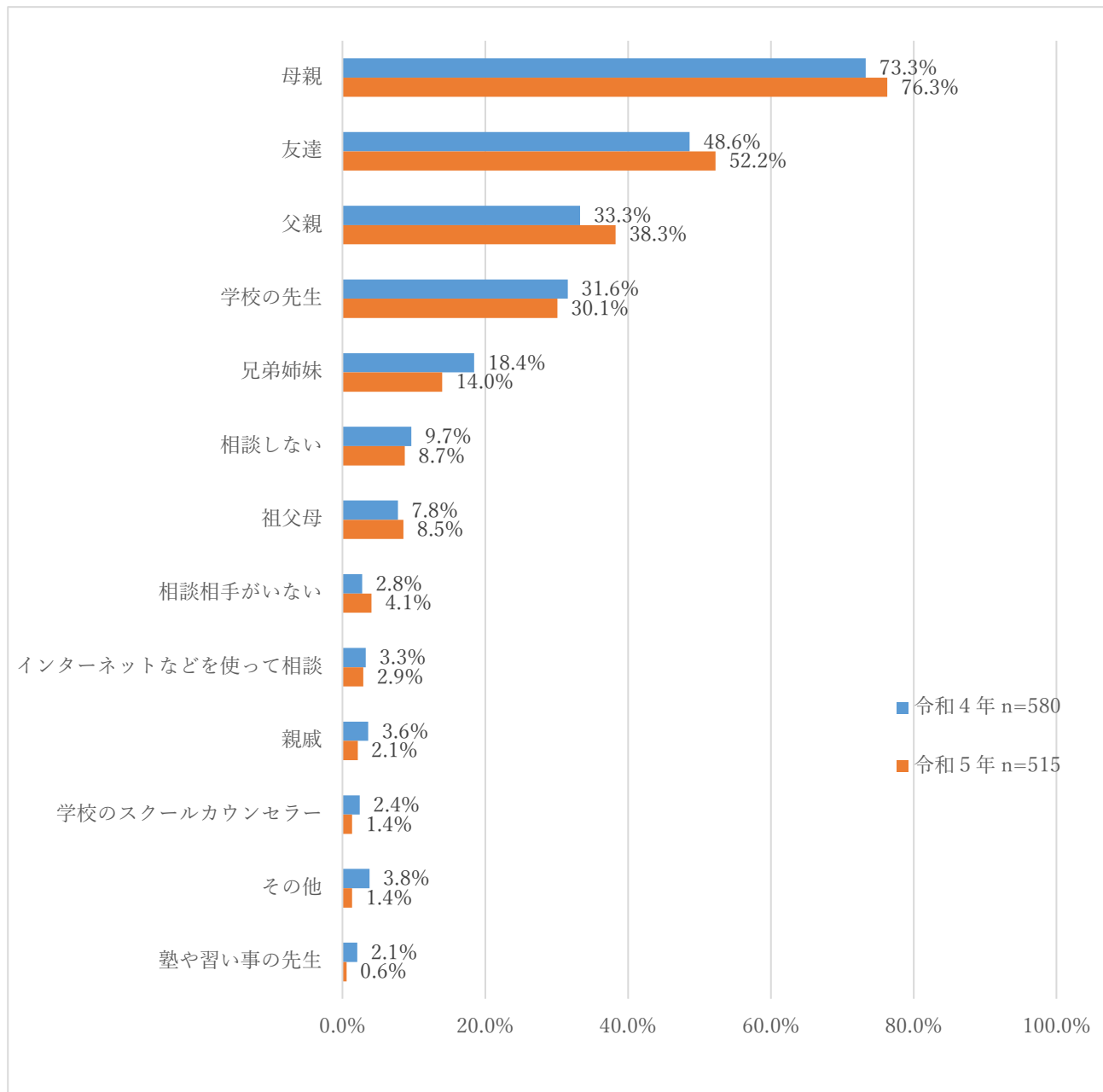
小学校5年生と中学校2年生では、「母親」が 76.3%と 62.0%と最も高く、次いで「友達」が 52.2%と 54.2%、「父親」が 38.3%と 27.1%、「学校の先生」が 30.1%と 19.1%と続いています。

中学校2年生の経年比較では、「友達」の回答率が低下(令和4年 59.2%→令和5年 54.2%)しています。

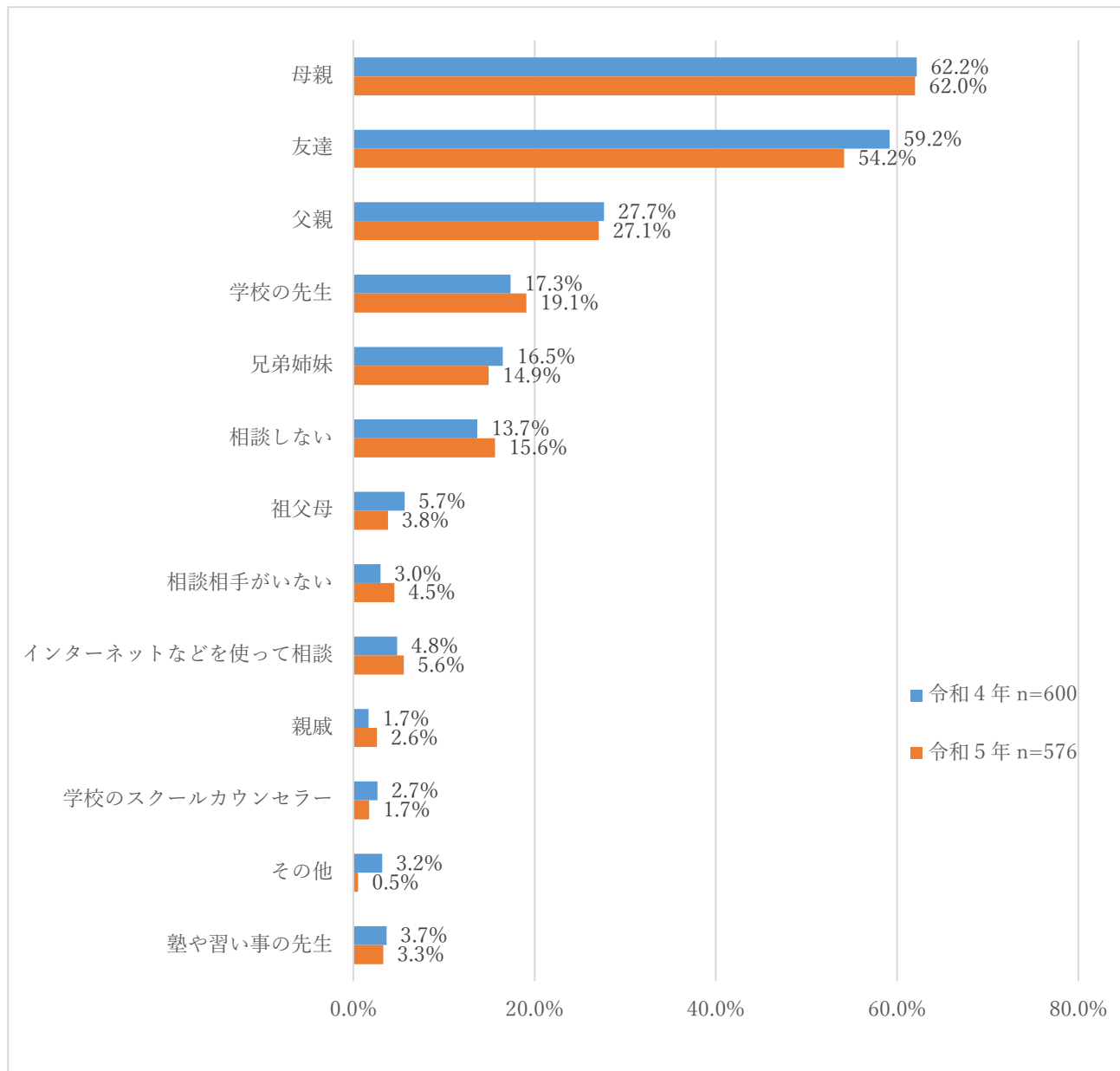
〈小学校5年生・中学校2年生（令和5年）〉



〈小学校5年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



〈中学校2年生 経年比較(令和4年→令和5年)〉



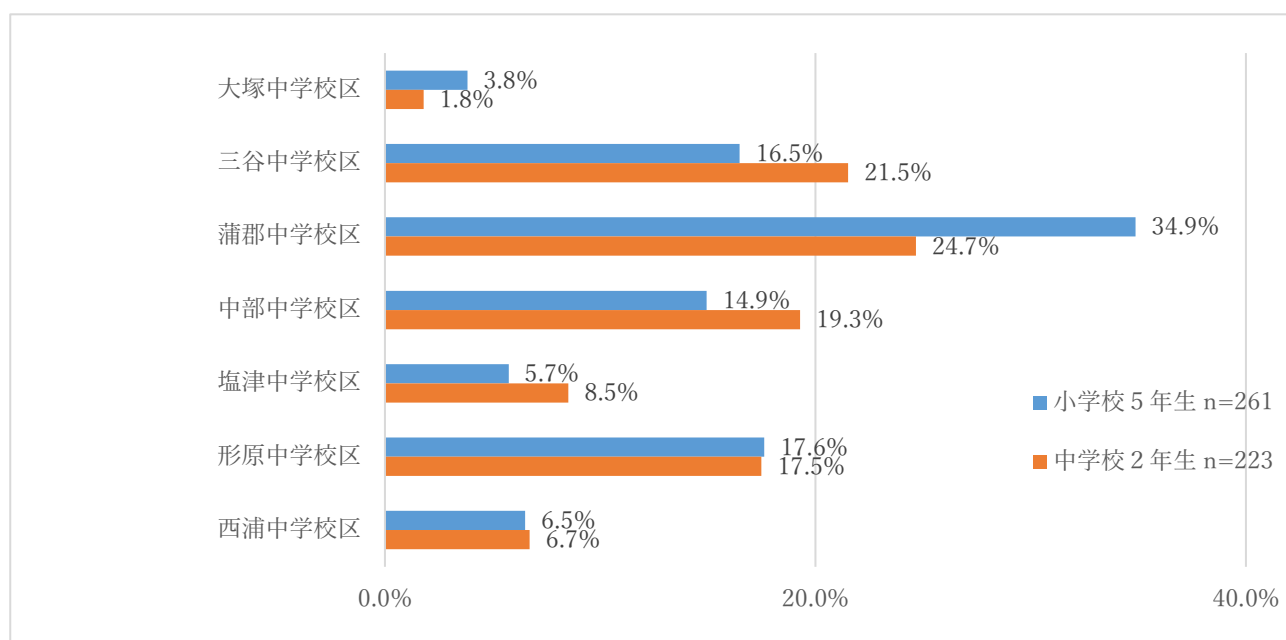
(2) 保護者調査

問1 あなたがお住まいの地域(中学校区)を教えてください(どれかひとつを選択)

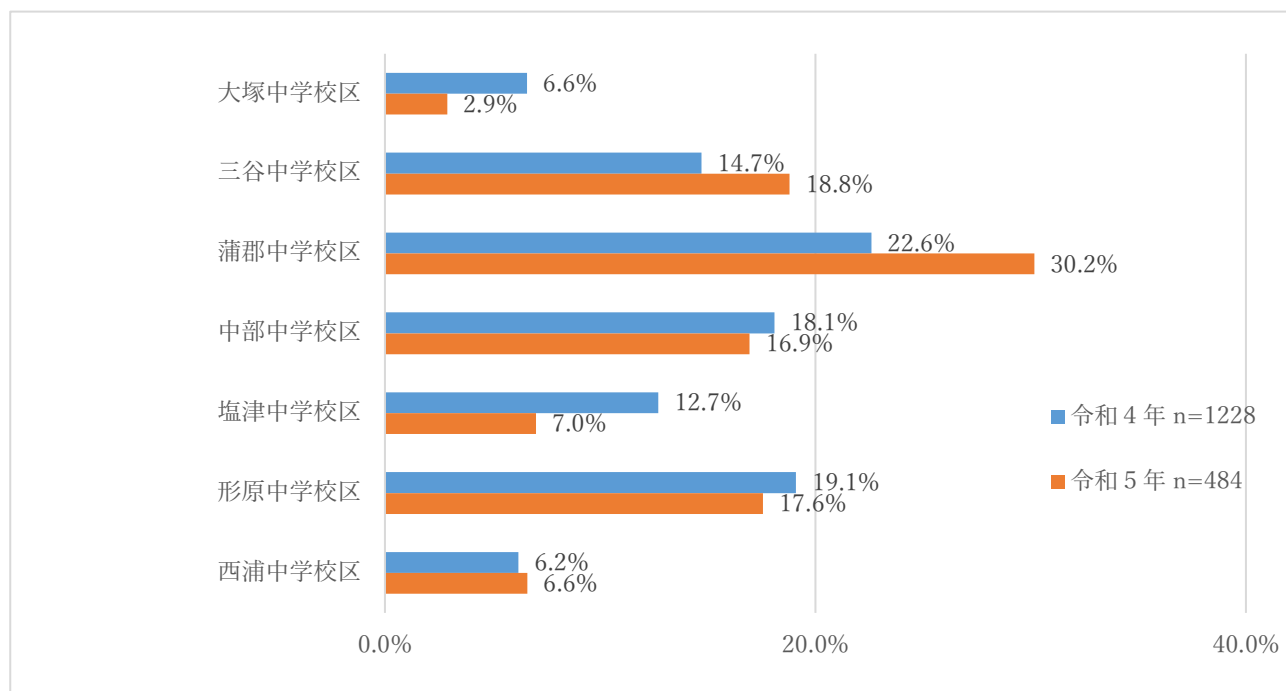
小学校5年生の保護者では、「蒲郡中学校区」が 34.9%、「形原中学校区」が 17.6%、「三谷中学校区」が 16.5%、「中部中学校区」が 14.9%と続いています。

中学校2年生の保護者では、「蒲郡中学校区」が 24.7%、「三谷中学校区」が 21.5%、「中部中学校区」が 19.3%、「形原中学校区」が 17.5%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



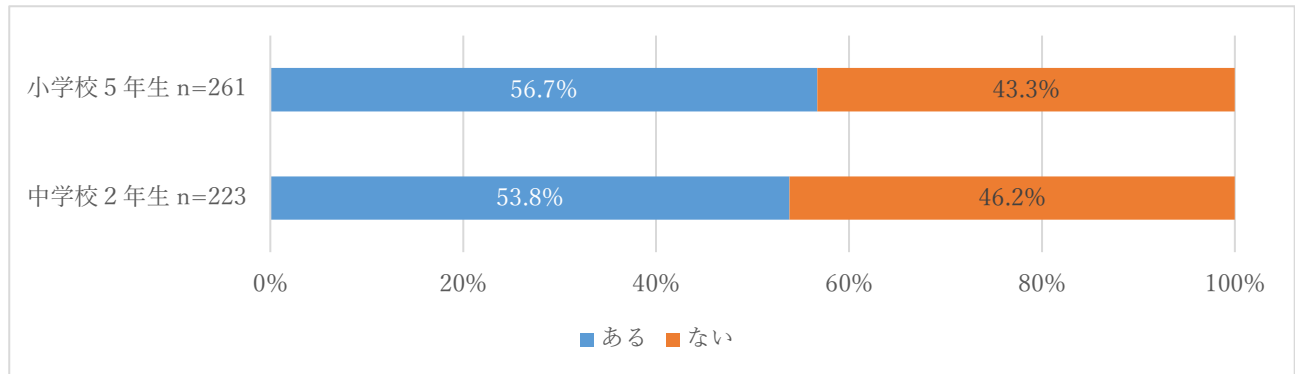
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



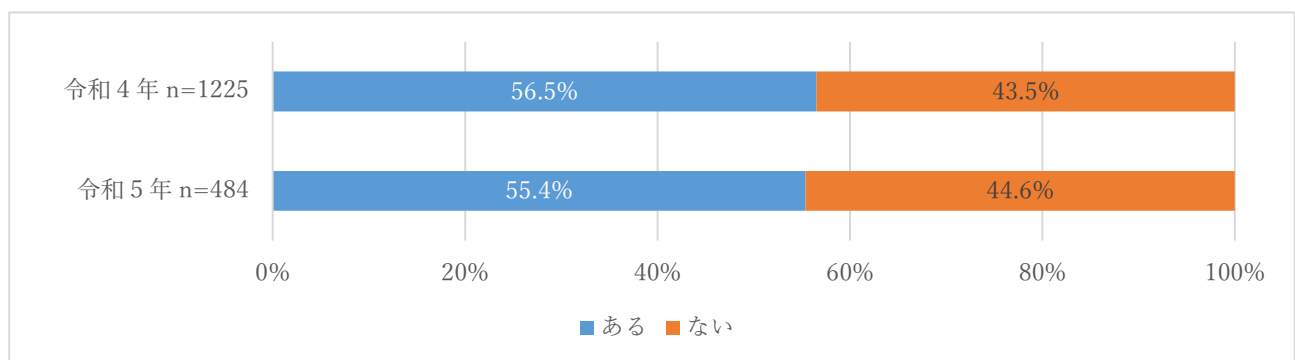
問2 あなたは蒲郡市内の小中学校に在籍していたことがありますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「ある」が 56.7%と 53.8%、「ない」が 43.3%と 46.2%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



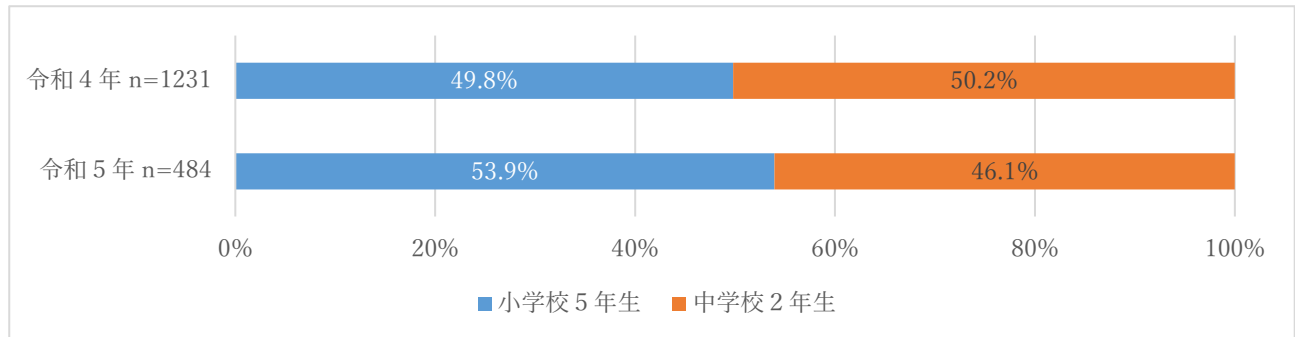
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



問3 このアンケートを持ち帰ったお子さんは何年生ですか？(どれかひとつを選択)

保護者全体では、「小学校5年生」が 53.9%、「中学校2年生」が 46.1%と続いています。

〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

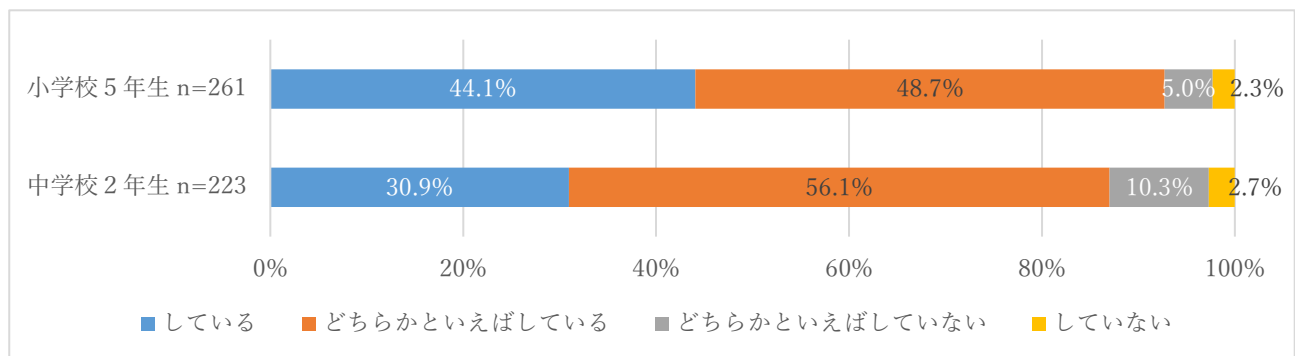


問4 お子さんは、決まった時刻に寝起きしていますか？(どれかひとつを選択)

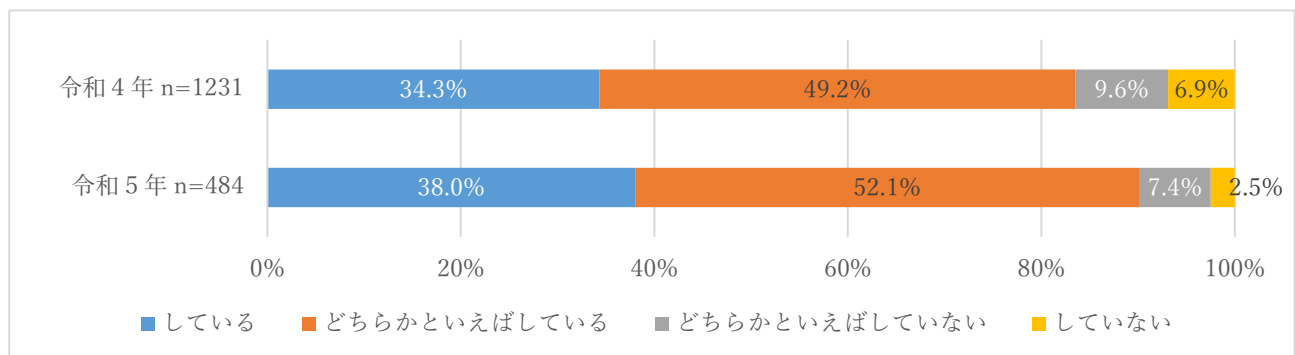
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえばしている」が48.7%と56.1%と最も高く、次いで「している」が44.1%と30.9%、「どちらかといえばしていない」が5.0%と10.3%、「していない」が2.3%と2.7%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた回答率が上昇(令和4年 83.5%→令和5年 90.1%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

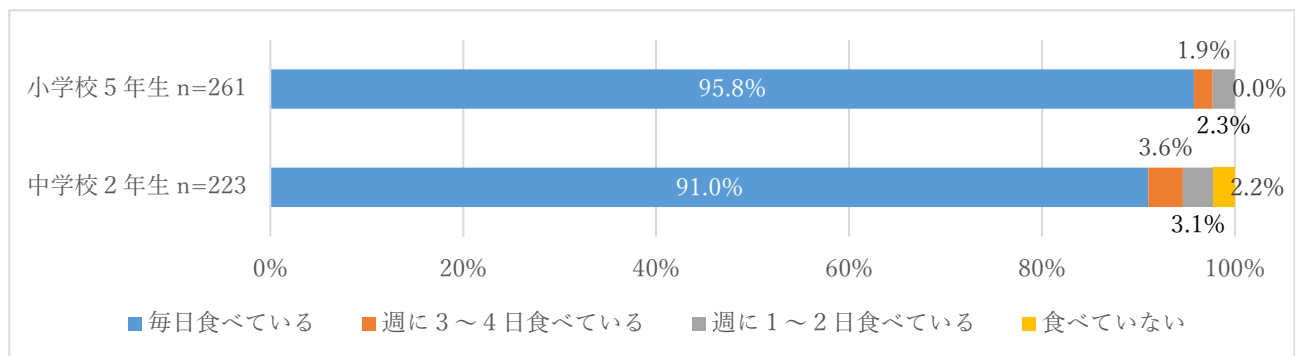


問5 お子さんは、普段(学校のある日)朝食を食べていますか？(どれかひとつを選択)

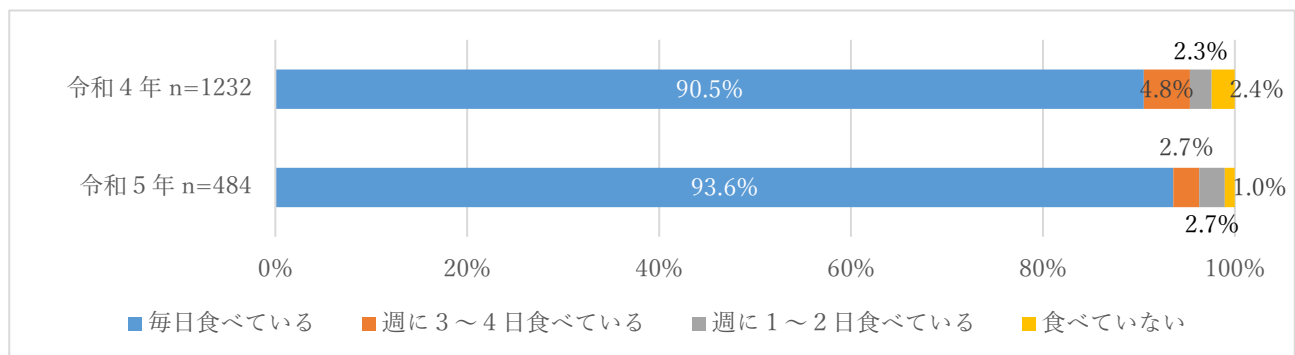
小学校5年生の保護者では、「毎日食べている」が 95.8%と最も高く、次いで「週に1～2日食べている」が 2.3%、「週に3～4日食べている」が 1.9%、「食べていない」が 0%と続いています。

中学校2年生の保護者では、「毎日食べている」が91.0%と最も高く、次いで「週に3～4日食べている」が 3.6%、「週に1～2日食べている」が 3.1%、「食べていない」が 2.2%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



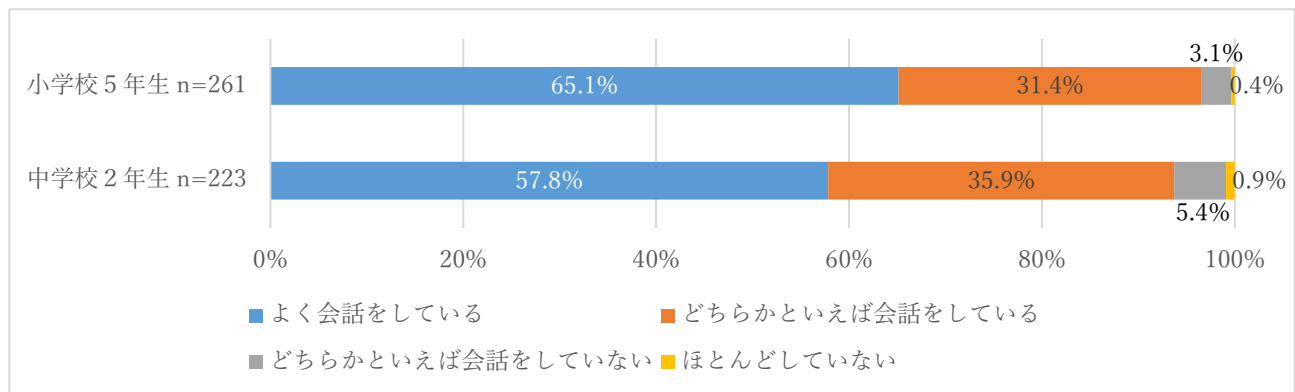
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



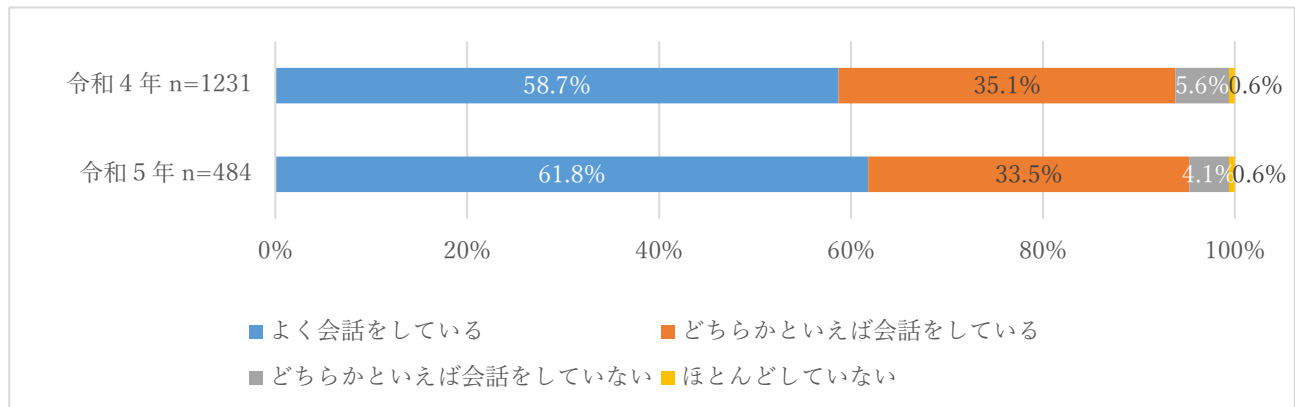
問6 日頃、お子さんとどのくらい会話をしますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「よく会話をしている」が 65.1%と 57.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば会話をしている」が 31.4%と 35.9%、「どちらかといえば会話をしていない」が 3.1%と 5.4%、「ほとんどしてしていない」が 0.4%と 0.9%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

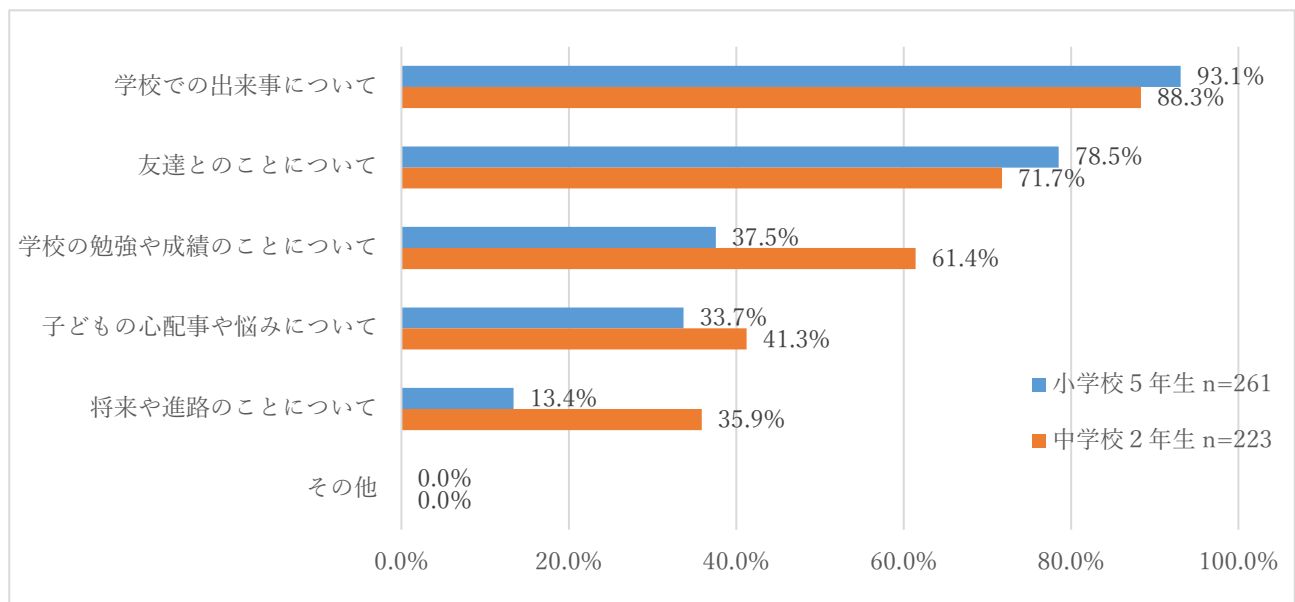


問7 お子さんとの会話はどのような内容が多いですか？(あてはまるもの全てを選択)

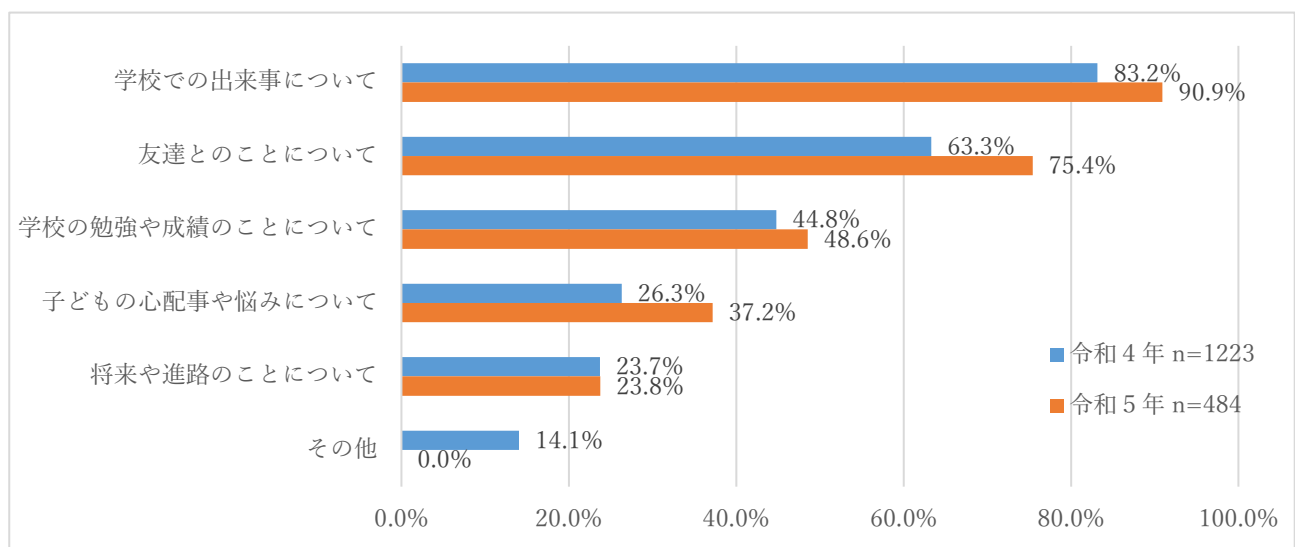
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「学校での出来事について」が93.1%と88.3%と最も高く、次いで「友達とのことについて」が78.5%と71.7%、「学校の勉強や成績のことについて」が37.5%と61.4%、「子どもの心配事や悩みについて」が33.7%と41.3%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「学校での出来事について」の回答率が上昇(令和4年83.2%→令和5年90.9%)したほか、多くの項目で回答率が上昇しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



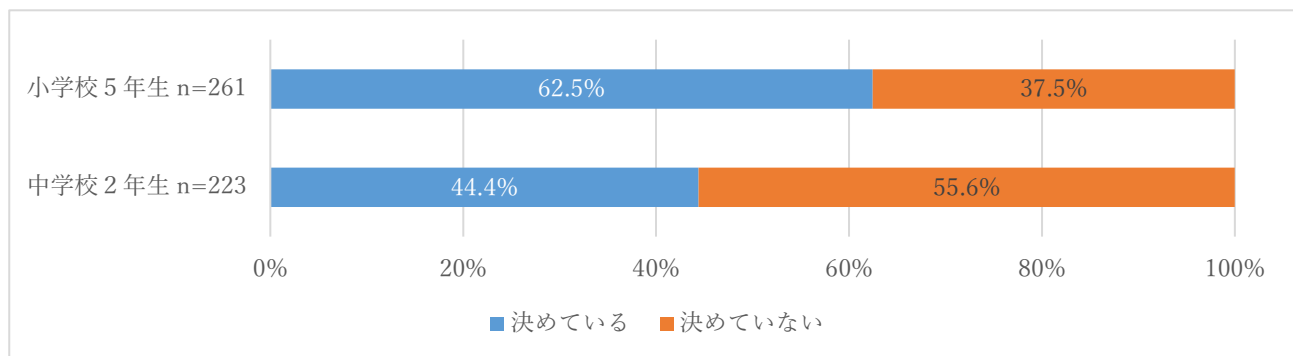
問8 テレビやゲームの時間を、ご家庭で決めていますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者では、「決めている」が 62.5%、「決めていない」が 37.5%と続いています。

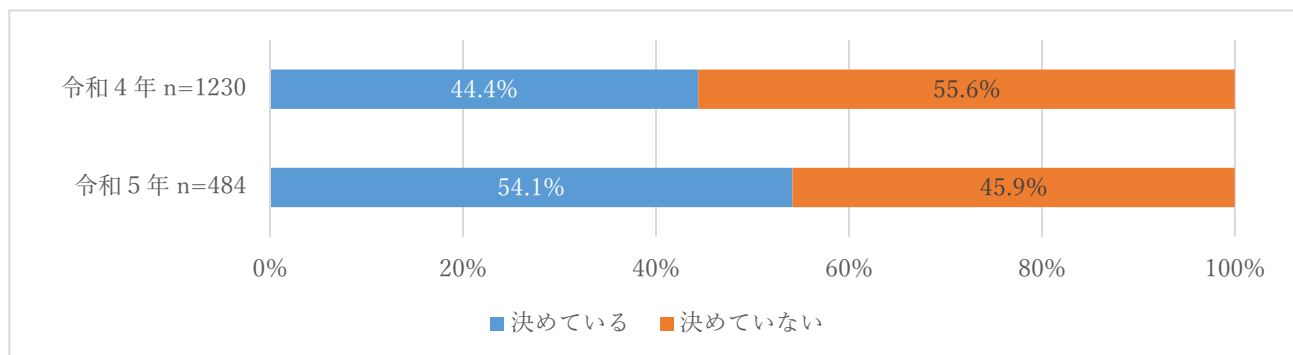
中学校2年生の保護者では、「決めていない」が 55.6%、「決めている」が 44.4%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「決めている」という回答率が上昇(令和4年 44.4%→令和5年 54.1%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

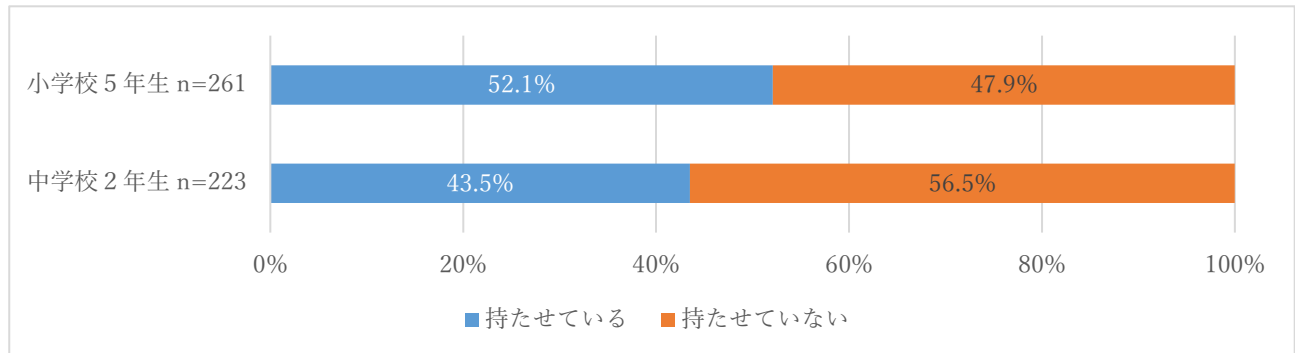


問9 お子さんにお手伝いや家事分担など、ご家庭での役割を持たせていますか(どれかひとつを選択)

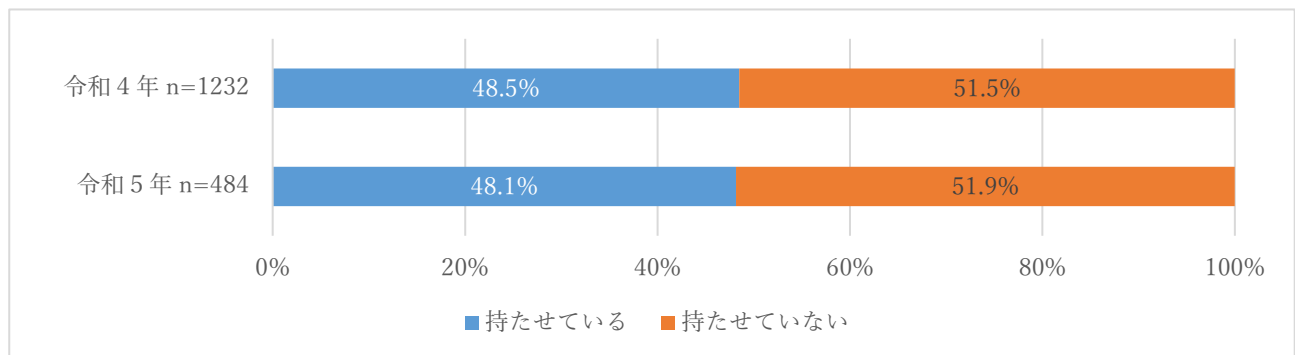
小学校5年生の保護者では、「持たせている」が52.1%、「持たせていない」が47.9%と続いています。

中学校2年生の保護者では、「持たせていない」が56.5%、「持たせている」が43.5%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



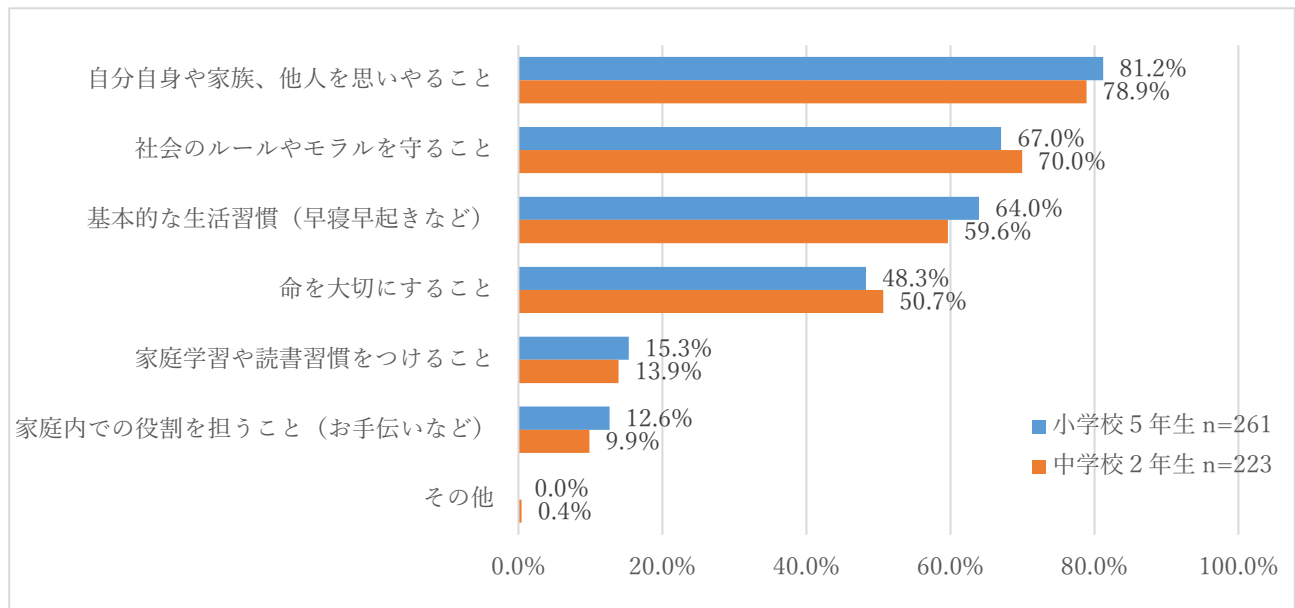
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



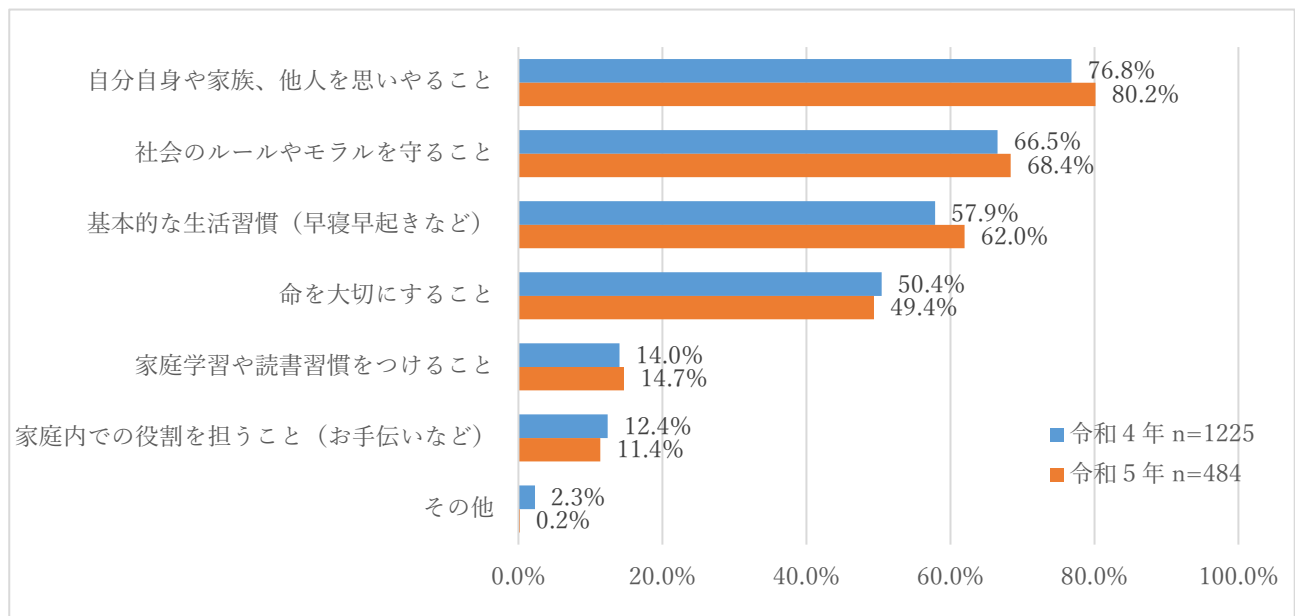
問10 ご家庭における教育で大切なことは何だと思いますか？（選択は3つまで）

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「自分自身や家族、他人を思いやること」が 81.2%と 78.9%と最も高く、次いで「社会のルールやモラルを守ること」が 67.0%と 70.0%、「基本的な生活習慣（早寝早起きなど）」が 64.0%と 59.6%、「命を大切にすること」が 48.3%と 50.7%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



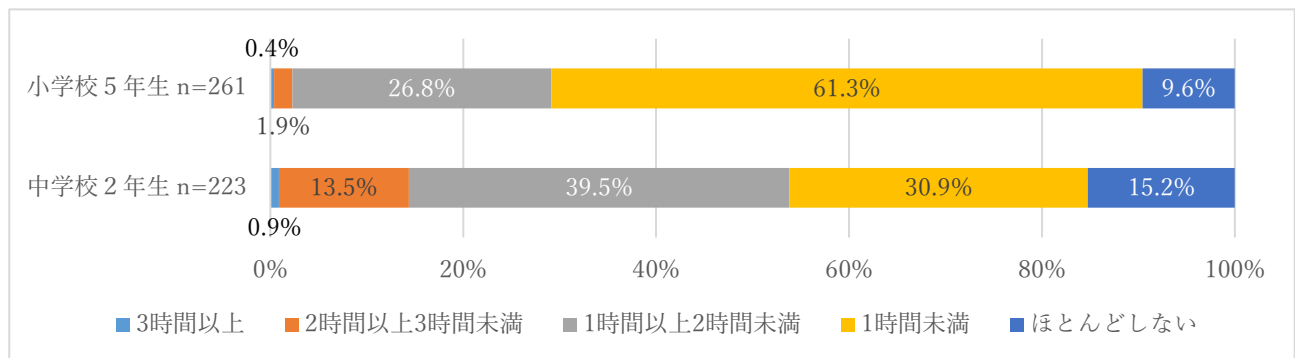
問11 お子さんは、普段(学校のある日)、家や塾で1日にどのくらい勉強しますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者では、「1 時間未満」が 61.3%と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が 26.8%、「ほとんどしない」が 9.6%、「2 時間以上 3 時間未満」が 1.9%と続いています。

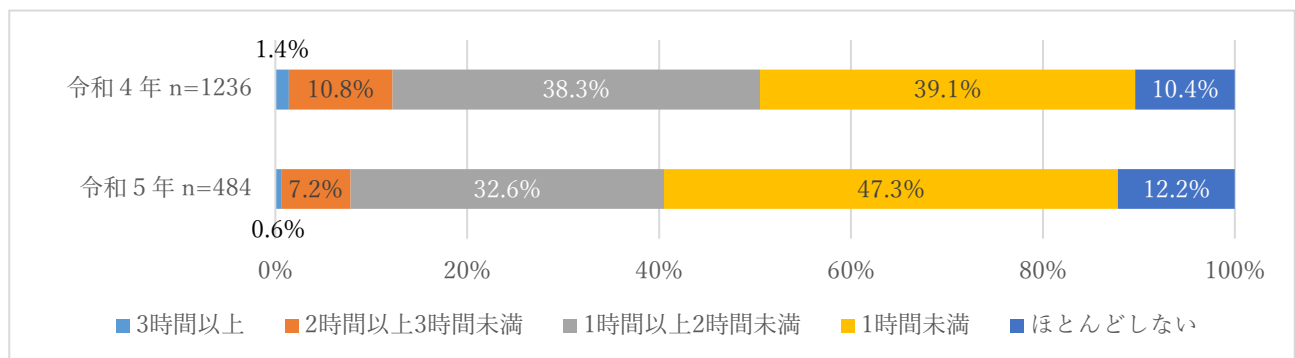
中学校2年生の保護者では、「1 時間以上 2 時間未満」が 39.5%と最も高く、次いで「1 時間未満」が 30.9%、「ほとんどしない」が 15.2%、「2 時間以上 3 時間未満」が 13.5%と続いています。

保護者全体の経年比較では、1時間以上の回答率が低下(令和4年 50.5%→令和5年 40.4%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



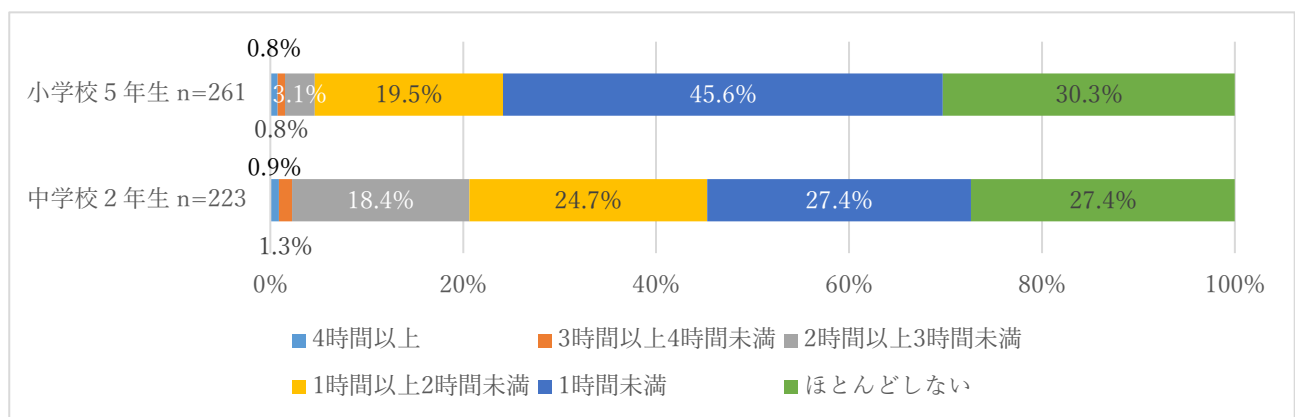
**問12 お子さんは、学校が休みの日に、家や塾で 1 日にどのくらいの時間勉強しますか？
(どれかひとつを選択)**

小学校5年生の保護者では、「1 時間未満」が 45.6%と最も高く、次いで「ほとんどしない」が 30.3%、「1 時間以上 2 時間未満」が 19.5%、「2 時間以上 3 時間未満」が 3.1%と続いています。

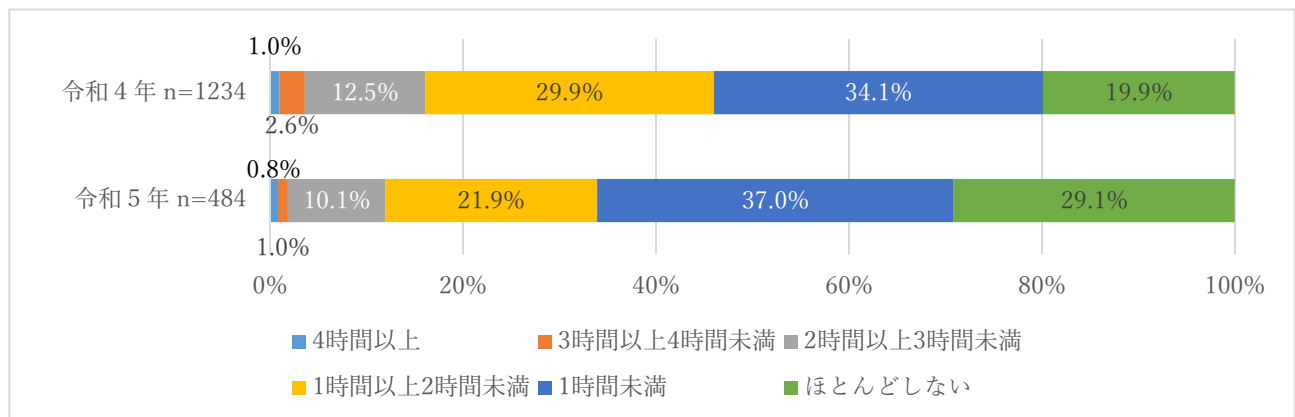
中学校2年生の保護者では、「1 時間未満」と「ほとんどしない」が 27.4%と最も高く、「1 時間以上 2 時間未満」が 24.7%、「2 時間以上 3 時間未満」が 18.4%と続いています。

保護者全体の経年比較では、1時間以上の回答率が低下(令和4年 46.0%→令和5年 33.8%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

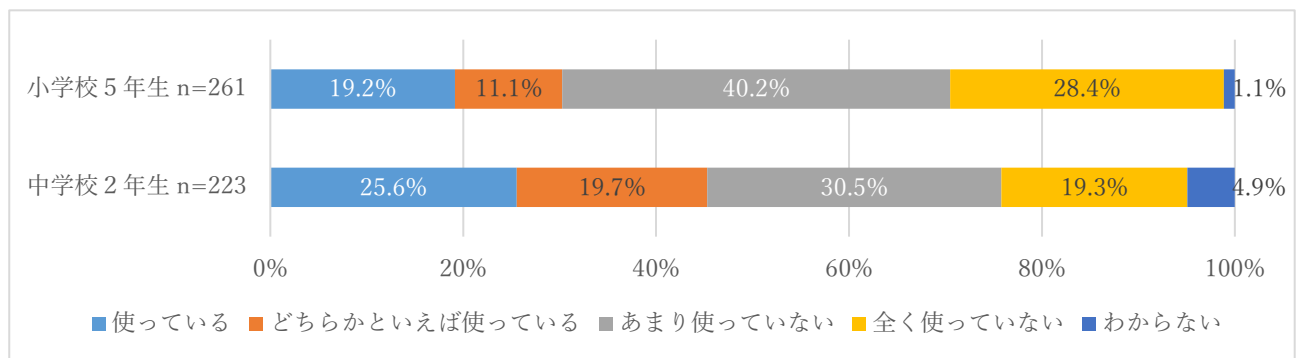


問13 お子さんは、家で、スマートフォンやパソコンなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか？(どれかひとつを選択)

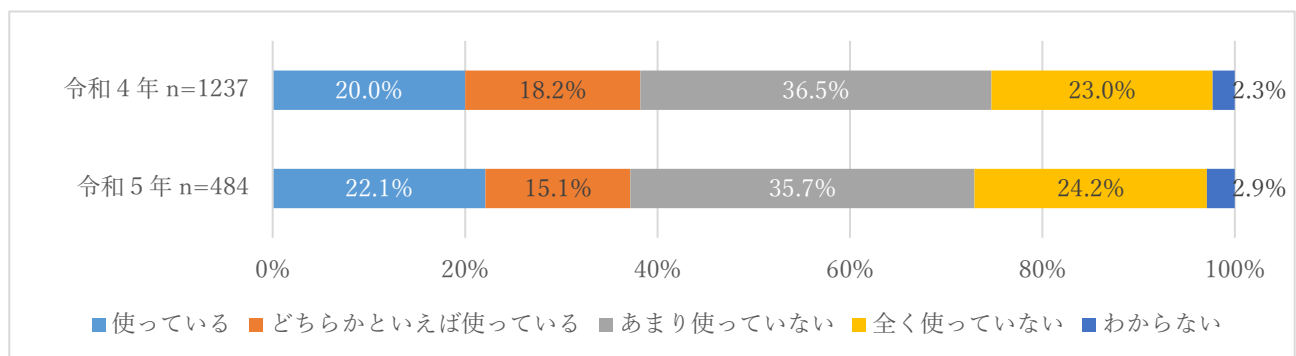
小学校5年生の保護者では、「あまり使っていない」が 40.2%と最も高く、次いで「全く使っていない」が 28.4%、「使っている」が 19.2%、「どちらかといえば使っている」が 11.1%と続いています。

中学校2年生の保護者では、「あまり使っていない」が 30.5%と最も高く、次いで「使っている」が 25.6%、「どちらかといえば使っている」が 19.7%、「全く使っていない」が 19.3%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

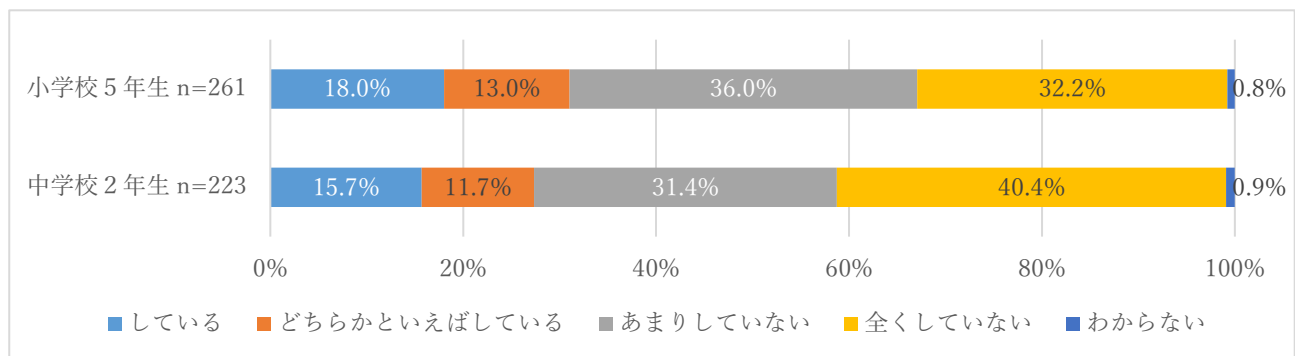


問14 お子さんは、家で、読書をしていますか？(どれかひとつを選択)

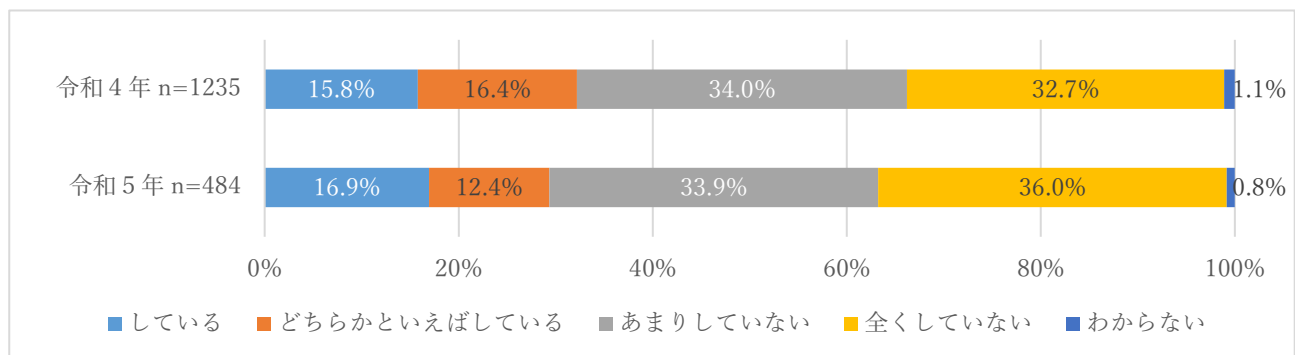
小学校5年生の保護者では、「あまりしていない」が 36.0%、「全くしていない」が 32.2%とこれらが上位2つで、次いで「している」が 18.0%、「どちらかといえばしている」が 13.0%と続いています。

中学校2年生の保護者では、「全くしていない」が 40.4%、「あまりしていない」が 31.4%とこれらが上位2つで、次いで「している」が 15.7%、「どちらかといえばしている」が 11.7%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



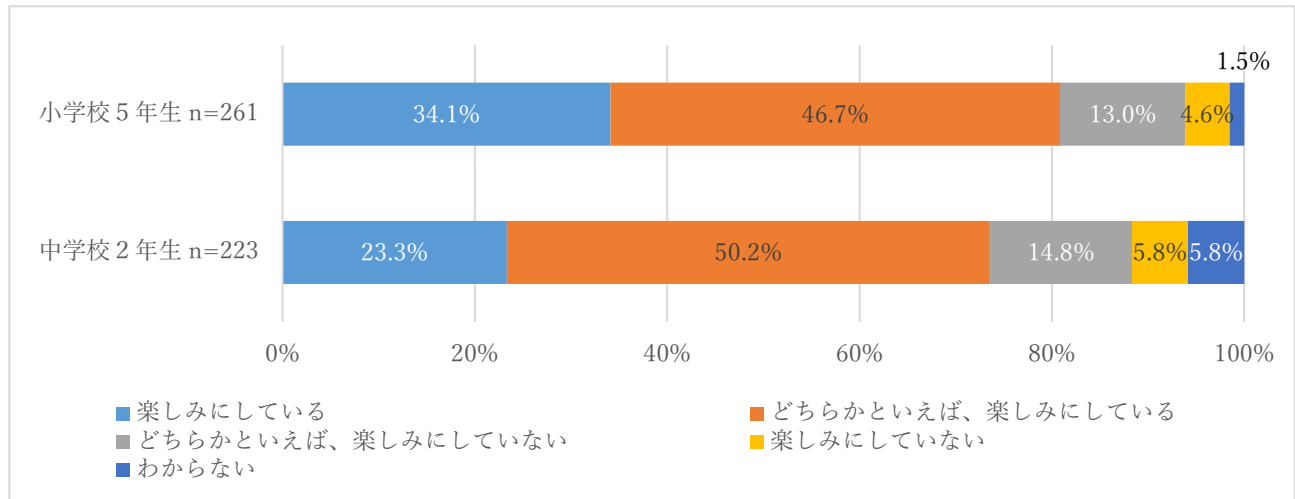
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



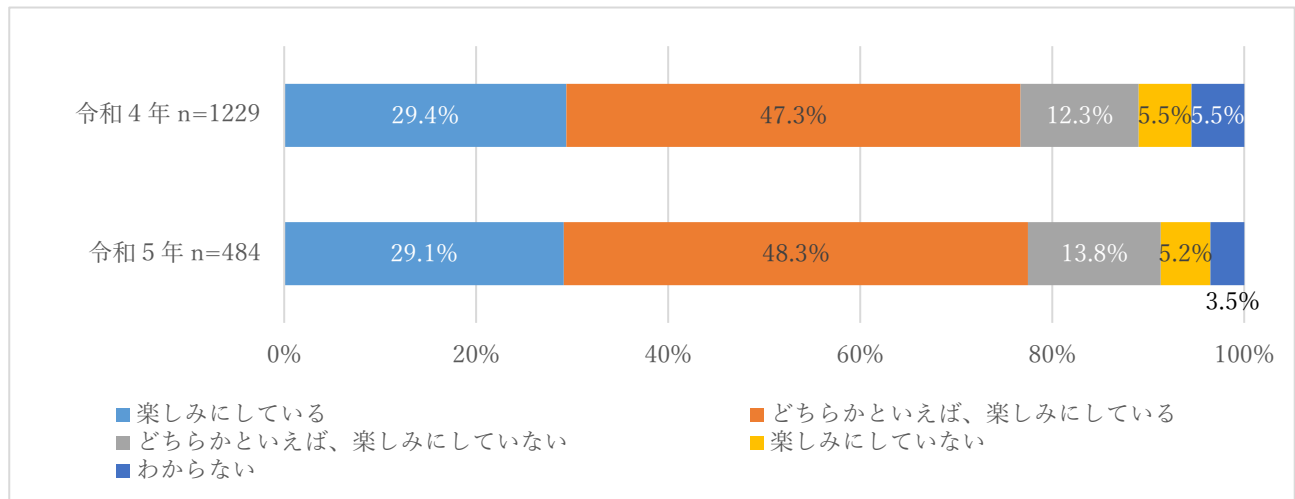
問15 お子さんは、学校に行くことを楽しみにしていますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえば、楽しみにしている」が 46.7%と 50.2%と最も高く、次いで「楽しみにしている」が 34.1%と 23.3%、「どちらかといえば、楽しみにしていない」が 13.0%と 14.8%、「楽しみにしていない」が 4.6%と 5.8%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



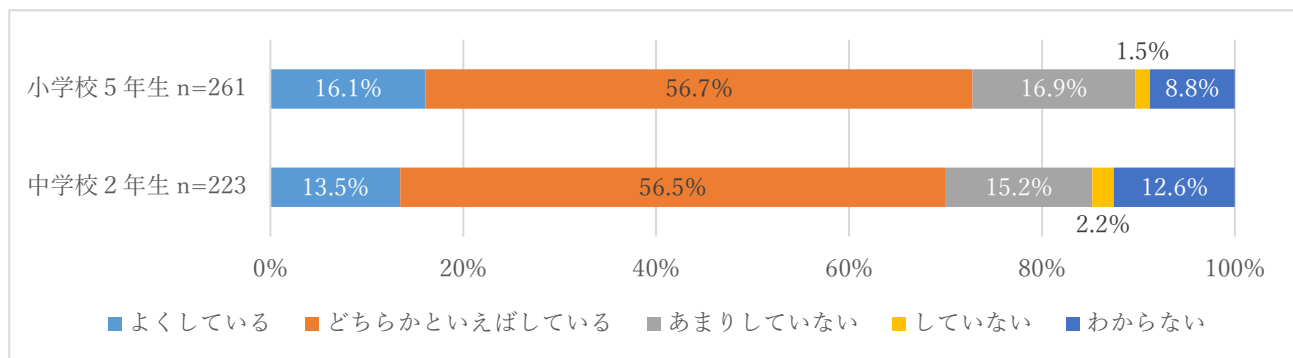
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



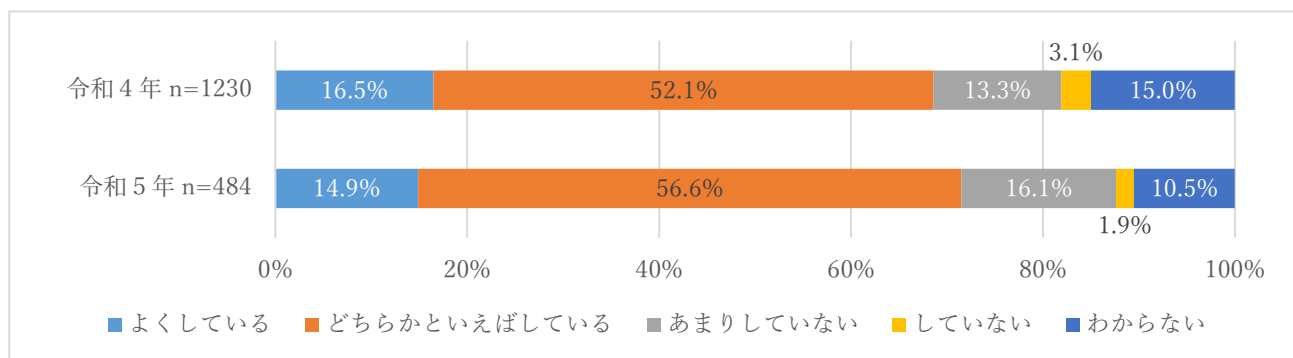
問16 学校は、お子さんの教育や成長について、定期的に役に立つ情報を提供していますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえばしている」が56.7%と56.5%と最も高く、次いで「あまりしていない」が16.9%と15.2%、「よくしている」が16.1%と13.5%、「わからない」が8.8%と12.6%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

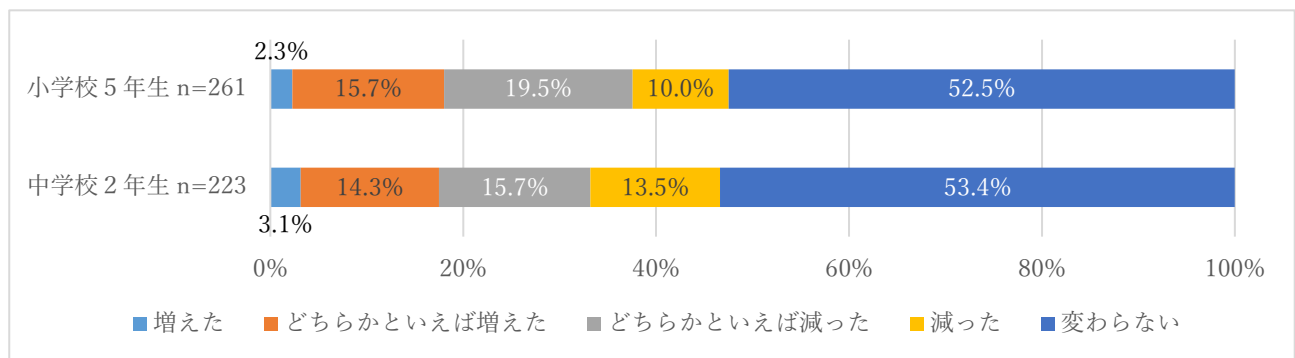


問17 新型コロナウイルス感染症の流行以降、あなたと学校とのコミュニケーションは増えましたか？(どれかひとつを選択)

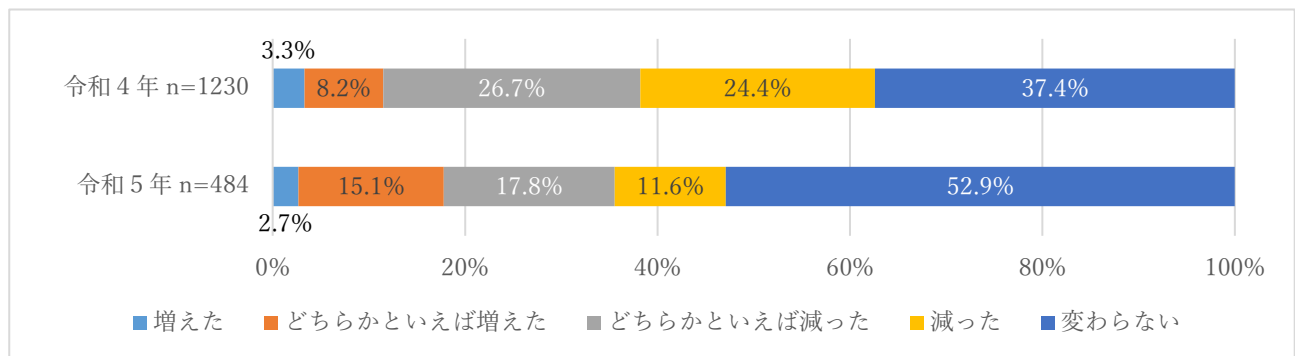
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「変わらない」が 52.5%と 53.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば減った」が 19.5%と 15.7%、「どちらかといえば増えた」が 15.7%と 14.3%、「減った」が 10.0%と 13.5%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「どちらかといえば減った」と「減った」を合わせた回答率が低下(令和4年 51.1%→令和5年 29.4%)し、「変わらない」という回答率が上昇(令和4年 37.4%→令和5年 52.9%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



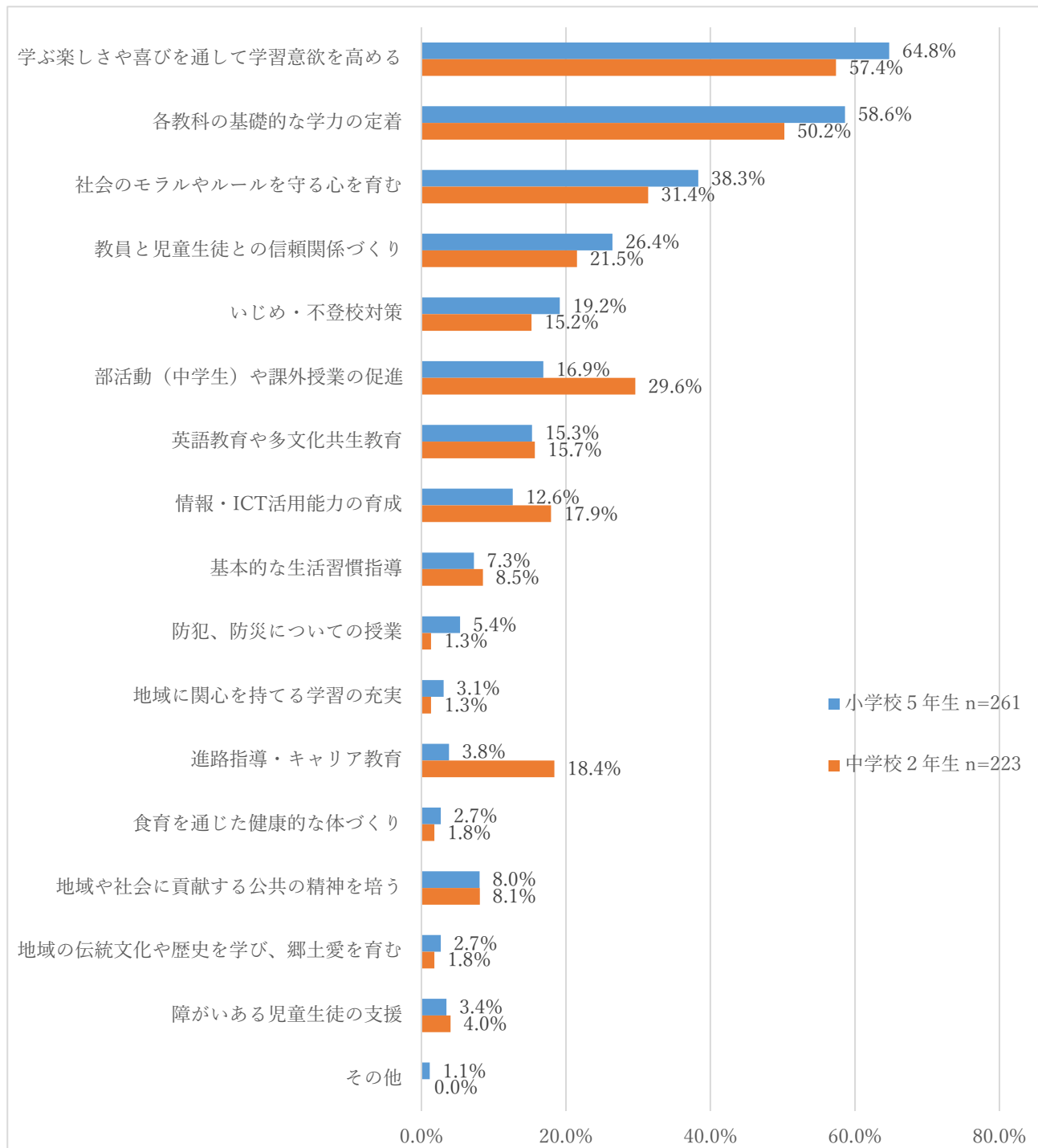
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



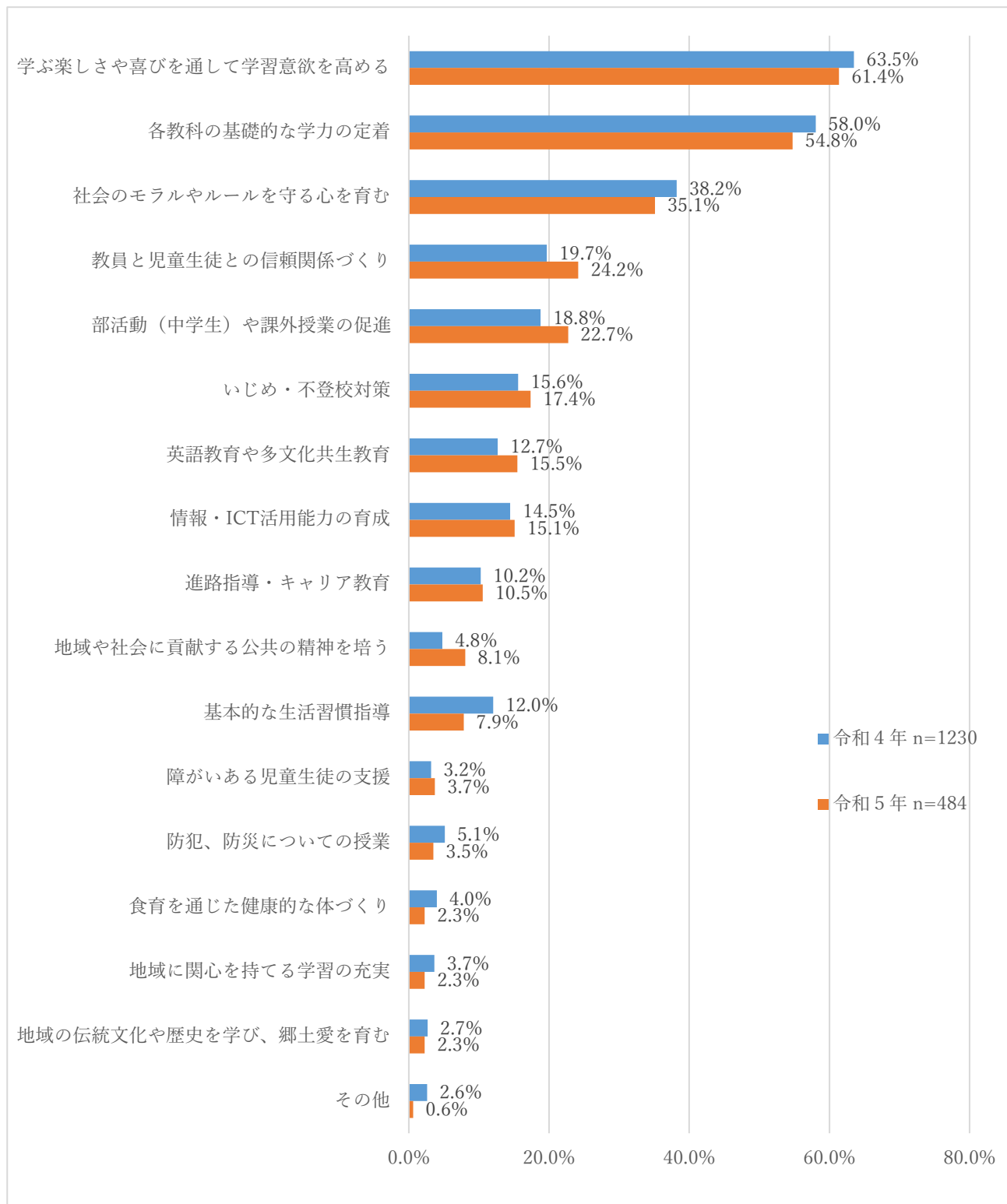
問18 学校に期待する教育や指導は何ですか？(選択は3つまで)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」が64.8%と57.4%最も高く、次いで「各教科の基礎的な学力の定着」が58.6%と50.2%、「社会のモラルやルールを守る心を育む」が38.3%と31.4%と続き、小学校5年生の保護者では「教員と児童生徒との信頼関係づくり」が26.4%、中学校2年生の保護者では「部活動(中学生)や課外授業の促進」が29.6%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



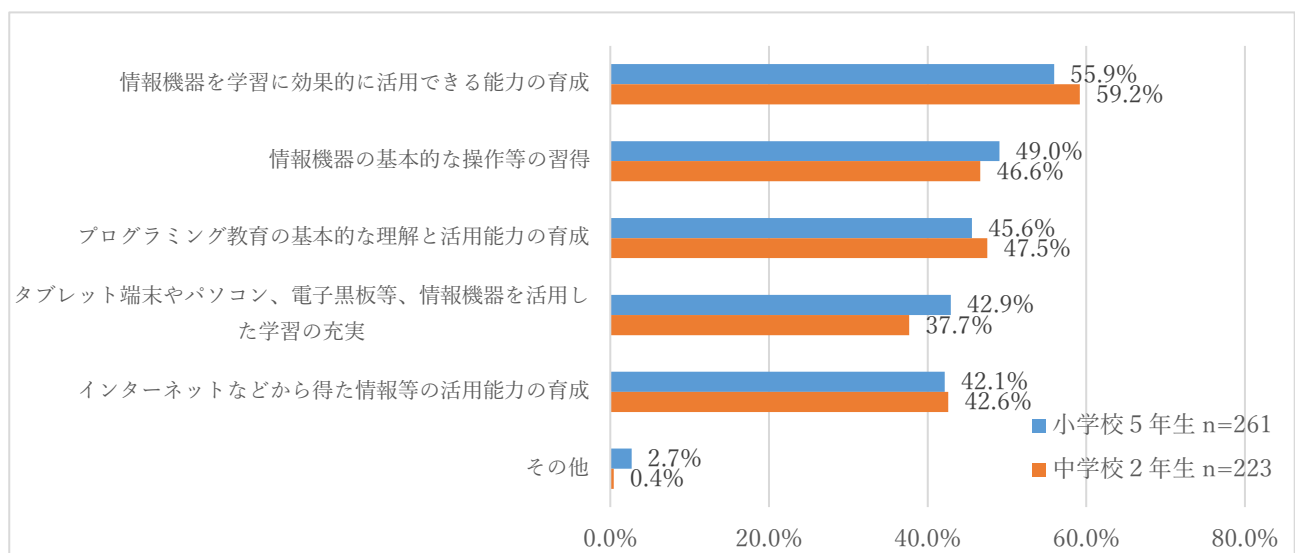
問19 ICT(情報通信技術)活用教育に、どのようなことを期待しますか？(選択は3つまで)

小学校5年生の保護者では、「情報機器を学習に効果的に活用できる能力の育成」が55.9%、「情報機器の基本的な操作等の習得」が49.0%とこれらが上位2つで、次いで「プログラミング教育の基本的な理解と活用能力の育成」が45.6%、「タブレット端末やパソコン、電子黒板等、情報機器を活用した学習の充実」が42.9%と続いています。

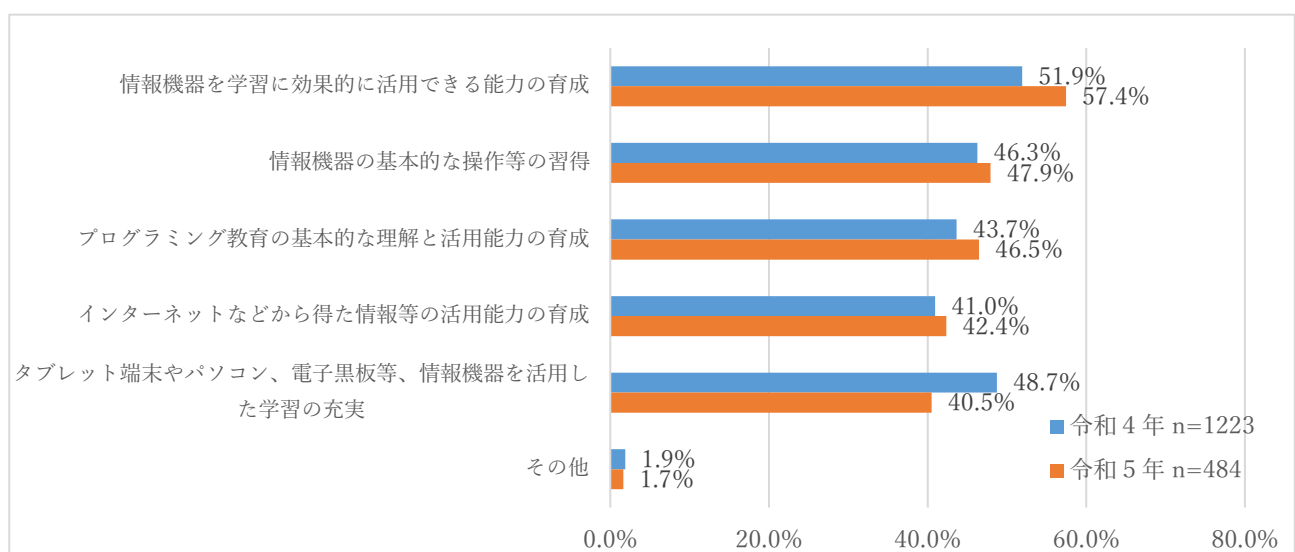
中学校2年生の保護者では、「情報機器を学習に効果的に活用できる能力の育成」が59.2%と最も高く、次いで「プログラミング教育の基本的な理解と活用能力の育成」が47.5%、「情報機器の基本的な操作等の習得」が46.6%、「インターネットなどから得た情報等の活用能力の育成」が42.6%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「タブレット端末やパソコン、電子黒板等、情報機器を活用した学習の充実」との回答率が低下(令和4年 48.7%→令和5年 40.5%)し、「情報機器を学習に効果的に活用できる能力の育成」が上昇(令和4年 51.9%→令和5年 57.4%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

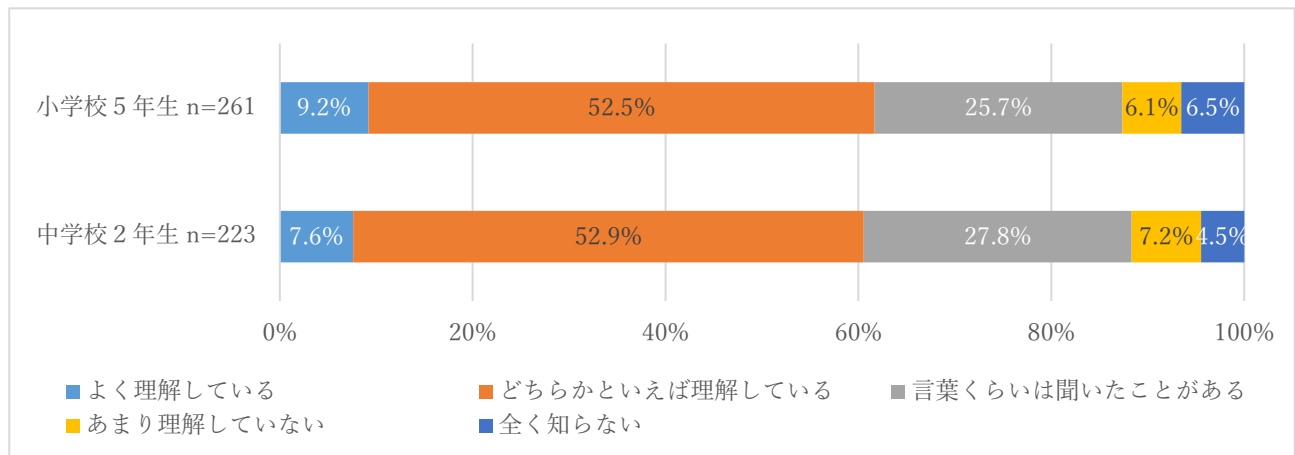


問20 あなたは SDGs(エスディージーズ)について知っていますか(どれかひとつを選択)

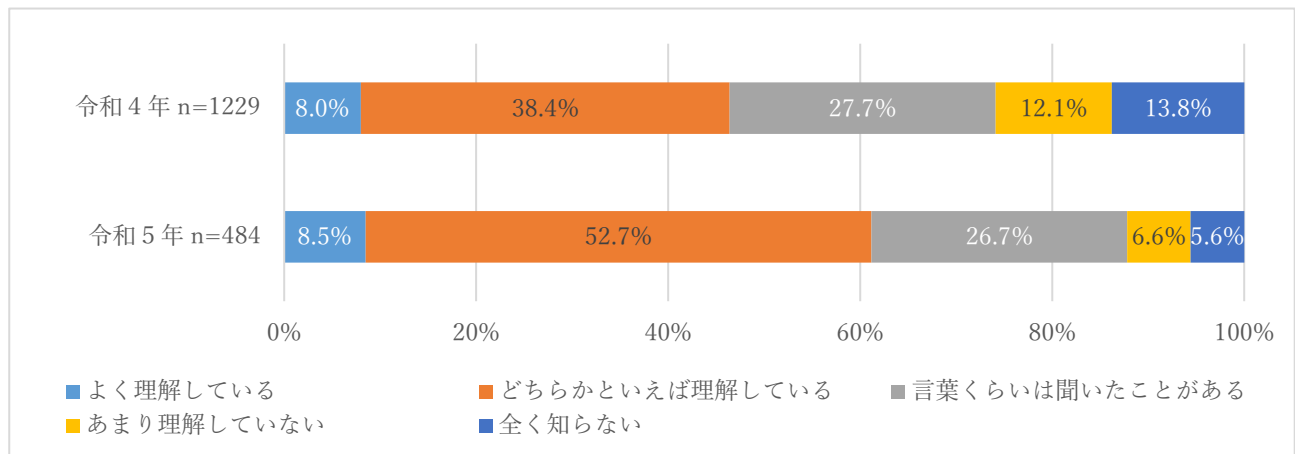
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえば理解している」が52.5%と52.9%と最も高く、次いで「言葉くらいは聞いたことがある」が25.7%と27.8%、「よく理解している」が9.2%と7.6%と続き、小学校5年生の保護者では「全く知らない」が6.5%、中学校2年生の保護者では「あまり理解していない」が7.2%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「よく理解している」と「どちらかといえば理解している」を合わせた回答率が上昇(令和4年46.4%→令和5年61.2%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



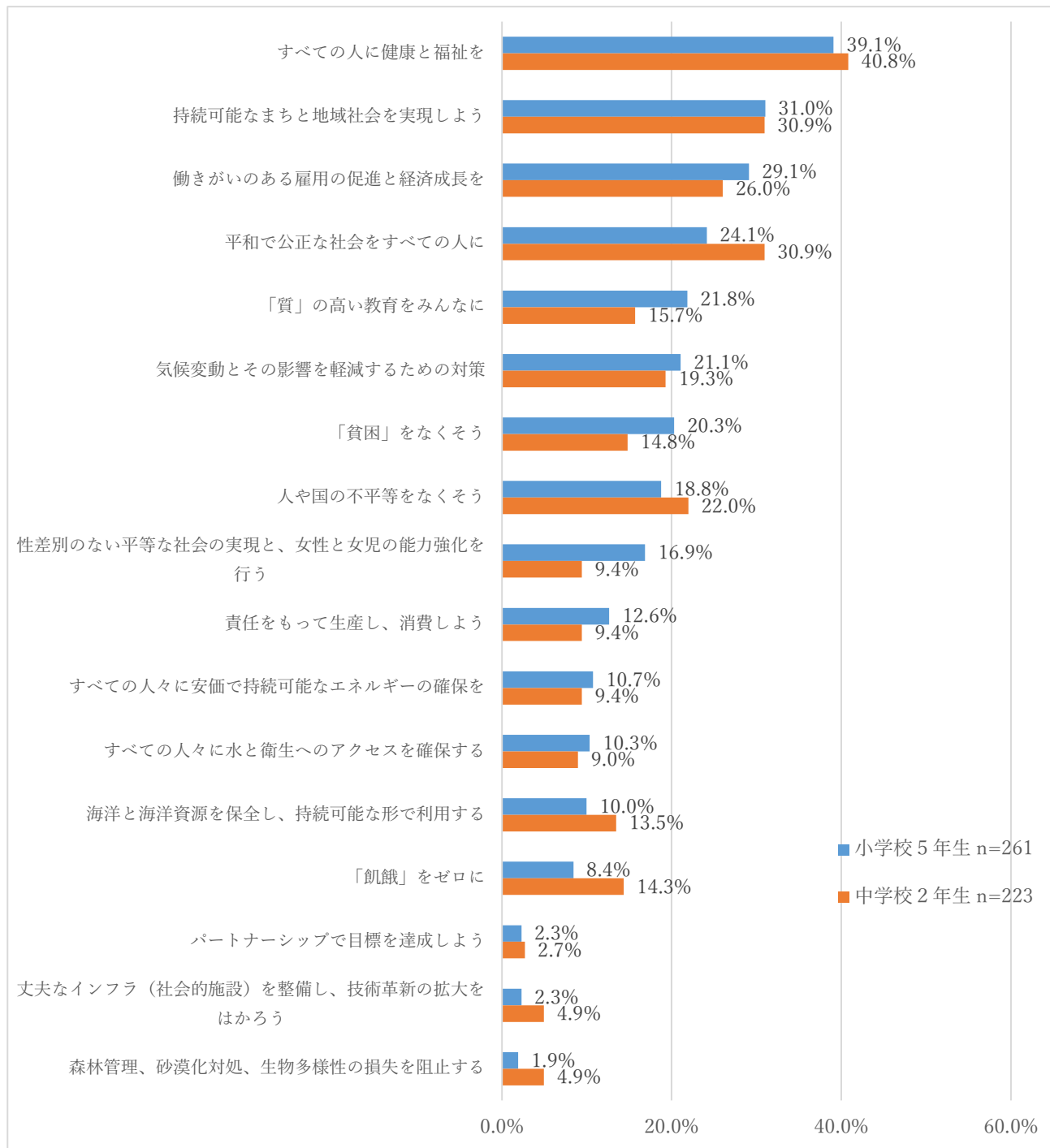
問20-2 これらの17個の目標のうち、あなたが興味のある目標はどれですか？(選択は3つまで)

小学校5年生の保護者では、「すべての人に健康と福祉を」が 39.1%、「持続可能なまちと地域社会を実現しよう」が 31.0%、「働きがいのある雇用の促進と経済成長を」が 29.1%とこれらが上位3つで、次いで「平和で公正な社会をすべての人に」が 24.1%と続いています。

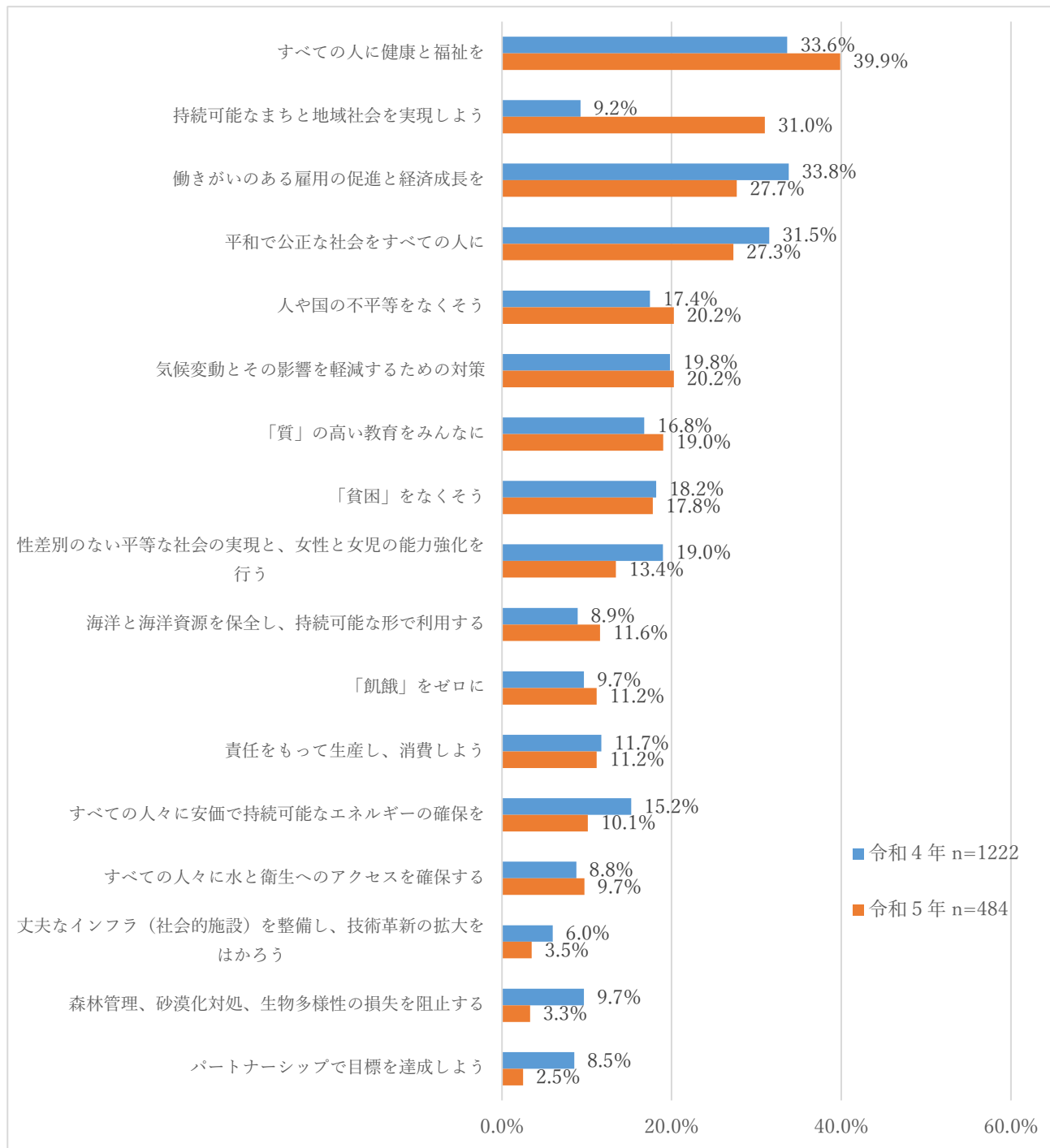
中学校2年生の保護者では、「すべての人に健康と福祉を」が 40.8%、「持続可能なまちと地域社会を実現しよう」と「平和で公正な社会をすべての人に」がともに 30.9%とこれらが上位3つで、次いで「働きがいのある雇用の促進と経済成長を」が 26.0%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「持続可能なまちと地域社会を実現しよう」の回答率が上昇(令和4年 9.2%→令和5年 31.0%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

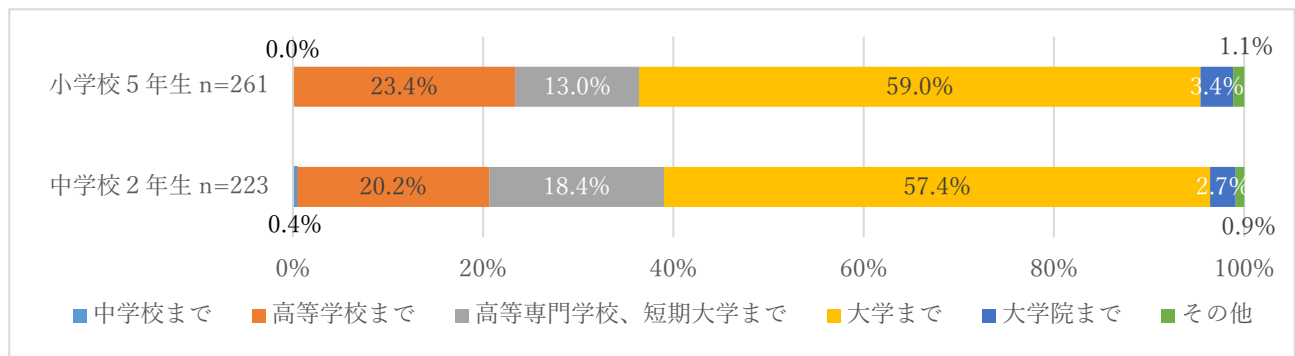


問21 お子さんにどの段階の学校まで進んでほしいですか？(どれかひとつを選択)

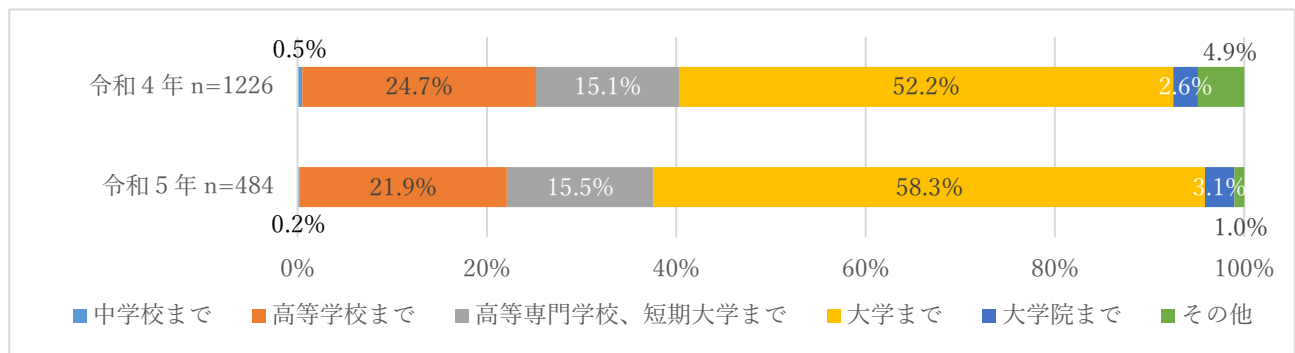
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「大学まで」が 59.0%と 57.4%と最も高く、次いで「高等学校まで」が 23.4%と 20.2%、「高等専門学校、短期大学まで」が 13.0%と 18.4%、「大学院まで」が 3.4%と 2.7%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「大学まで」の回答率が上昇(令和4年 52.2%→令和5年 58.3%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



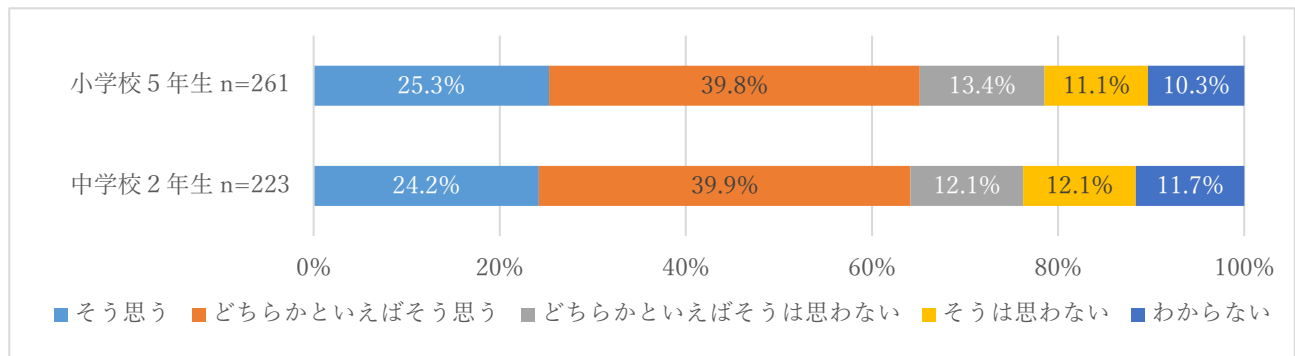
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



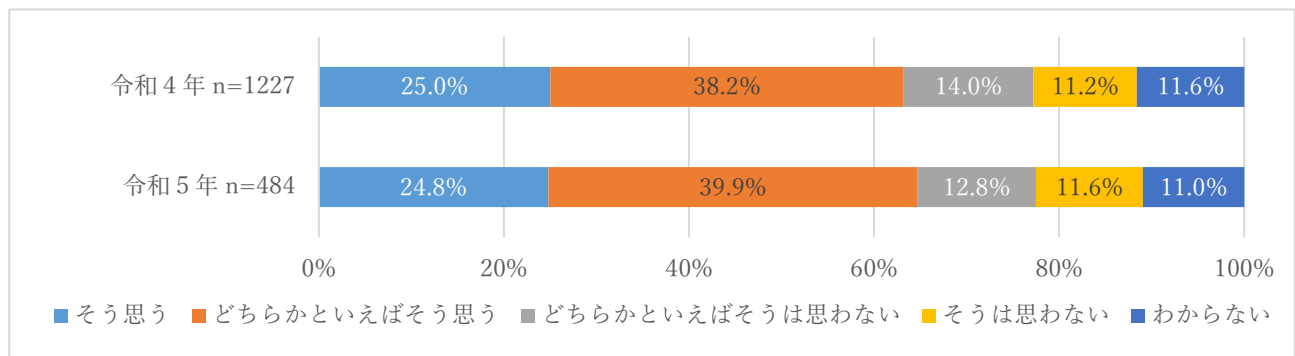
問22 お子さんに外国で学ぶ機会をもって欲しいと思いますか？(どれかひとつを選択)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえばそう思う」が39.8%と39.9%と最も高く、次いで「そう思う」が25.3%と24.2%、「どちらかといえばそうは思わない」が13.4%と12.1%、「そうは思わない」が11.1%と12.1%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



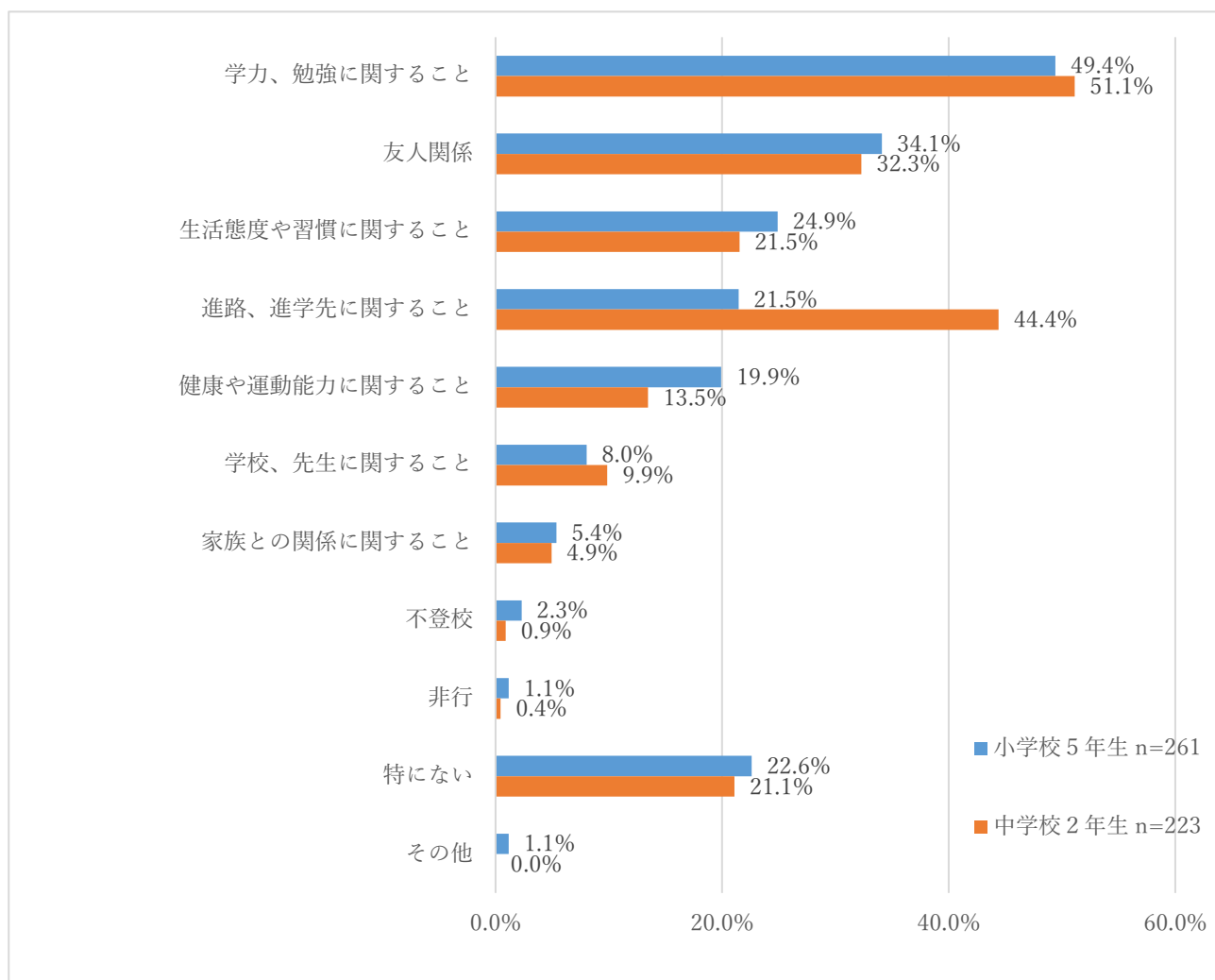
問23 お子さんについて、悩んでいることや、不安に思っていることがありますか？ある場合、それはどんなことですか？（選択は3つまで）

小学校5年生の保護者では、「学力、勉強に関すること」が49.4%と最も高く、次いで「友人関係」が34.1%、「生活態度や習慣に関すること」が24.9%、「特にない」が22.6%と続いています。

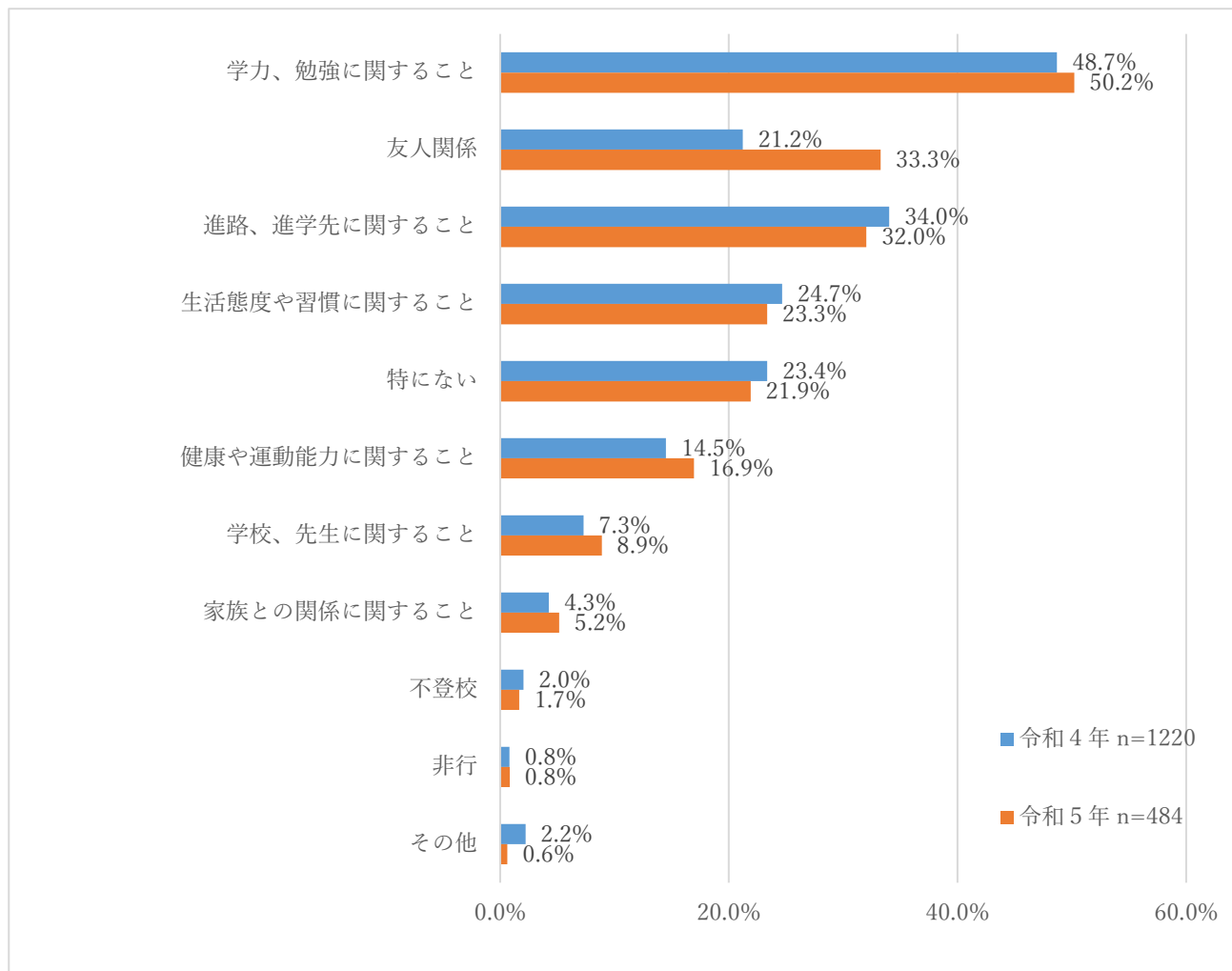
中学校2年生の保護者では、「学力、勉強に関すること」が51.1%と最も高く、次いで「進路、進学先に関すること」が44.4%、「友人関係」が32.3%、「生活態度や習慣に関すること」が21.5%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「友人関係」の回答率が上昇（令和4年 21.2%→令和5年 33.3%）しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



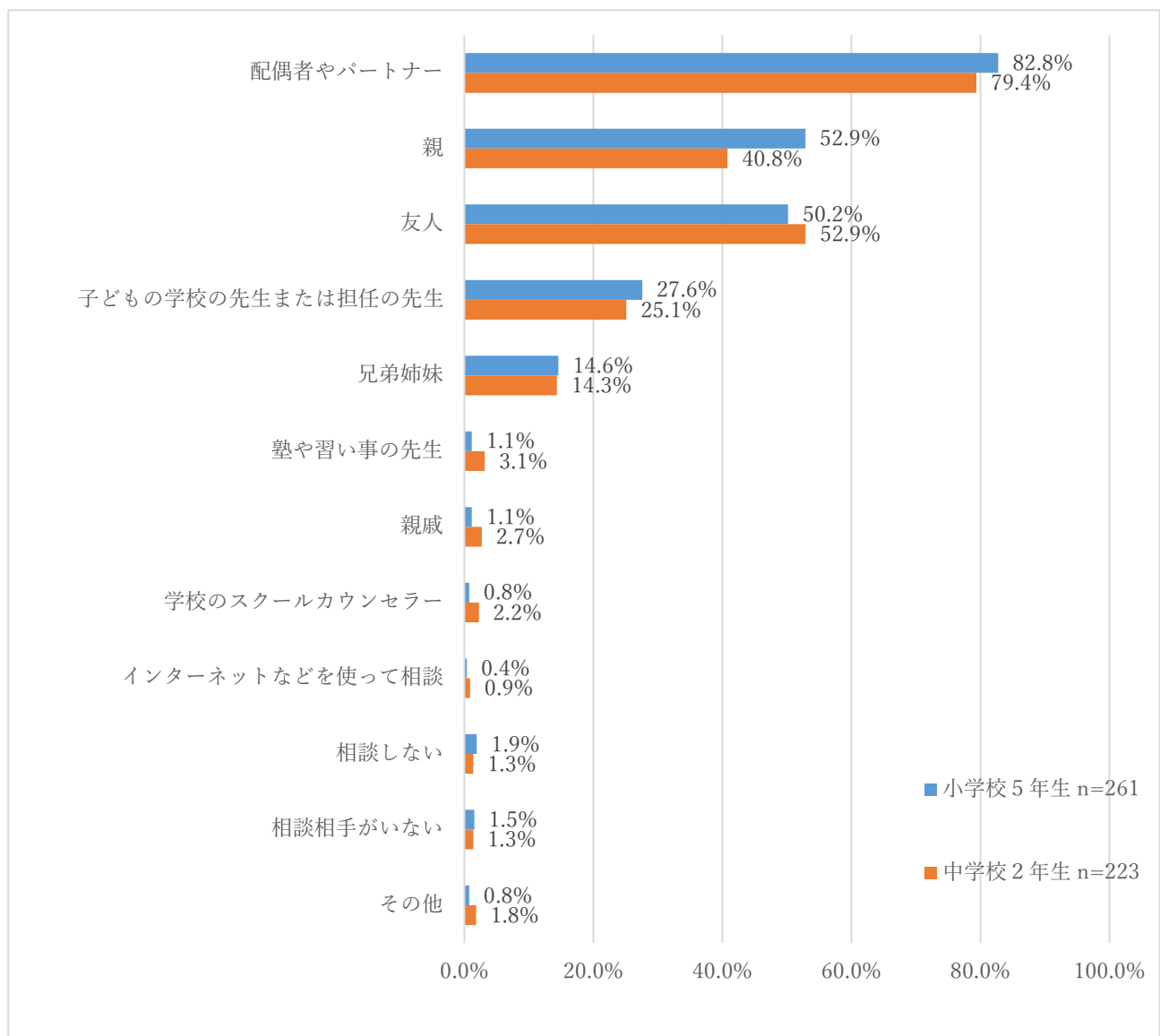
問24 あなたがお子さんのことで困ったり悩んだりしたときに、誰に相談をしますか？（選択は3つまで）

小学校5年生の保護者では、「配偶者やパートナー」が 82.8%と最も高く、次いで「親」が 52.9%、「友人」が 50.2%、「子どもの学校の先生または担任の先生」が 27.6%と続いています。

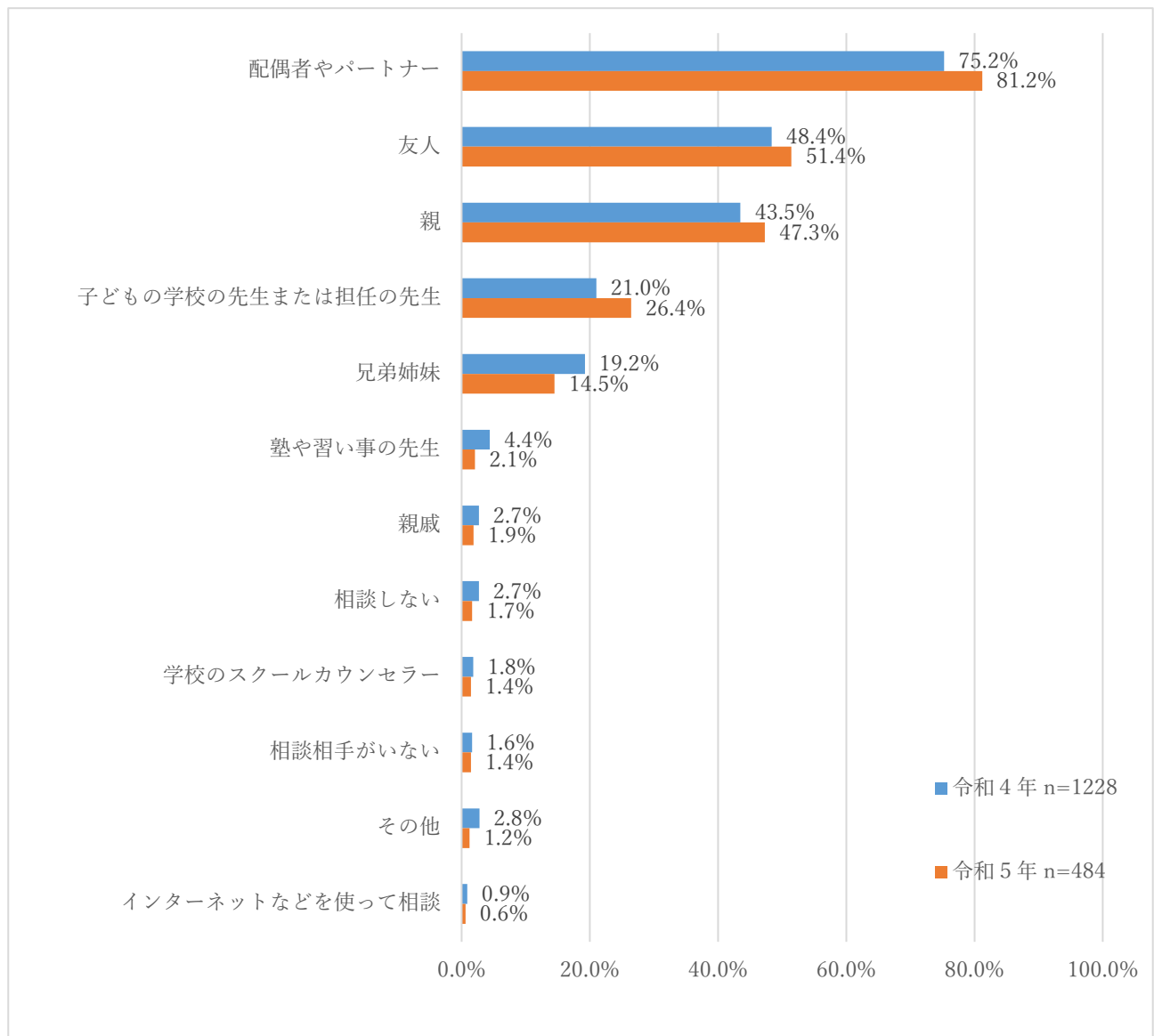
中学校2年生の保護者では、「配偶者やパートナー」が 79.4%と最も高く、次いで「友人」が 52.9%、「親」が 40.8%、「子どもの学校の先生または担任の先生」が 25.1%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「配偶者やパートナー」の回答率が上昇（令和4年 75.2%→令和5年 81.2%）しているほか、「子どもの学校の先生または担任の先生」の回答率が上昇（令和4年 21.0%→令和5年 26.4%）しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

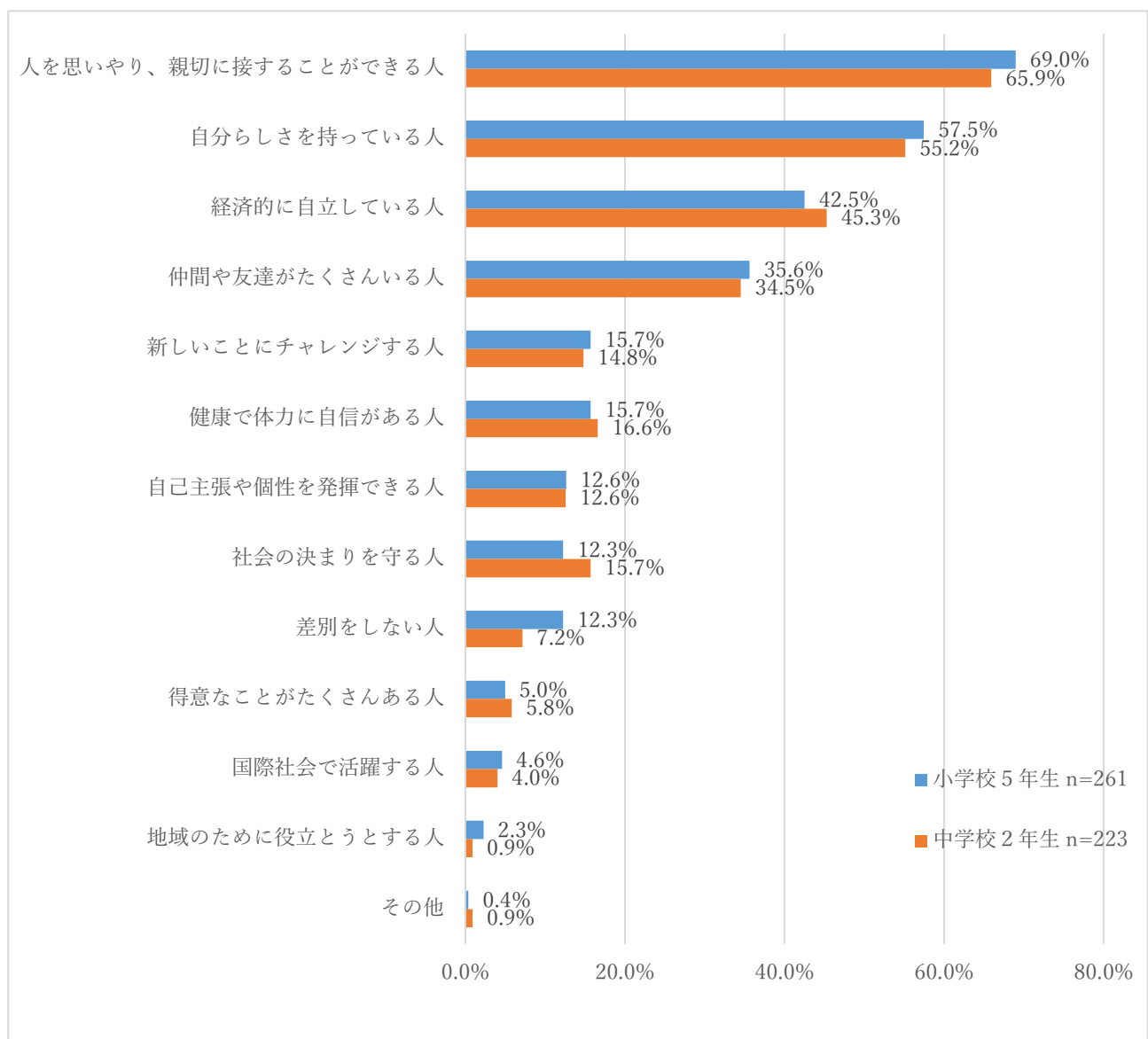


問25 お子さんには、将来どのような人に成長して欲しいと思いますか？(選択は3つまで)

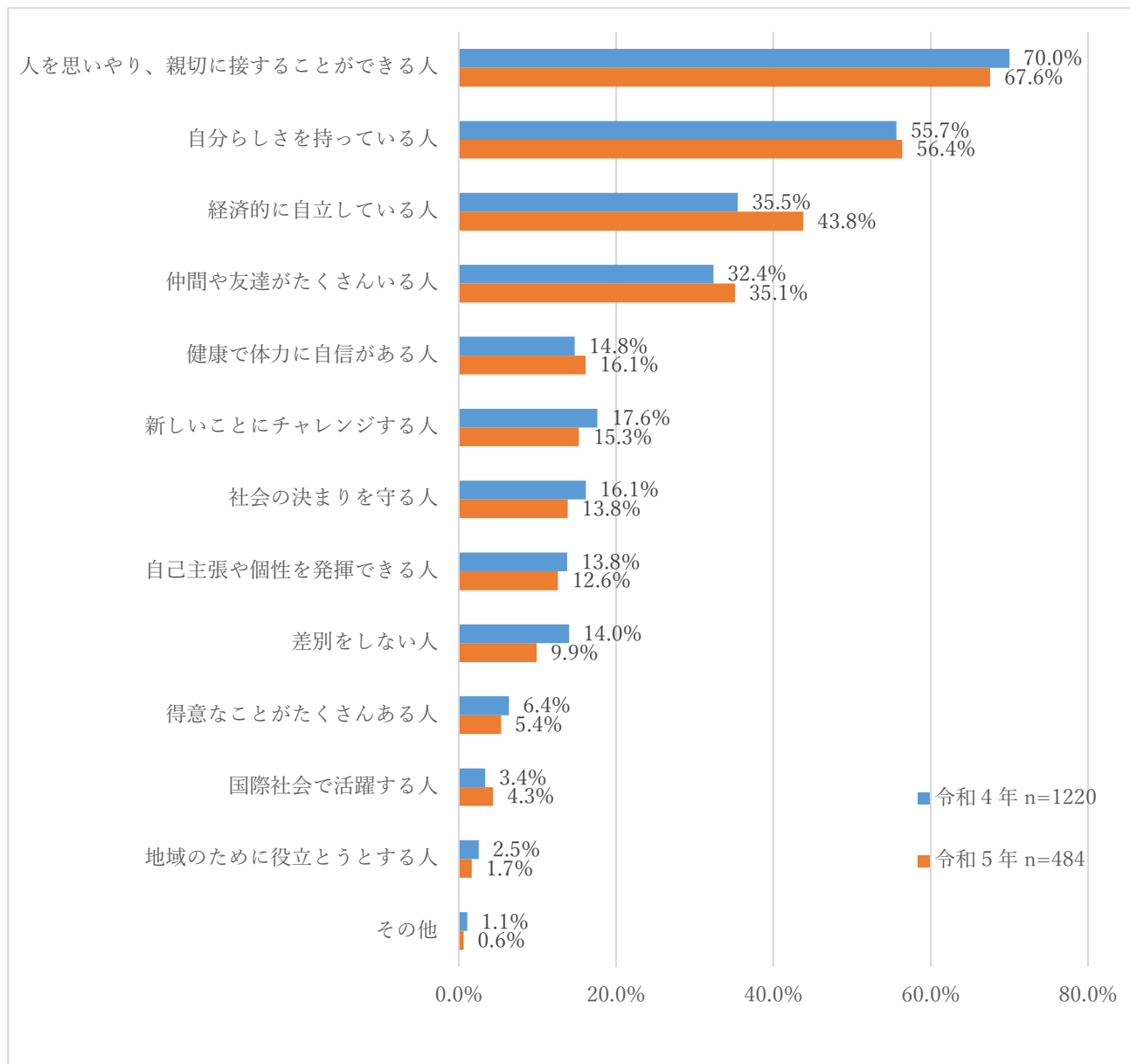
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「人を思いやり、親切に接することができる人」が 69.0%と 65.9%と最も高く、次いで「自分らしさを持っている人」が 57.5%と 55.2%、「経済的に自立している人」が 42.5%と 45.3%、「仲間や友達がたくさんいる人」が 35.6%と 34.5%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「経済的に自立している人」という回答率が上昇(令和4年 35.5%→令和5年 43.8%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



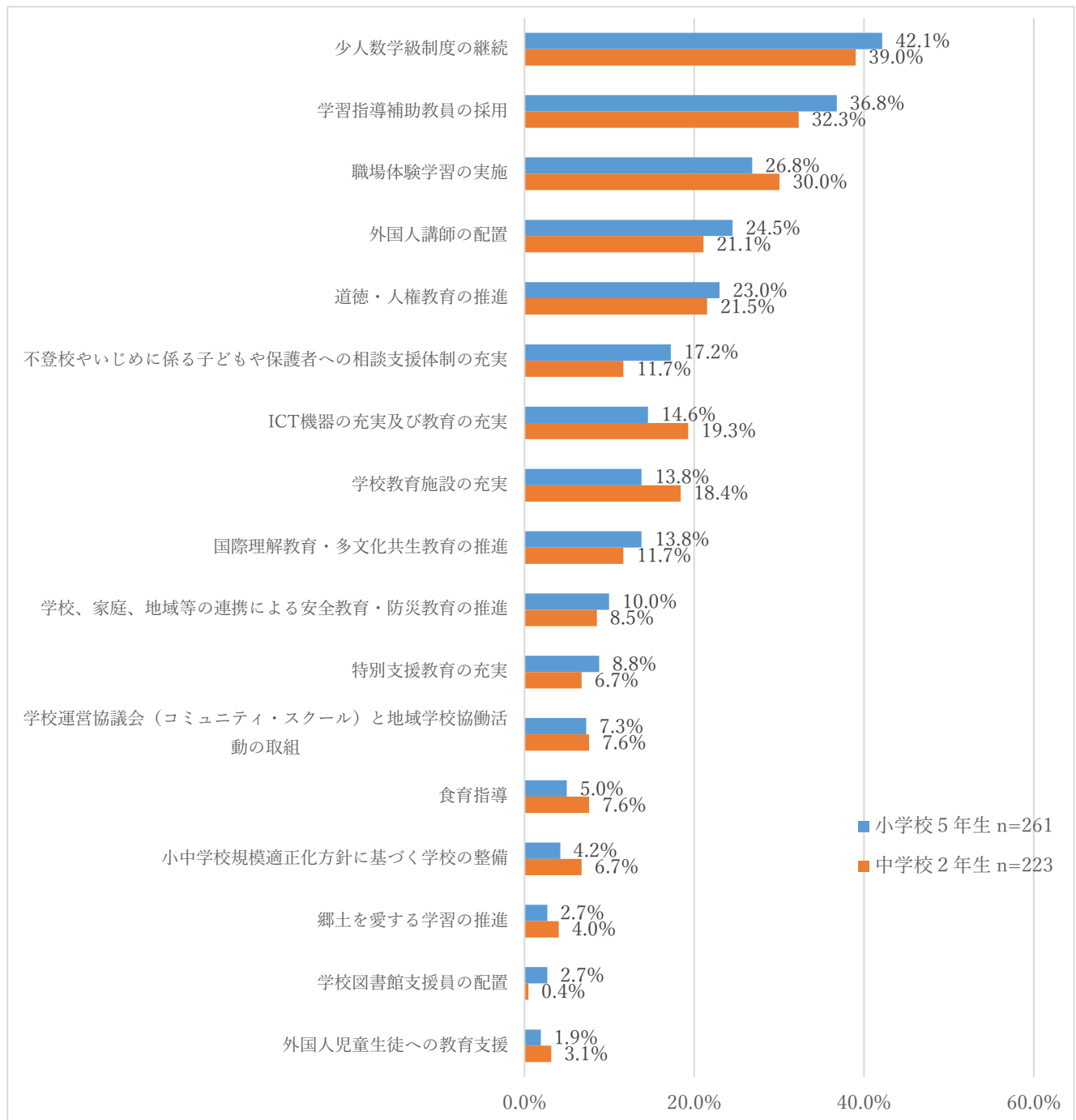
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



問26 蒲都市が現在行っている学校教育施策について、重要だと思うことはどれですか？（選択は3つまで）

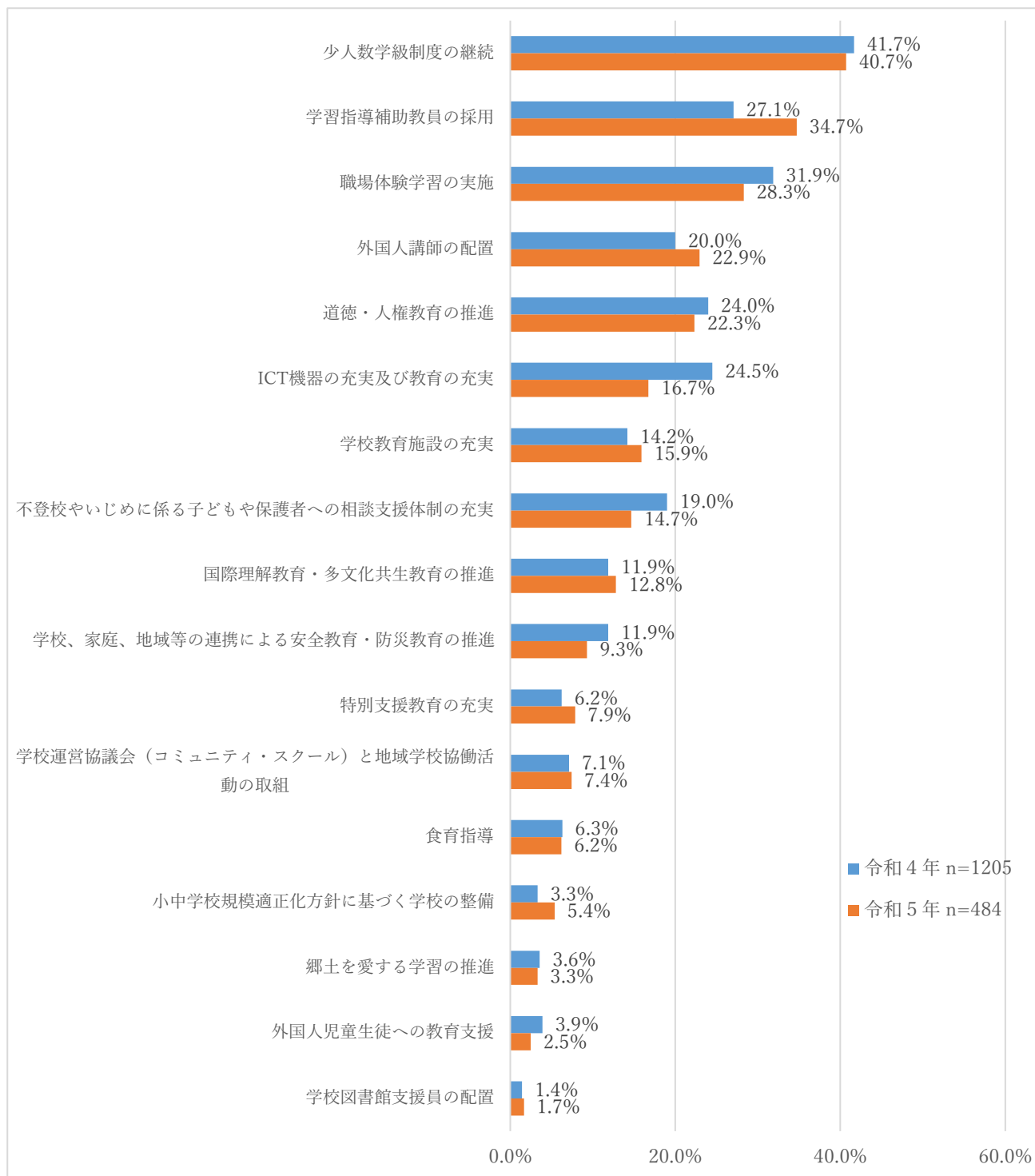
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「少人数学級制度の継続」が 42.1%と 39.0%と最も高く、次いで「学習指導補助教員の採用」が 36.8%と 32.3%、「職場体験学習の実施」が 26.8%と 30.0%と続き、小学校5年生の保護者では「外国人講師の配置」が 24.5%、中学校2年生の保護者では「道徳・人権教育の推進」が 21.5%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



保護者全体の経年比較では、「学習指導補助教員の採用」という回答率が上昇(令和4年 27.1%→令和5年 34.7%)しています。

〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

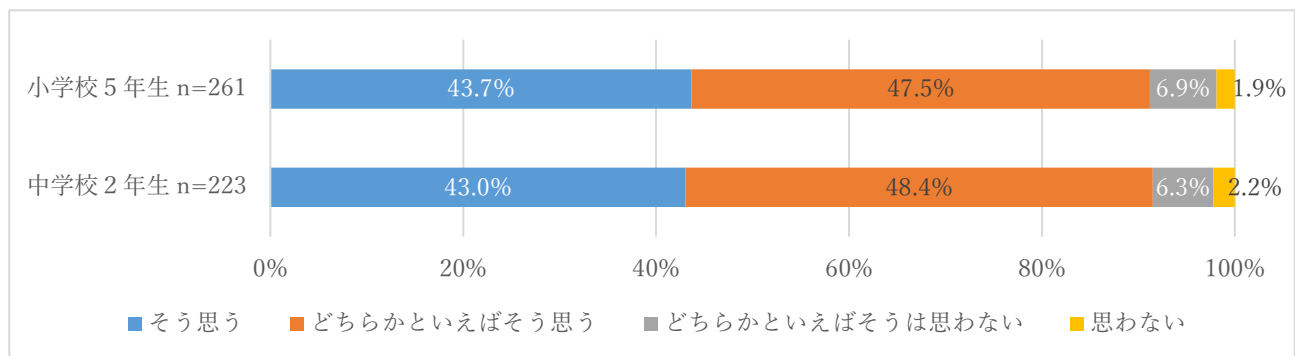


問27 あなたは、機会があれば、興味あることがらについて学びたいと思いますか？（どれかひとつを選択）

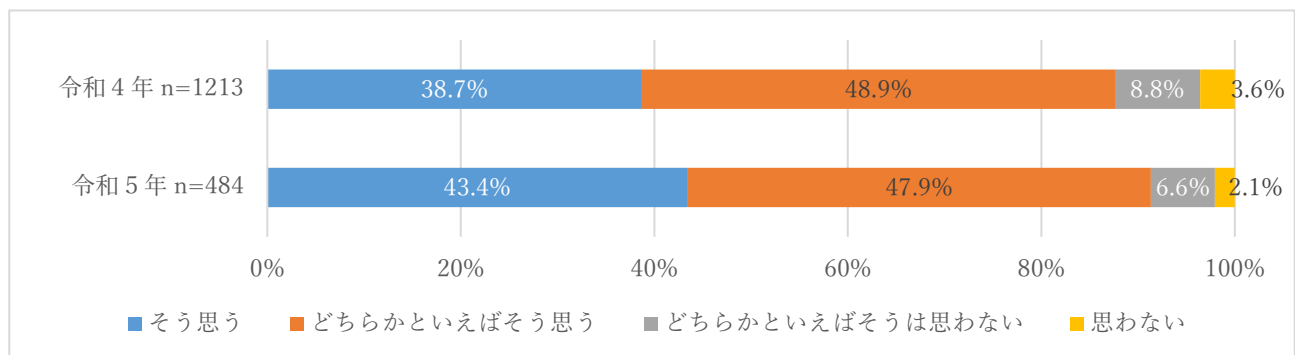
小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「どちらかといえばそう思う」が47.5%と48.4%と最も高く、次いで「そう思う」が43.7%と43.0%、「どちらかといえばそうは思わない」が6.9%と6.3%、「思わない」が1.9%と2.2%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「そう思う」という回答率が上昇(令和4年 38.7%→令和5年 43.4%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



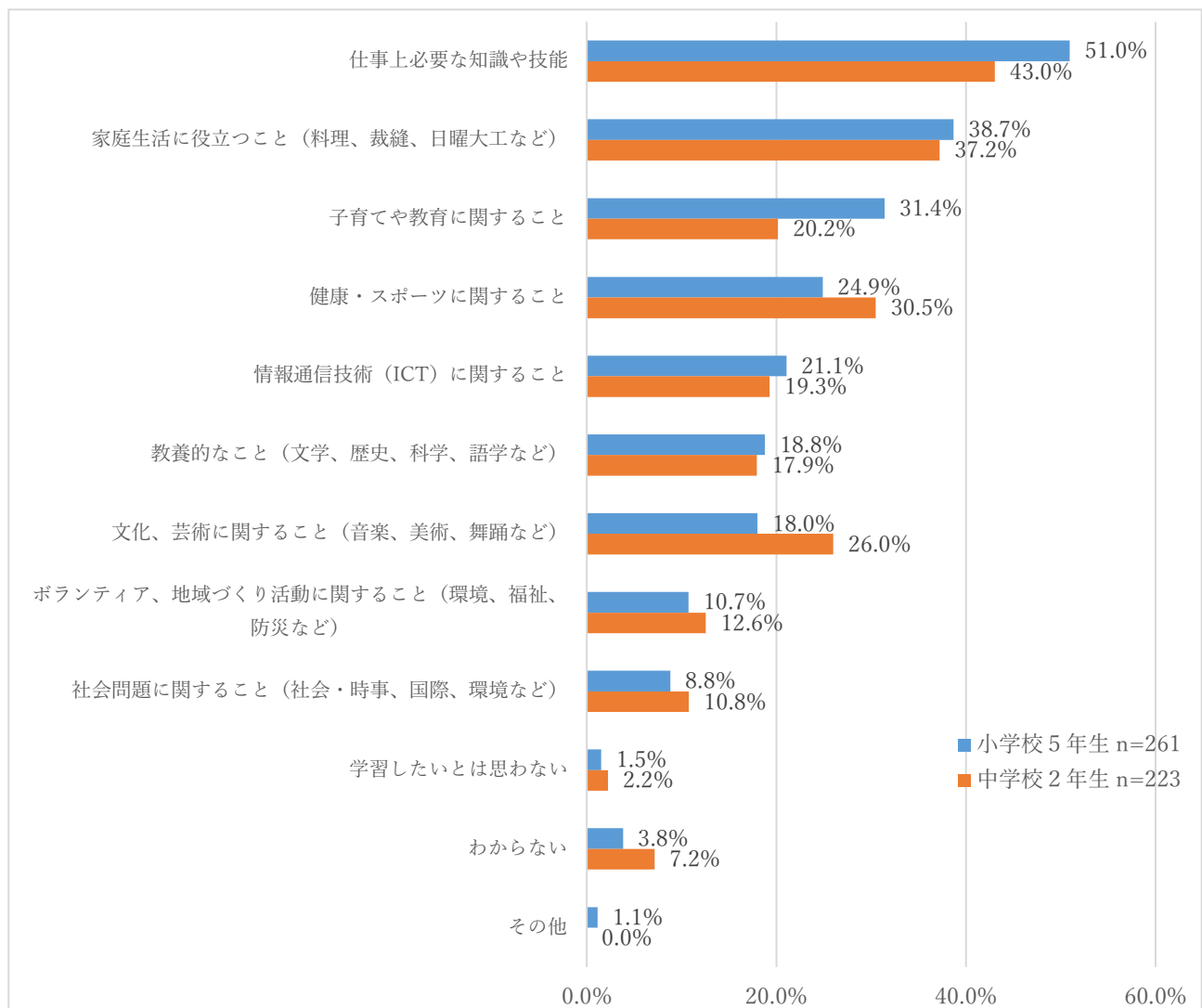
〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉



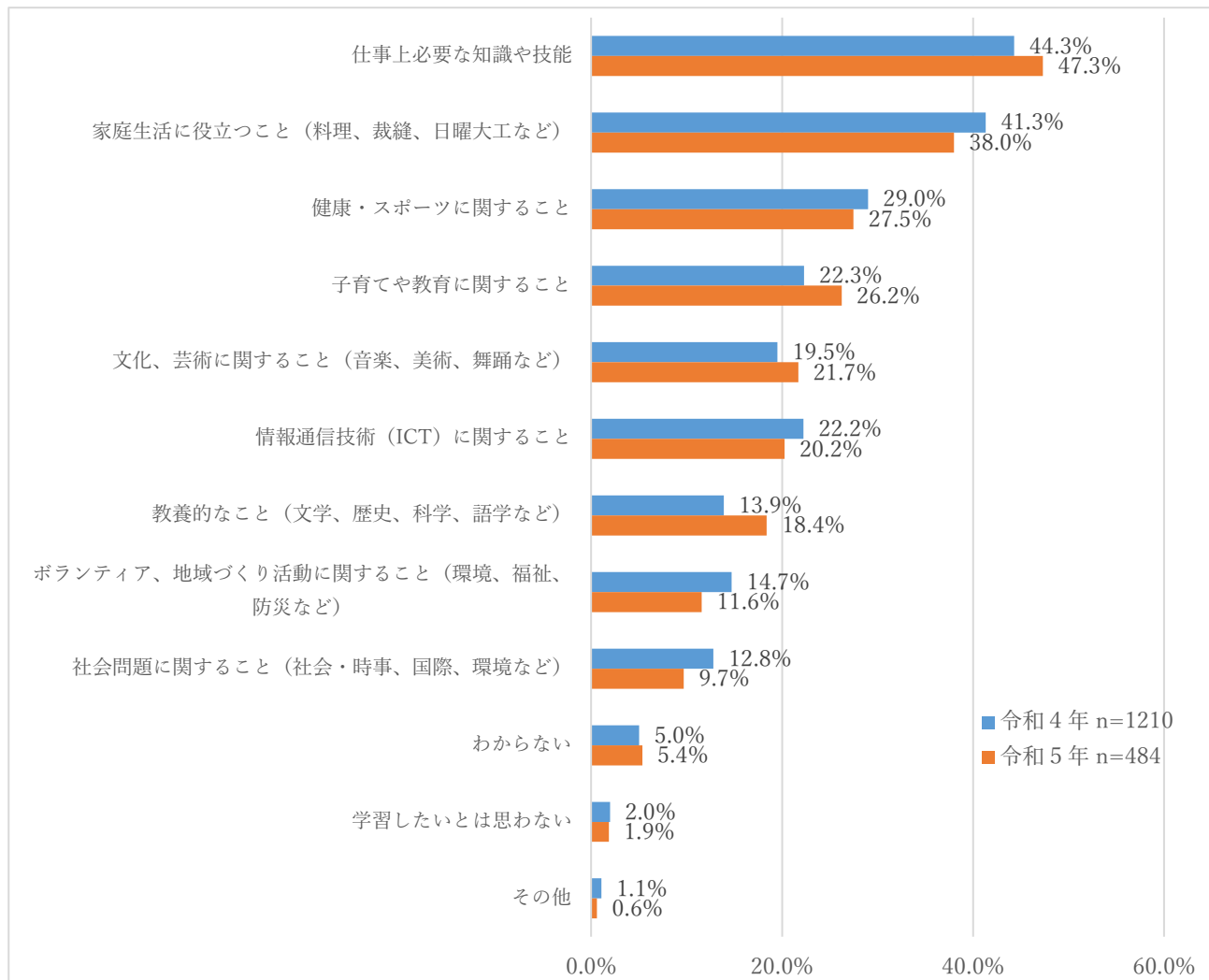
問28 あなたが生涯学習として学びたいことはどのようなことですか？（選択は3つまで）

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「仕事上必要な知識や技能」が51.0%と43.0%、「家庭生活に役立つこと（料理、裁縫、日曜大工など）」が38.7%と37.2%とこれらが上位2つで、次いで小学校5年生の保護者では「子育てや教育に関すること」が31.4%、「健康・スポーツに関すること」が24.9%、中学校2年生の保護者では「健康・スポーツに関すること」が30.5%、「文化、芸術に関すること（文学、歴史、科学、語学など）」が26.0%と続いています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

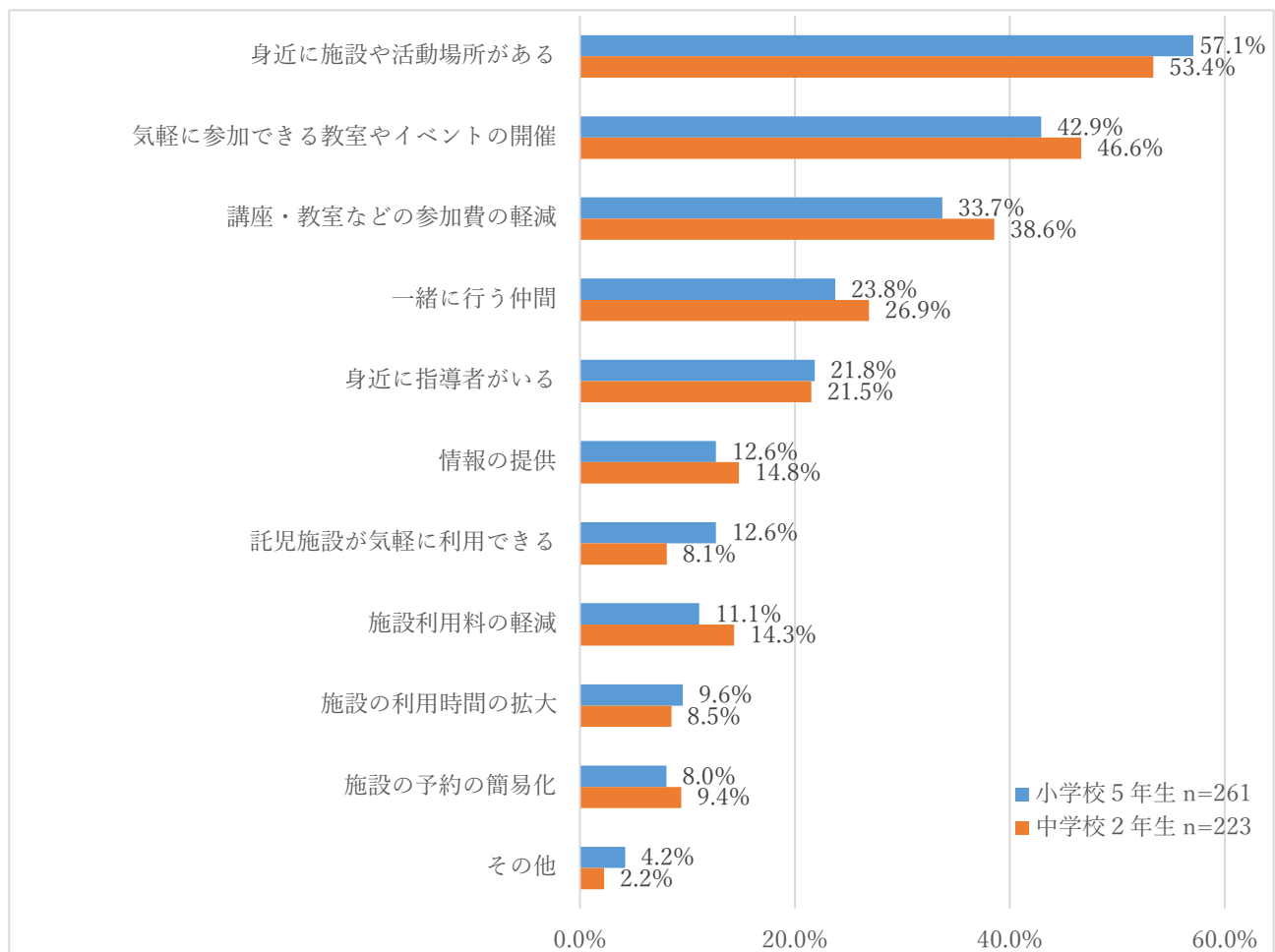


問29 あなたは、どんな条件が整えば、生涯学習をもっとできると思いますか？(選択は3つまで)

小学校5年生の保護者と中学校2年生の保護者では、「身近に施設や活動場所がある」が57.1%と53.4%と最も高く、次いで「気軽に参加できる教室やイベントの開催」が42.9%と46.6%、「講座・教室などの参加費の軽減」が33.7%と38.6%、「一緒に行く仲間」が23.8%と26.9%と続いています。

保護者全体の経年比較では、「講座・教室などの参加費の軽減」との回答率が上昇(令和4年30.5%→令和5年36.0%)しています。

〈小学校5年生・中学校2年生の保護者（令和5年）〉



〈保護者全体 経年比較(令和4年→令和5年)〉

